

取扱説明書

EH-TW6700W

EH-TW6700

Home Projector

お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品を、安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。



各説明書の使い方

本機の説明書は次のとおり構成されています。

安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内

本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート・サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。使い始める前に、必ずご覧ください。



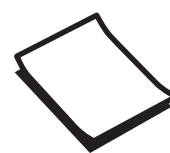
取扱説明書（本書）

本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。



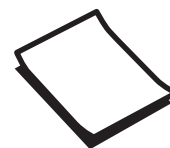
3Dメガネ 取扱説明書

3Dメガネの取り扱い方法や注意などについて記載しています。



WirelessHDトランスミッター 取扱説明書（EH-TW6700Wのみ）

WirelessHDトランスミッターの取り扱い方法や注意などについて記載しています。





説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および本機には、本機を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意

本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。

	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項やより詳しい説明を記載しているページを示しています。
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。 例：[画質] – [カラーモード]
ボタン名	リモコンまたは操作パネルのボタンを示しています。 例：  ボタン

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品やオプション品も含まれる場合があります。

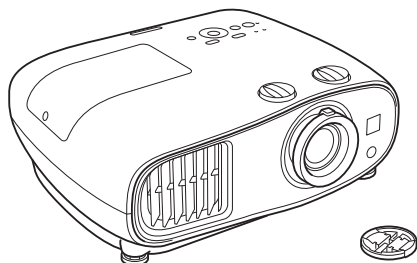


同梱品の確認

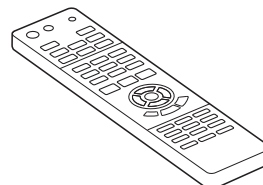
下記をご覧ください、同梱品を確認してください。

万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

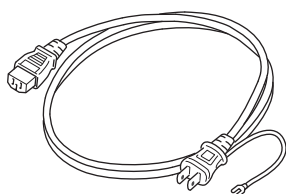
プロジェクター本体



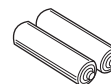
リモコン ➡ p.11



電源コード

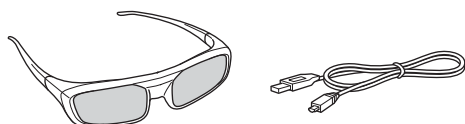


単3形アルカリ乾電池（2本） ➡ p.28



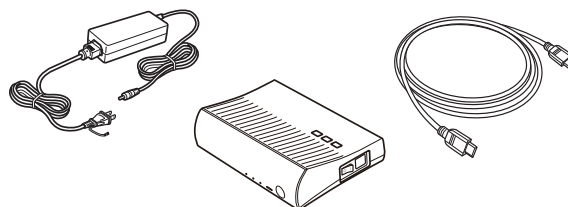
3Dメガネ式 ➡ p.50

3Dメガネの同梱品は、3Dメガネの取扱説明書をご覧ください。



WirelessHDトランスミッター一式 (EH-TW6700Wのみ) ➡ p.56

HDMIケーブル※は2mです。



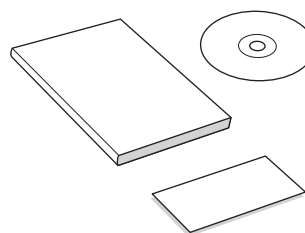
※ ハイスピードHDMIケーブル規格に準拠していません。WirelessHDトランスミッターのHDMI Input端子専用です。

USB充電AC電源アダプター (EH-TW6700のみ)



取扱説明書 ➡ p.1

保証書



説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方	1
説明書中の表示の意味	2
安全に関する表示	2
一般情報に関する表示	2
「本機」または「本プロジェクター」という 表記について	2
同梱品の確認	3

はじめに

本機の特長	7
臨場感あふれる3D立体表示	7
モバイルデバイスの画面を投写	7
映像をより楽しむための機能	7
各部の名称と働き	8
前面/上面	8
操作パネル	9
リモコン	11
背面	14
底面	15

使い始めるまでの準備

設置しよう	16
投写映像と本機の設置位置	16
スクリーンに対して平行に設置する	16
本機の左右の高さを合わせ水平に設置す る	16
いろいろな設置方法	17
テーブルなどに置いて投写する	17
天井吊りして投写する	18
投写距離とレンズシフトの最大値	18
機器と接続しよう	21
ビデオ機器の接続	21
コンピューターの接続	21
スマートフォン・タブレット端末の接続 ...	22
USB機器の接続	22
外部機器の接続	23
Bluetooth®機器の接続	23
外部スピーカーの接続	25

WirelessHD機器の接続（EH- TW6700Wのみ）	25
無線LANユニットの取り付け	26
端子カバーの外し方	27
リモコンを準備しよう	28
リモコンに電池をセットする	28
リモコンの操作範囲	28
操作可能範囲（左右）	28
操作可能範囲（上下）	28

基本操作

映像を投写しよう	29
電源を入れる	29
目的の映像が映らない場合	30
ホーム画面の使い方	30
電源を切る	31
投写映像を調整しよう	32
テストパターンを表示する	32
ピントを調整する（フォーカス調整）	32
投写のサイズを調整する（ズーム調整） ...	33
本機の傾きを調整する	33
映像の位置を調整する（レンズシフト） ...	33
台形ゆがみを補正する	34
台形補正ボタンで補正する	35
Quick Corner機能で補正する	36
音量を調節する	37
映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）	37

画質の調整

画質の調整をしよう	38
映り具合を選ぶ（カラーモード）	38
画面をフルやズームに切り替える（アスペ クト）	39
シャープネスの調整	40
映像の解像感を調整する（イメージ強調） .	41
オートアイリス（自動絞り）を設定する ...	42
フレーム補間を設定する	42
映像処理の速度を設定する	43

色を調整をしよう	44
色温度を調整する	44
RGBを調整する（オフセット・ゲイン） ..	44
色相・彩度・明度の調整	45
ガンマの調整	46
補正値を選んで調整する	46
映像を見ながら調整する	47
ガンマ調整グラフで調整する	47
登録した画質で映像を見る（メモリー機能）	48
メモリーを登録する	48
メモリーの呼び出し/削除/名称変更	48
 便利な機能	
3D映像を楽しもう	49
3D映像を視聴するための準備	49
3D映像が見えないときは	49
3Dメガネを使用する	50
3Dメガネを充電する	50
3Dメガネをペアリングする	51
3Dメガネを装着する	52
3Dメガネのインジケータの見方	52
2D映像を3Dに変換して見る	52
3D映像視聴に関する注意	53
WirelessHDで接続しよう（EH-TW6700Wのみ）	56
WirelessHDトランスミッターの設置	56
WirelessHDトランスミッターの各部の名称	57
WirelessHDトランスミッターの接続例と信号の流れ	58
WirelessHDトランスミッターをセットする	63
映像を投写する	64
WirelessHDの設定メニュー	65
WirelessHDの通信範囲	66
リモコンの操作	67
リモコンの操作範囲	67
入出力の切り替え	67
映像出力先の切り替え	68
映像ソースの切り替え	69

HDMIリンクで操作しよう	70
HDMIリンク機能	70
HDMIリンク設定	70
接続する	71
写真データを再生しよう（スライドショー）	72
再生できるデータの種類	72
スライドショーを開始する	72
スライドショーの動作設定	73
Picture in Pictureで2種類の映像を投写する	74
同時に表示できる画面の種類	74
Picture in Pictureで投写する	74
Picture in Pictureの開始と終了	74
Picture in Pictureの設定を変更する ...	75
 ネットワーク上のプロジェクターを利用する	
無線LAN経由で投写しよう	76
プロジェクターの無線LAN設定をする ...	76
コンピューターの無線LAN設定をする ...	78
Windowsで無線LANを設定する	78
OS Xで無線LANを設定する	78
無線LANのセキュリティーを設定する ...	79
Epson iProjectionで投写する	79
スマートフォンを使って操作する（リモコン機能）	81
 環境設定メニュー	
環境設定メニューの機能	83
環境設定メニューの操作	83
環境設定メニュー一覧	84
画質メニュー	84
映像メニュー	86
設定メニュー	87
拡張設定メニュー	90
ネットワークメニュー	93
情報メニュー	96
初期化メニュー	97

困ったときに

故障かなと思ったら	98
インジケーターの見方	98
異常/警告時のインジケーターの状態 ...	98
正常動作時のインジケーターの状態 ...	100
インジケーターを確認してもわからないとき	101
現象の確認	101
映像に関するトラブル	102
音に関するトラブル	105
投写開始時のトラブル	106
リモコンでのトラブル	106
操作パネルのトラブル	107
3Dでのトラブル	107
HDMIのトラブル	108
Bluetooth機器のトラブル	108
WirelessHDのトラブル (EH-TW6700Wのみ)	109
ネットワークに関するトラブル	110
Event ID について	111

メンテナンス

お手入れの方法	113
各部の掃除	113
エアフィルターの掃除	113
本体の掃除	114
レンズの掃除	115
3Dメガネの掃除	115
消耗品の交換時期	115
エアフィルターの交換時期	115
ランプの交換時期	115
消耗品の交換	116
エアフィルターの交換方法	116
ランプの交換方法	117
ランプ点灯時間初期化	119
液晶アライメント	120

付録

オプション・消耗品一覧	122
オプション品	122

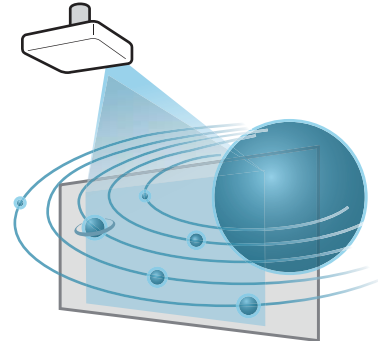
消耗品	122
対応解像度一覧	123
コンピュータ映像 (アナログRGB) ...	123
HDMI1/HDMI2入力信号	123
MHL入力信号	123
3D入力信号 HDMI	124
3D入力信号 MHL	124
WirelessHD入力信号	124
WirelessHD※入力信号 MHL	125
仕様一覧	126
EH-TW6700W/EH-TW6700	126
外形寸法図	128
安全規格対応シンボルマークについて	129
用語解説	131
一般のご注意	132
商標について	134



本機の特長

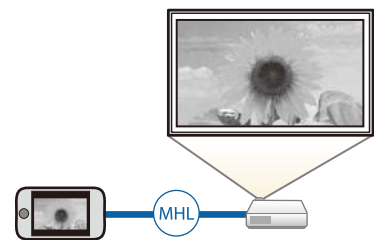
臨場感あふれる3D立体表示

3D機能により、3Dコンテンツや3Dカメラで撮影した映像を、大迫力の投写映像で楽しめます。☛ [p.49](#)



モバイルデバイスの画面を投写

本機のHDMI2/MHL端子とスマートフォンやタブレット端末を、市販のMHLケーブルで接続できます。



Epson iProjectionを使うと、本機とスマートフォンやタブレット端末を無線で接続できます。Epson iProjectionはApp StoreまたはGoogle playから無料でダウンロードできます。☛ [p.79](#)



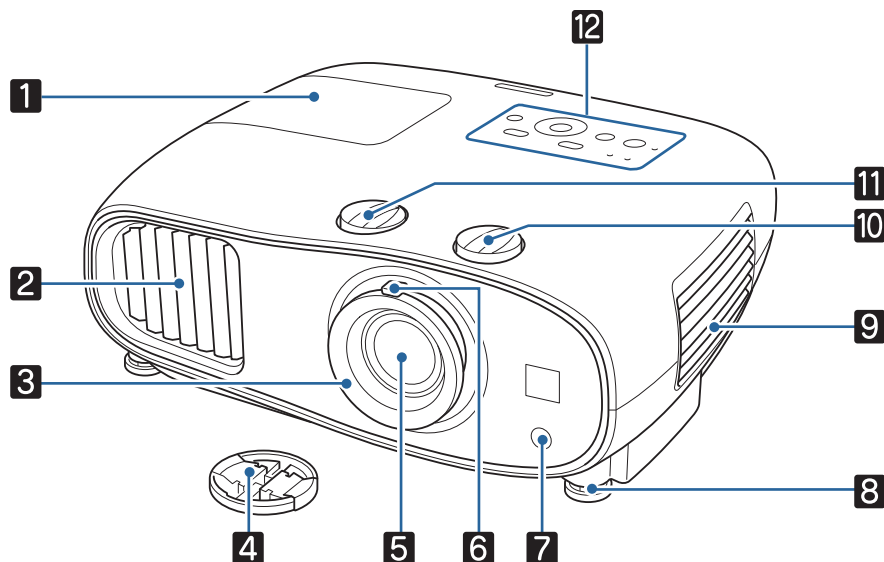
映像をより楽しむための機能

その他にも、次のような多彩な機能があります。

- 内蔵スピーカーで音声再生。外付けスピーカーがなくても音声を楽しめます。
- USBメモリーを接続するだけで静止画を楽しめるスライドショー。デジタルカメラを接続すれば、カメラの写真を「スライドショー」で楽しめます。☛ [p.72](#)
- スマートフォンから遠隔操作。Epson iProjectionを使うと、スマートフォンやタブレット端末からプロジェクターを操作できます。☛ [p.81](#)

各部の名称と働き

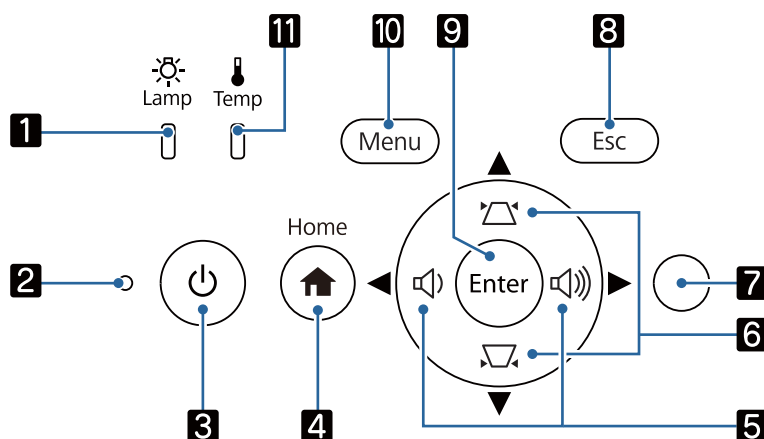
前面/上面



名称		機能
1	ランプカバー	ランプの交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。 ☛ p.117
2	排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 ⚠ 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
3	フォーカスリング	映像のピントを合わせます。☛ p.32
4	レンズキャップ	本機を使用しないときに装着し、レンズを傷や汚れから保護します。 ☛ p.29
5	投写レンズ	ここから映像を投写します。
6	ズームリング	映像のサイズを調整します。☛ p.33
7	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☛ p.28
8	フロントフット	机上に設置したときに、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。 ☛ p.33
9	エアフィルターカバー	エアフィルターの掃除や交換時に、このカバーを開けてエアフィルターを取り出します。☛ p.113、p.116
	吸気口	本機内部を冷却するための空気の吸い込み口です。
10	上下レンズシフトダイヤル	ダイヤルを回して投写映像の位置を上下に移動します。☛ p.33

名称	機能
11 左右レンズシフトダイヤル	ダイヤルを回して投写映像の位置を左右に移動します。☞ p.33
12 操作パネル	本機の操作をします。☞ p.9

操作パネル



ボタン/インジケター	機能
1  Lamp 	ランプ交換の時間に達するとオレンジ色に点滅します。他のインジケターとの組み合わせで、本機に発生した異常を色や点灯・点滅で示します。☞ p.98
2  オペレーションインジケター	本機のウォームアップ中、クールダウン中を点滅で示します。他のインジケターとの組み合わせで、本機の状態を点灯・点滅で示します。☞ p.98
3 	プロジェクターの電源をオン/オフします。☞ p.29 プロジェクターに電源が供給されているときに点灯します。他のインジケターとの組み合わせで、本機の状態を点灯・点滅で示します。☞ p.100
4  Home	ホーム画面を表示/終了します。☞ p.30
5 	- 音量を調整します。Bluetoothオーディオ機器の音量は調節できません。☞ p.37 - メニュー表示中に押すと、メニュー項目や調整値を選択します。☞ p.83 - 台形補正画面の表示中は、投写映像の横方向のゆがみを調整します。☞ p.34
6 	- メニュー表示中に押すと、メニュー項目や調整値を選択します。☞ p.83 - 投写映像のゆがみを調整します。☞ p.34
7  明るさセンサー	部屋の明るさを感知するセンサーです。[カラーモード] が [オート] のときに、このセンサーで感知した明るさに応じて最適な画質に設定します。☞ p.38
8  Esc	メニュー表示中に、1つ上の階層に戻ります。☞ p.83

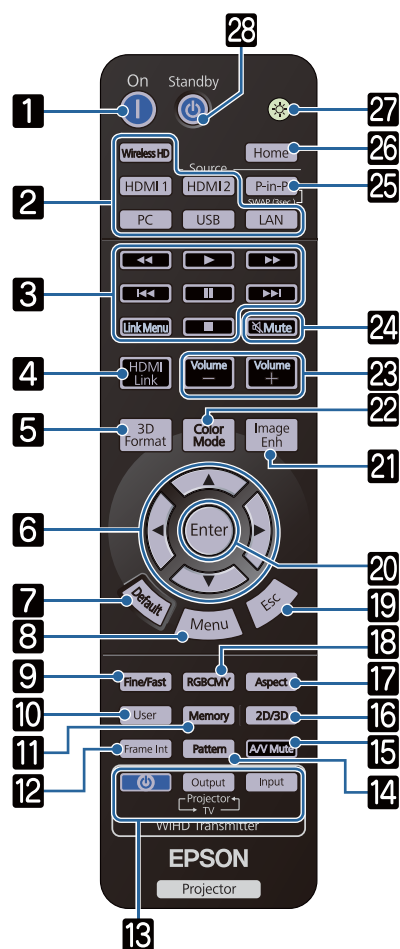
ボタン/インジケータ		機能
9		メニュー表示中に、機能や設定値を選択します。☞ p.83
10		環境設定メニューを表示/終了します。 環境設定メニューでは、映像、画質などの調整や設定を行うことができます。☞ p.83
11		内部が高温になるとオレンジ色に点滅します。他のインジケータとの組み合わせで、本機に発生した異常を色や点灯・点滅で示します。 ☞ p.98



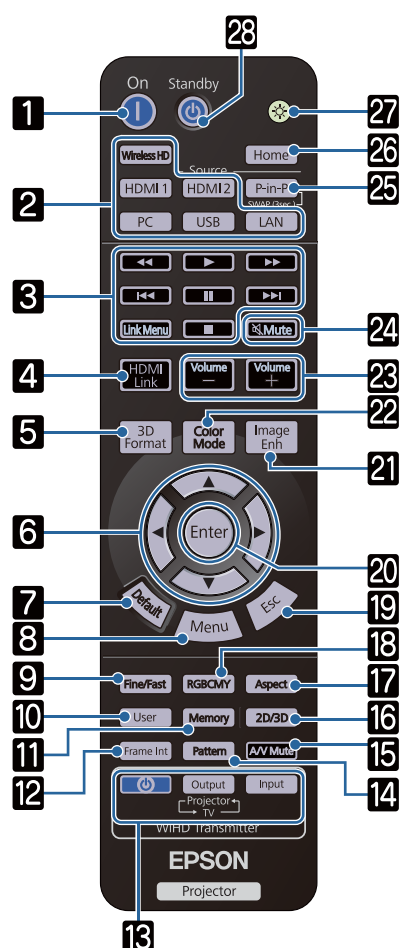
イルミネーション機能が「オフ」の場合は、正常な投写中にインジケータがすべて消灯しています。☞ [拡張設定] - [動作設定] - [イルミネーション] [p.90](#)

リモコン

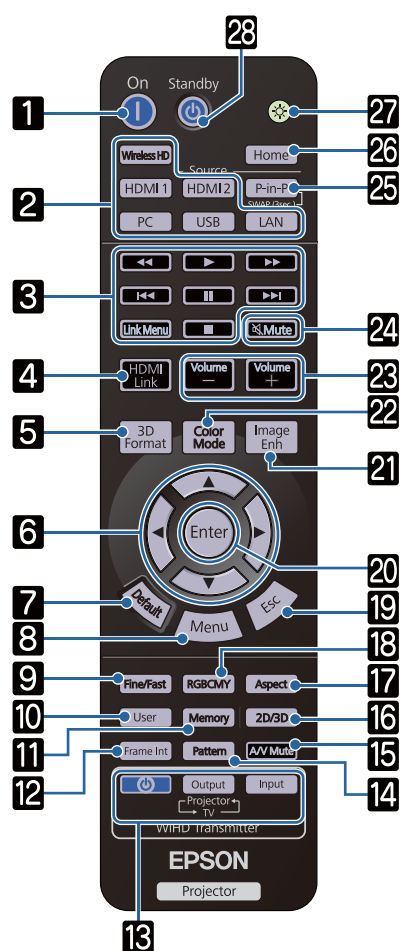
お使いの機種により、リモコンは異なります。ここではEH-TW6700Wのリモコンを例に説明しています。

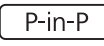
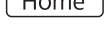


ボタン	機能
1	On  プロジェクターの電源をオンします。 ☞ p.29
2	WirelessHD HDMI1 HDMI2 PC USB LAN 各入力端子からの映像に切り替えます。 ☞ p.30 WirelessHD は、EH-TW6700Wのみ有効なボタンです。
3	 HDMI CEC規格に対応した接続機器の再生、停止などができます。☞ p.70
4	HDMI Link • [HDMIリンク] が [オン] の場合 接続機器一覧を表示します。 • [HDMIリンク] が [オフ] の場合 HDMIリンクの設定メニューを表示します。 ☞ p.70
5	3D Format 3Dフォーマットを変更します。 本機は、以下の3Dフォーマットに対応しています。 • フレームパッキング • サイドバイサイド • トップアンドボトム ☞ p.49
6	 メニュー項目や調整値を選択します。 ☞ p.83

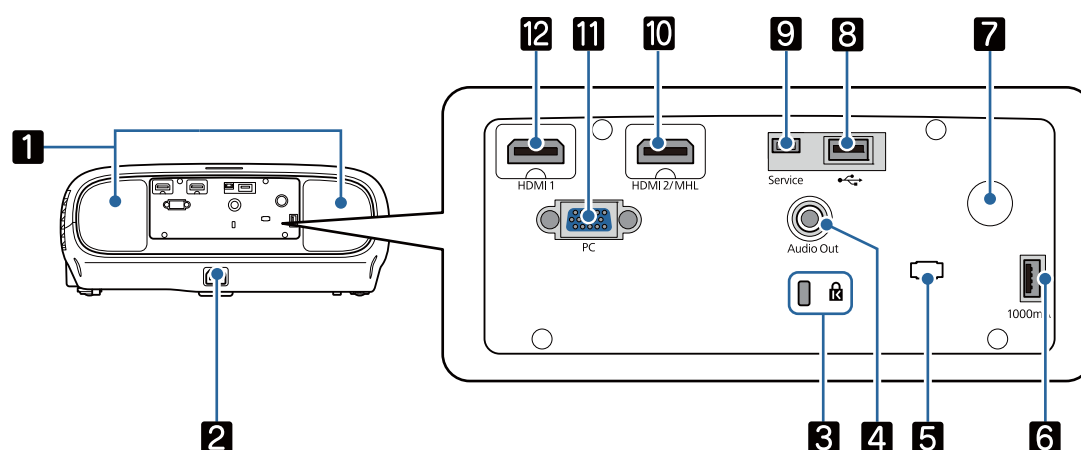


ボタン	機能
7	メニューの調整画面が表示されているときに押すと、調整値が初期値に戻ります。 ➡ p.83
8	環境設定メニューを表示/終了します。環境設定メニューでは、映像や画質などの調整や設定を行うことができます。 ➡ p.83
9	ゲームなどの動きの速い映像をスムーズに投写します。 ➡ p.43
10	ユーザーボタンに割り当てた機能を実行します。 ➡ p.87
11	メモリーの登録・呼出・削除をします。 ➡ p.48
12	フレーム補間の強度を設定をします。 ➡ p.42
13	(EH-TW6700Wのみ有効なボタンです) WirelessHDトランスミッター制御用のボタンです。 WirelessHDトランスミッターの電源を入れたり入出力を切り替えます。 WirelessHDトランスミッターに向けて操作します。 ➡ p.56
14	テストパターンを表示/終了します。 ➡ p.32
15	映像と音声を一時的に消す/再開します。 ➡ p.37
16	2Dと3Dの切り替えをします。 ➡ p.49
17	入力信号に応じてアスペクトモードを選択します。 ➡ p.39
18	RGBCMYの各色に対して色相、彩度、明度を調整します。 ➡ p.45
19	メニュー表示中、1つ上の階層に戻ります。 ➡ p.83
20	メニューの表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ➡ p.83
21	[イメージ強調] メニューを表示します。 ➡ p.41
22	[カラーモード] を切り替えます。 ➡ p.38



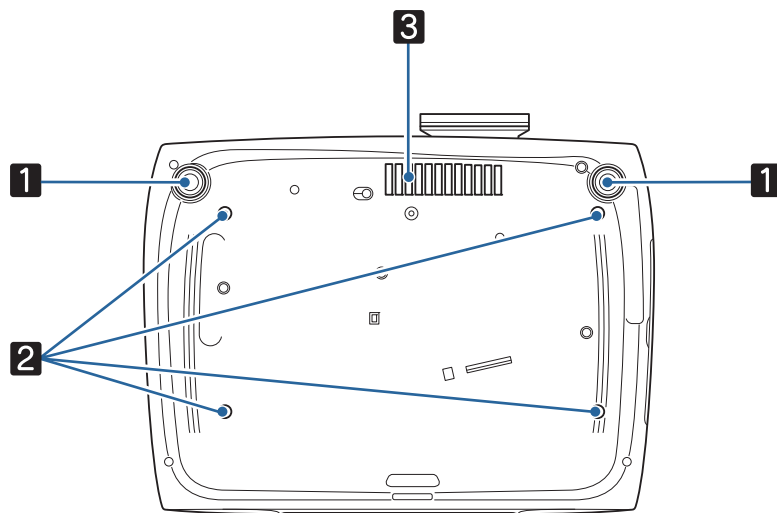
ボタン	機能
23	  音量を調整します。☞ p.37
24	 音声を一時的に消す/再開します。 ☞ p.37
25	 2種類の映像を大小の画面で同時に投写します (Picture in Picture)。☞ p.74 このボタンを長押しすると、親画面と子画面が入れ替わります。
26	 ホーム画面を表示/終了します。 ☞ p.30
27	 リモコン上のボタンが約10秒間光ります。暗がりでもリモコンを操作するとき便利です。
28	 プロジェクターの電源をオフにします。 ☞ p.31

背面



名称	機能
1 スピーカー	本機の内蔵スピーカーです。音声を再生します。天吊りにして内蔵スピーカーを利用する場合は、[音声左右反転] を [オン] に設定します。 ☛ [設定] - [音声] - [音声左右反転] p.87
2 電源端子	電源コードを接続します。☛ p.29
3 セキュリティーロット (🔒)	Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティロットです。詳細は、Kensington のホームページ http://www.kensington.com/ でご確認ください。
4 Audio Out端子	再生中の音声を外部スピーカーに出力します。☛ p.25
5 ケーブルホルダー	ケーブルを入力端子に接続したときに、ケーブルの重さでコネクタの差し込みが不完全になることがあります。これを防ぐために市販の結束バンド(ケーブルタイ)をこのホルダーに通してケーブルを束ねて固定します。
6 1000mA給電専用端子	メディアストリーミング端末や光HDMIケーブルの給電端子を接続します。
7 リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☛ p.28
8 USB入力端子	USBメモリーやデジタルカメラなどのUSB機器を接続し、ストレージデバイス内の画像をスライドショーで表示します。☛ p.72 その他にも、オプションの無線LANユニットを接続します。☛
9 Service端子	サービス端子です。通常は使用しません。
10 HDMI2/MHL入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☛ p.21 その他にも、MHLに対応したスマートフォンやタブレット端末を接続します。☛ p.22
11 PC入力端子	コンピューターのRGB出力端子と接続します。☛ p.21
12 HDMI1入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☛ p.21

底面



名称		機能
1	フロントフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。 ☛ p.33
2	天吊固定部（4箇所）	天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ☛ p.122
3	吸気口	天吊り時に、この部分にホコリがたまらないように設置してください。

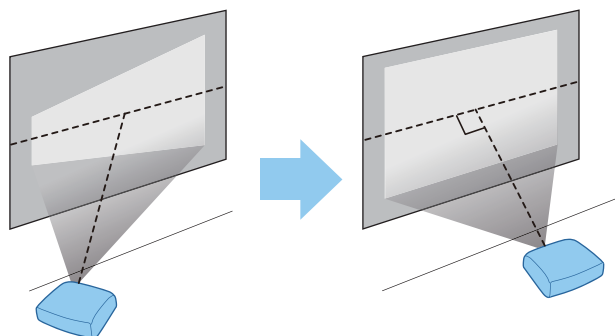
設置しよう

投写映像と本機の設置位置

プロジェクターは以下のように設置してください。

■ スクリーンに対して平行に設置する

スクリーンに対して本機を斜めに設置すると、投写映像が台形にゆがみます。
スクリーンと本機が平行になるよう設置位置を調整してください。



本機をスクリーンの正面に設置できないときは、レンズシフトで投写位置を調整します。

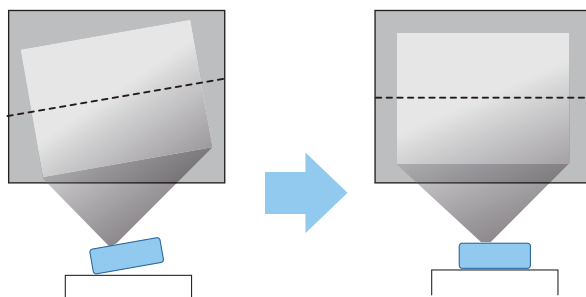
👉 [p.33](#)

■ 本機の左右の高さを合わせ水平に設置する

本機を傾けて設置すると、投写映像も傾きます。

本機の高さが左右で水平になるよう設置してください。

本機を水平に設置できないときは、フロントフットで本機の傾きを調整します。👉 [p.33](#)



いろいろな設置方法

警告

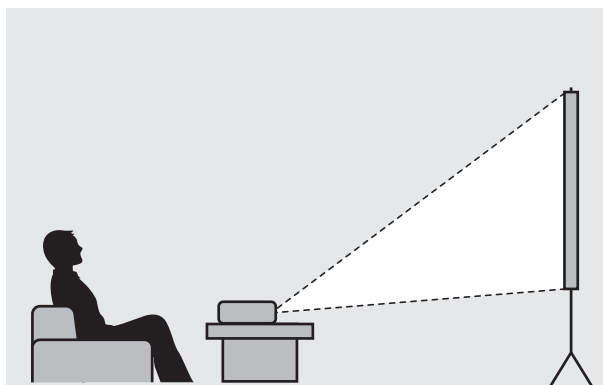
- 天井への取り付け（天吊り設置）工事には特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、天吊り金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。
- 不安定な棚の上や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 棚の上など高い位置に設置するときは、地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと落下によりけがや事故の原因となります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

注意

- 湿気やホコリの多い場所・油煙やたばこなどの煙が当たる場所には設置しないでください。
- 本機を縦向きに置いて投写しないでください。故障の原因となります。
- エアフィルターは約3か月に一度は掃除してください。ホコリの多い環境では、より短い周期で掃除を行ってください。 ➡ [p.113](#)

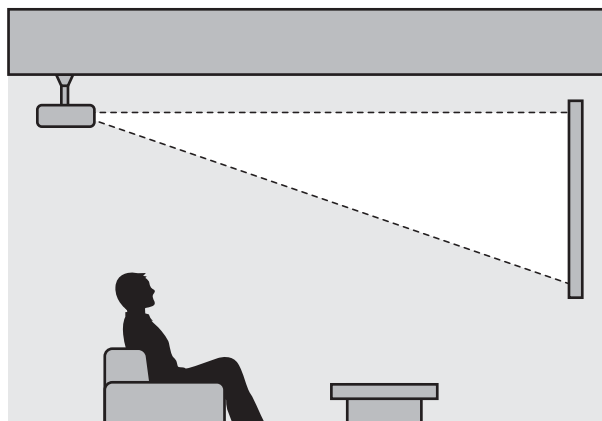
■ テーブルなどに置いて投写する

リビングテーブルや低めの棚などに設置して、映像を投写します。



■ 天吊りして投写する

オプションの天吊り金具で天吊り設置して、映像を投写します。



- 天吊りして投写する場合は、[設置モード] を [フロント・天吊り] または [リア・天吊り] に設定します。☞ [拡張設定] - [設置モード] [p.90](#)
- 天吊りにして内蔵スピーカーを利用する場合は、[音声左右反転] を [オン] に設定します。☞ [設定] - [音声] - [音声左右反転] [p.87](#)

投写距離とレンズシフトの最大値

本機をスクリーンから離すほど、投写映像は大きくなります。

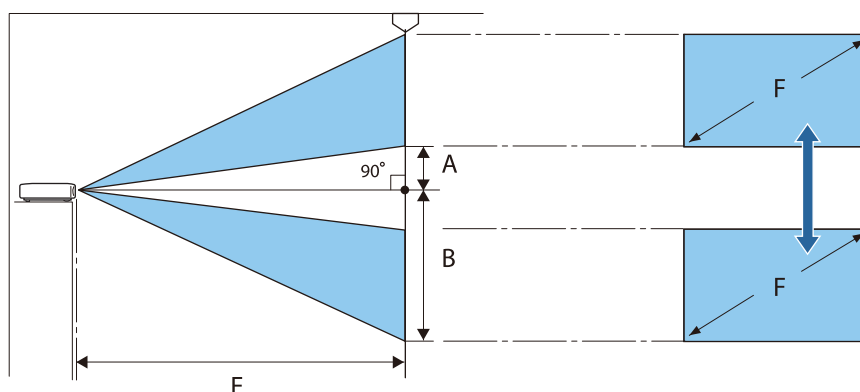
次の表を参考にして、映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。

レンズシフトによる調整の最大値は次の表のとおりです。



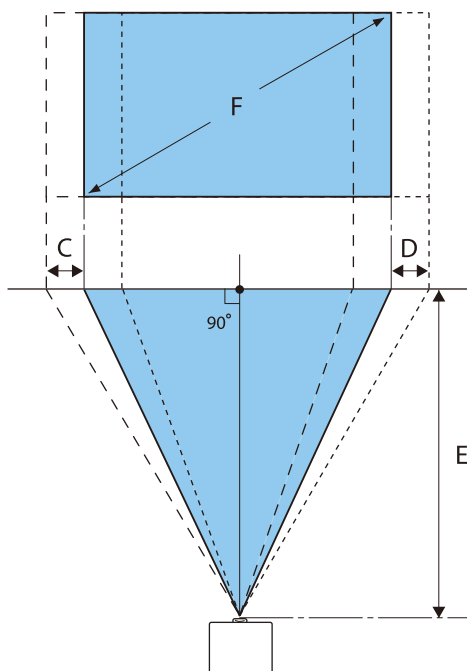
ゆがみを補正すると投写映像が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせるときは、投写距離を長くしてください。

レンズシフトで上下に投写位置を調整する場合



- A : レンズの中心から投写画面下端までの距離（レンズシフトを上 に最大にした場合）
B : レンズの中心から投写画面下端までの距離（レンズシフトを下 に最大にした場合）
E : プロジェクターからスクリーンまでの投写距離
F : 投写画面のサイズ

レンズシフトで左右に投写位置を調整する場合



- C : プロジェクター移動時のレンズ中心の移動距離（レンズシフトを左に最大にした場合）
D : プロジェクター移動時のレンズ中心の移動距離（レンズシフトを右に最大にした場合）
E : プロジェクターからスクリーンまでの投写距離
F : 投写画面のサイズ

単位：cm

16:9 スクリーンサイズ		投写距離 (E)		レンズシフトの最大値※		
F	W x H	最短 (Wide)	最長 (Tele)	距離 (A)	距離 (B)	距離 (C、D)
40型	89 x 50	116	190	5	55	21
60型	130 x 75	176	286	7	82	32
80型	180 x 100	235	382	10	110	43
100型	220 x 120	295	478	12	137	53
120型	270 x 150	354	575	15	164	64
150型	330 x 190	443	719	19	205	80
180型	440 x 250	532	863	22	247	96

単位：cm

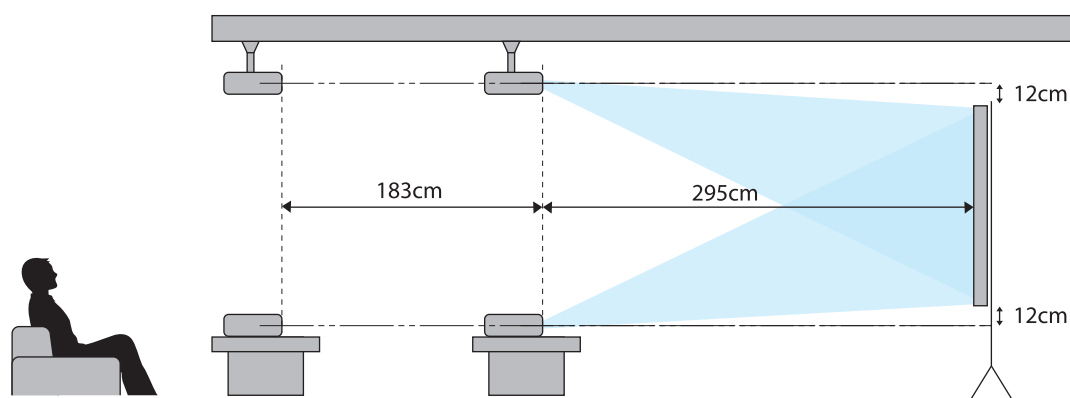
4:3 スクリーンサイズ		投写距離 (E)		レンズシフトの最大値※		
F	W x H	最短 (Wide)	最長 (Tele)	距離 (A)	距離 (B)	距離 (C、D)
40型	81 x 61	143	233	6	67	26
60型	120 x 90	216	351	9	101	39
80型	160 x 120	288	468	12	134	52
100型	200 x 150	361	586	15	168	65

4:3 スクリーンサイズ		投写距離 (E)		レンズシフトの最大値※		
F	W x H	最短 (Wide)	最長 (Tele)	距離 (A)	距離 (B)	距離 (C、D)
120型	240 x 180	434	704	18	201	78
150型	300 x 230	443	719	23	251	98
200型	410 x 300	591	1175	30	335	130

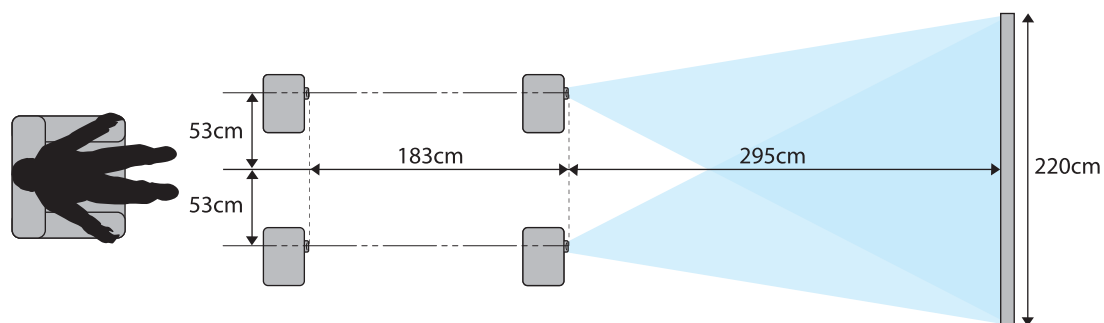
※ 上下と左右、両方のレンズシフトを同時に最大値までシフトすることはできません。  [p.33](#)

設置例 (16:9 スクリーンサイズ/100型の場合)

横から見た図



上から見た図





機器と接続しよう

注意

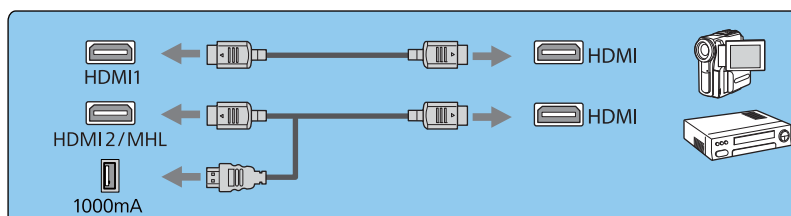
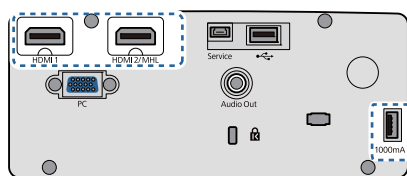
- 接続機器のケーブルを本機に接続してから本機の電源コードを接続してください。
- ケーブルのコネクター形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと、機器の破損や故障の原因になります。

EH-TW6700Wには、背面をすっきり見せるためにコネクター部分に端子カバーがついています。ケーブルで接続するときは、あらかじめ端子カバーを外してから機器と接続してください。 [p.27](#)

ビデオ機器の接続

DVD/ブルーレイディスクプレーヤーやビデオなどの映像を投写するには、次の方法で接続します。

HDMIケーブル（市販品）を使用するとき

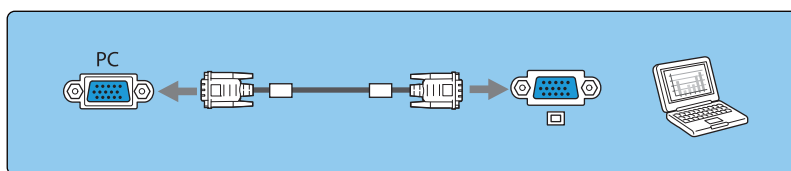
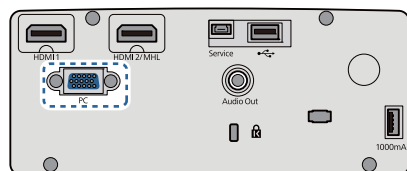


- 接続機器の音声は、お手持ちのAVアンプなどに接続してもお楽しみいただけます。
- 光HDMIケーブルの給電端子を使用するときは、1000mA給電専用端子に接続してください。

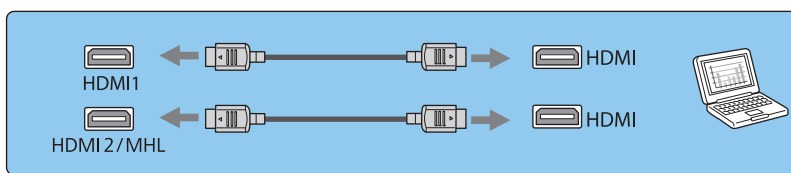
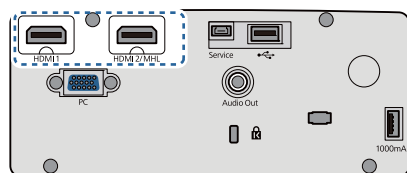
コンピューターの接続

コンピューターの映像を投写するには、次の方法で接続します。

コンピューターケーブル（市販品）を使用するとき



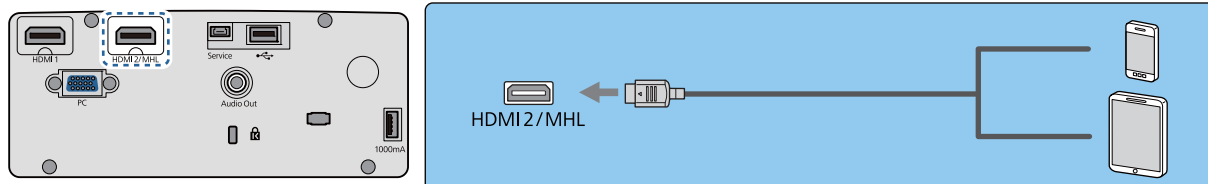
HDMIケーブル（市販品）を使用するとき



スマートフォン・タブレット端末の接続

MHL対応のスマートフォンやタブレット端末を接続できます。

市販のMHLケーブルで、スマートフォンまたはタブレット端末のmicroUSB端子と本機のHDMI2/MHL端子を接続します。



映像の投写中は、接続しているスマートフォン、タブレット端末が充電されます。

注意

- 必ずMHL規格に対応したケーブルで接続してください。MHL規格に対応していないケーブルを接続すると、スマートフォンやタブレット端末の発熱、液モレ、破裂など火災の原因になる場合があります。
- MHL-HDMI変換アダプタ（市販品）を使用して接続すると、本機のリモコンを使ったスマートフォン、タブレット端末の操作および充電ができないことがあります。

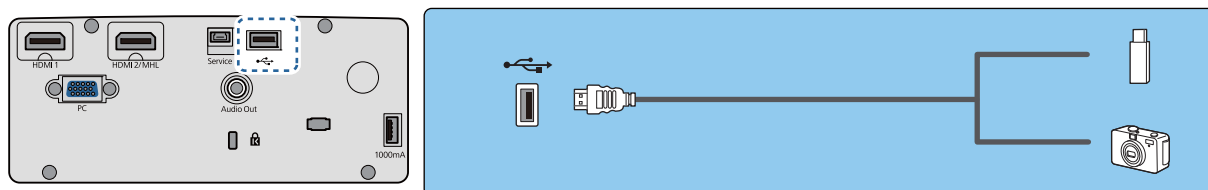


- 動画を再生するなど使用電力が大きい場合は、充電されないことがあります。
- 本機がスタンバイ状態のときや、スマートフォンやタブレット端末のバッテリー残量がないときは充電されません。

USB機器の接続

USBメモリー、USB対応のデジタルカメラなど、USB機器を接続できます。

USB機器に同梱のUSBケーブルで、USB機器と本機のUSB端子（TypeA）を接続します。



USB機器を接続したときは、USBメモリーやデジタルカメラ内の画像ファイルをスライドショーで再生します。 ➡ [p.72](#)

投写終了後は、本機からUSB機器を取り外します。電源スイッチがある機器は、USB機器の電源をオフにしてから取り外してください。

注意

- USBハブを使用すると、正しく動作しません。デジタルカメラやUSB機器を直接本機に接続してください。
- デジタルカメラの接続には、各機器指定のUSBケーブルをお使いください。
- USBケーブルの長さは、3m以下のものをお使いください。ケーブルの長さが3mを超えると、スライドショーが正しく動作しないことがあります。

外部機器の接続

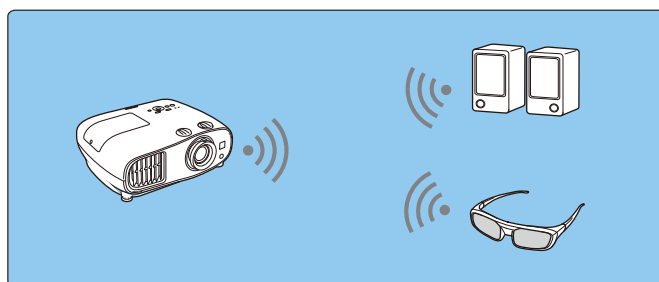
Bluetooth®機器の接続

Bluetooth 対応のオーディオ機器（A2DP準拠）や3Dメガネ（Bluetooth 3DS Profile準拠）を接続できます。



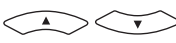
3Dメガネの接続方法は、下記をご覧ください。

☛ 「3Dメガネをペアリングする」 [p.51](#)



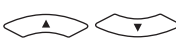
HDMI1入力端子やHDMI2/MHL入力端子に入力されている音声を、Bluetooth対応のスピーカーやヘッドフォンから出力します。

1  ボタンを押して、[設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] の順でメニューを表示します。

2  ボタンで [プロジェクター] を選択し、 ボタンを押して決定します。



3 [設定] - [Bluetooth] - [Bluetoothオーディオ] の順でメニューを表示します。

4  ボタンで [オン] を選択し、 ボタンを押して決定します。



5 接続するBluetooth機器を、ペアリング可能な設定にします。

Bluetooth機器の設定方法は、Bluetooth機器に付属の取扱説明書を参照してください。

6 [Bluetooth機器検索] を選択します。

接続可能な機器が一覧で表示されます。

7 ボタンで接続するBluetooth機器を選択し、 ボタンを押して接続します。



本機の電源を入れ直したときは、最後に接続した機器に自動的に接続します。

接続機器を切り替えるときは、手順5から行います。

Bluetoothの仕様

バージョン	Bluetooth Ver 3.0
出力	Class 2
通信可能距離	約10m
対応プロファイル	A2DP
コンテンツ保護	SCMS-T方式
使用周波数	2.4GHz 帯(2.402GHz - 2.480GHz)
対応コーデック	SBC、Qualcomm® aptX™ audio

警告

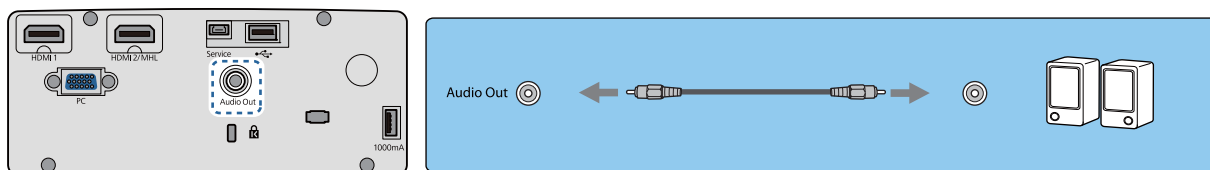
- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、医療機器が近くにないことを確認してください。
- 自動制御機器に電磁妨害をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。



- 著作権保護（SCMS-T）に対応しているBluetooth機器を接続してください。
- 機器の規格や種類によっては接続できないことがあります。
- 通信可能距離内で接続しているときでも、電波状況によっては接続が切れることがあります。
- Bluetoothの通信方式は無線LAN（IEEE802.11b/g）や電子レンジと同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、同時に使用すると電波干渉が発生し、映像や音声途切れたり接続ができないことがあります。同時に使用したいときは、Bluetooth機器をこれらの機器の近くで使用しないでください。
- 複数のBluetooth機器を同時に接続することはできません。
- Bluetoothオーディオ機器で再生される音声には遅延が生じることがあります。

■ 外部スピーカーの接続

外部スピーカーから音声を出力するには、市販のオーディオケーブルで、外部スピーカーと本機のAudio Out端子を接続します。



- 外部スピーカーから音声を出力するときは、[音声出力機器] を [プロジェクター] に設定します。☞ [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] [p.87](#)
- [音声出力機器] が [AVアンプ] に設定されていても、アンプが接続されていなければ、音声は外部スピーカーから出力されます。

■ WirelessHD機器の接続 (EH-TW6700Wのみ)

同梱のWirelessHDトランスミッターからの電波を受信し、映像を投写します。☞ [p.56](#)

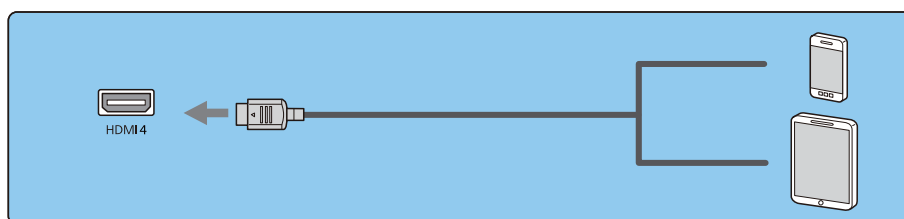
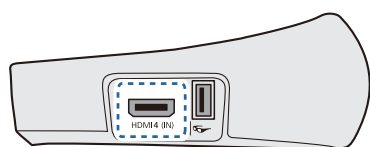
投写映像はリモコンの (WirelessHD) ボタンを押して切り替えます。



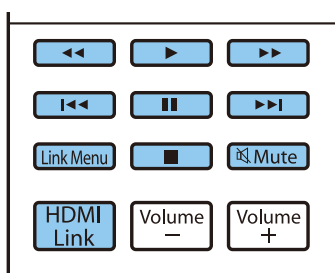
- WirelessHDの映像を受信する場合は、[WirelessHD] が [オン] になっている必要があります。☞ [設定] - [WirelessHD] - [WirelessHD] [p.87](#)
- [HDMIリンク] の [接続機器一覧] から表示したい機器を選択して切り替えることもできます。☞ [設定] - [HDMIリンク] - [接続機器一覧] [p.87](#)

スマートフォン・タブレット端末の接続

WirelessHDトランスミッターとMHL対応のスマートフォンまたはタブレット端末を接続します。MHLの規格に対応したケーブルで、スマートフォンまたはタブレット端末のmicroUSB端子とWirelessHDトランスミッターのHDMI4端子を接続します。



プロジェクターのリモコンを使って接続中のスマートフォンやタブレット端末を操作できます。また、映像や音声を楽しみながら、スマートフォンやタブレット端末の充電もできます。



注意

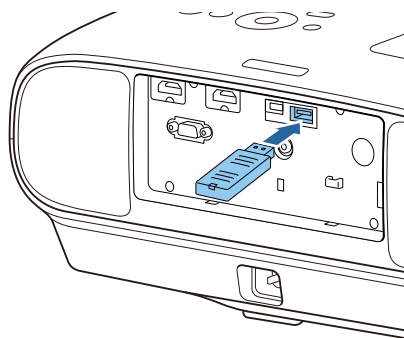
- 必ずMHLの規格に対応したケーブルで接続してください。場合によっては、充電時、スマートフォンやタブレット端末の発熱、液モレ、破裂など火災の原因になる場合があります。
- MHL-HDMI変換アダプタを使用して接続すると、充電や本機のリモコンからの操作ができない場合があります。



お使いの機種によっては、動画を再生する場合など、供給される電力より使用する電力が大きくなり、充電されない場合があります。

無線LANユニットの取り付け

無線LAN機能を使用する場合は、オプションの無線LANユニット（ELPAP10）を取り付けます。無線LANユニットをUSB端子に挿し込みます。



無線LAN経由で投写するには、以下の方法があります。詳細はダウンロード先にてご確認ください。

• 4画面を同時に投写

EasyMP Multi PC Projectionを使うと、ネットワークにつながった最大50台のコンピューターの中から任意の4台までの画面を、プロジェクターで分割表示できます。

EasyMP Multi PC Projectionは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

• 携帯端末の映像をネットワーク経由で投写

「Epson iProjection」をスマートフォンやタブレット端末にインストールすると、端末内のデータをワイヤレスで投写できます。➡ [p.79](#)



- 無線LANユニットを挿したままにしておく場合、無線LANを使用しないときは、[無線LAN電源] を [オフ] に設定してください。第三者からの不正アクセスを防ぐことができます。

➡ [p.93](#)

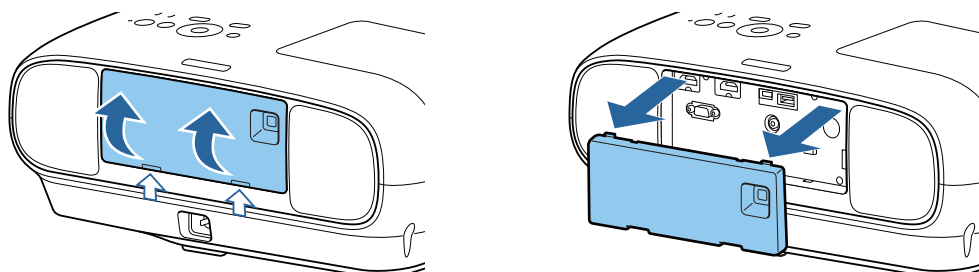
- [かんたんモード] でEpson iProjectionやEasyMP Multi PC Projectionを使うときは、セキュリティの設定をすることをお勧めします。➡ [p.96](#)

端子カバーの外し方

EH-TW6700Wには、背面のコネクター部分に端子カバーがついています。機器とケーブルで接続するときは外してください。

端子カバーの下側のスキマを持って手前に引き、上側のミゾから外します。

取り付けるときは、上側のミゾからはめてください。





リモコンを準備しよう

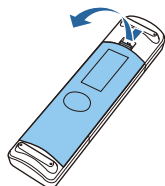
リモコンに電池をセットする

注意

- 電池ホルダー内の表示を確認し、(+) (-) を正しく入れてください。
- 単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

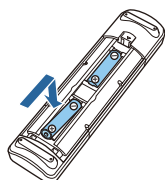
1 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さながら、上へ持ち上げます。



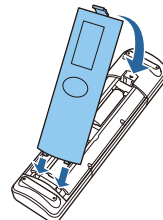
2 新しい電池と交換します。

(+) (-) の向きを確認して入れてください。



3 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

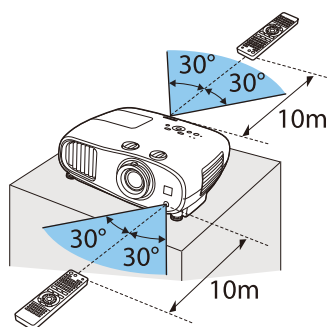


リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。

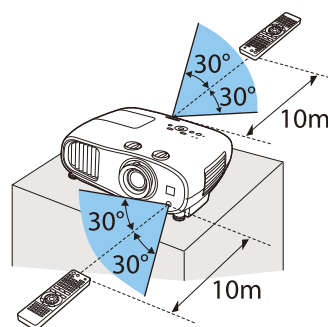
リモコンの操作範囲

WirelessHDトランスミッターの操作範囲は異なります。👁️ [p.67](#)

■ 操作可能範囲（左右）



■ 操作可能範囲（上下）



映像を投写しよう

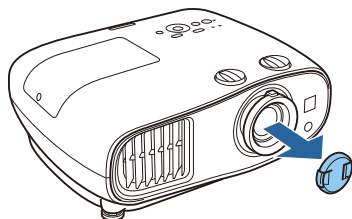
電源を入れる

1 本機と接続機器を接続します。

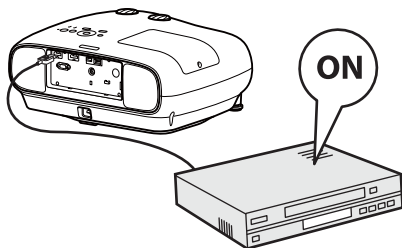
2 同梱の電源コードを接続します。

 必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

3 レンズキャップを外します。

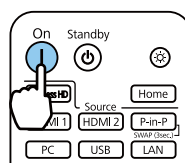


4 接続機器の電源を入れます。

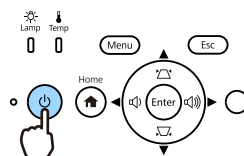


5 リモコンの ① ボタンまたは操作パネルの ② ボタンを押して電源を入れます。

リモコン



操作パネル



本機のオペレーションインジケータが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、電源インジケータとオペレーションインジケータが青色に点灯します。

 [ダイレクトパワーオン] を [オン] にすると、ボタン操作をしなくても、本機に電源コードを接続するだけで投写を開始します。
 ● [拡張設定] - [動作設定] - [ダイレクトパワーオン] [p.90](#)

警告

- 投写中はレンズをのぞかないでください。強い光により視力障害などの原因となります。
- 投写中はレンズの前に立たないでください。衣服が高温になり損傷する原因となります。



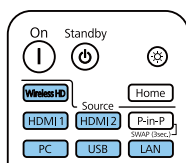
- 本機には、お子様が誤って電源を入れるのを防ぐチャイルドロック機能や、誤操作などを防ぐ操作ボタンロック機能があります。● [設定] - [ロック設定] - [チャイルドロック] / [操作ボタンロック] [p.87](#)
- 本機には、接続しているコンピューター映像の入力信号が切り替わったときに、自動で最適な状態にする自動調整機能があります。● [映像] - [自動調整] [p.86](#)
- 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず [高地モード] を [オン] にしてください。● [拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] [p.90](#)

■ 目的の映像が映らない場合

映像が映らないときは、次の方法で入力ソースを切り替えます。

リモコン

目的の入力端子のボタンを押します。



操作パネル

① ボタンを押して、表示されるホーム画面で目的の入力端子を選択します。



ホーム画面の使い方

ホーム画面を使うと、入力ソースの切り替えや、便利な機能の実行が簡単にできます。

ホーム画面を表示するには、リモコンの **Home** ボタン、または操作パネルの **Home** ボタンを押します。

以下の条件を満たしているときは、本機の電源を入れるとホーム画面が自動で表示されます。

- [ホーム画面自動表示] が [オン] に設定されている **☛ [拡張設定] - [ホーム画面設定] - [ホーム画面自動表示]** [p.90](#)
- すべての入力ソースが無信号状態



1	入力ソースを切り替えます。
2	QRコードを表示して、スマートフォンやタブレット端末をワイヤレスで接続します。 ☛ p.79
3	環境設定メニューを表示します。 ☛ p.83

4	[ホーム画面設定] で [カスタム機能1]、[カスタム機能2] に割り当てた機能を実行します。 ☞ [拡張設定] - [ホーム画面設定] p.90
5	3Dの設定をします。☞ [映像] - [3D設定] p.86
6	[カラーモード] を切り替えます。☞ p.38



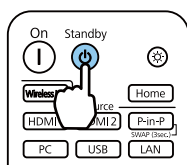
10分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

電源を切る

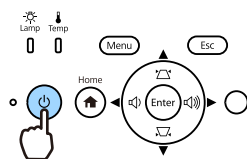
1 接続している機器の電源を切ります。

2 リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押します。

リモコン



操作パネル



確認メッセージが表示されます。

3 もう一度  ボタンを押します。

電源を切りますか？

はい :  を押す

いいえ: 他のボタンを押す

オペレーションインジケータが点滅し、クールダウンを開始します。



[スタンバイ確認] を [オフ] に設定しているときは、リモコンのボタンを一度押すだけで電源が切れます。☞ [拡張設定] - [表示設定] - [スタンバイ確認] p.90

4 クールダウンが終了するのを待ちます。

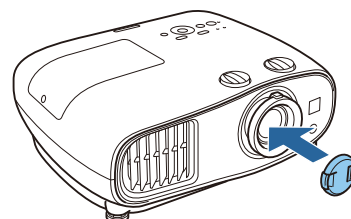
クールダウンが終了すると、オペレーションインジケータの点滅が止まります。

5 電源コードを抜きます。



- 電源コードを接続している状態では、動作していなくても電力を消費しています。
- 再度、電源コードを接続するときは十分な間隔をあげてください。

6 レンズキャップを取り付けます。



投写映像を調整しよう

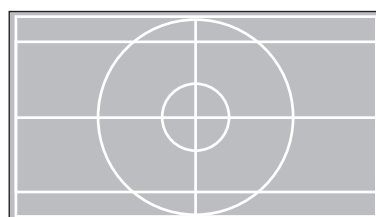
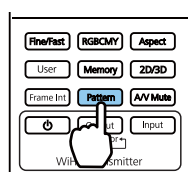


プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行うことをお勧めします。

テストパターンを表示する

テストパターンを表示して、映像機器を接続せずに、ピントや投写サイズ、投写位置の調整ができます。

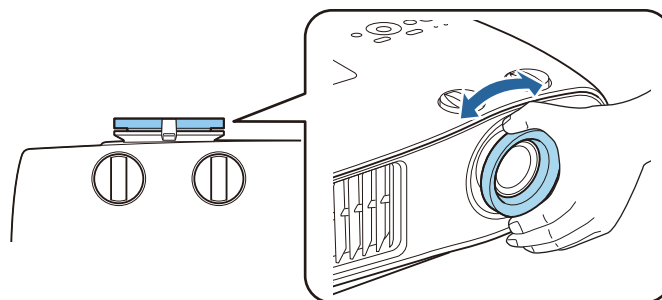
リモコンの **Pattern** ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。上下の横線は2.40:1のシネマスコープサイズの目安です。



テストパターン表示を終了するには、もう一度 **Pattern** ボタンを押します。

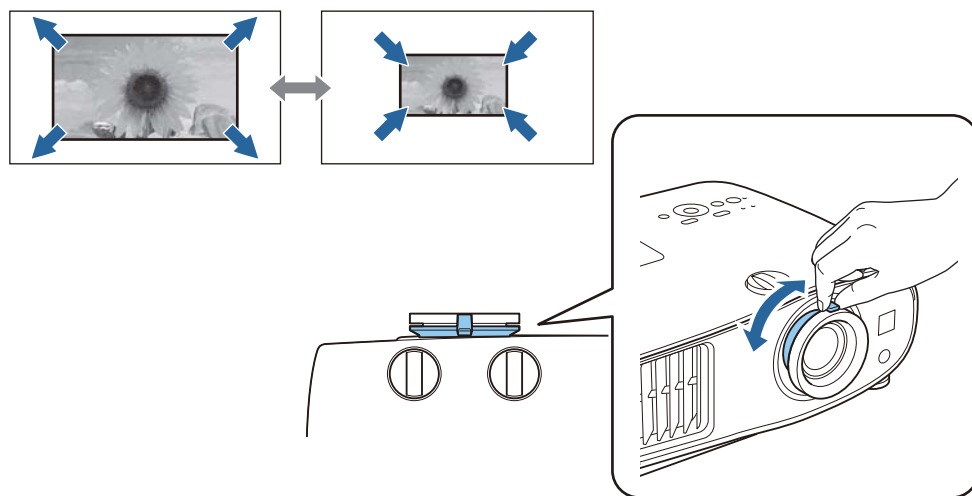
ピントを調整する（フォーカス調整）

フォーカスリングを回してピントを調整します。



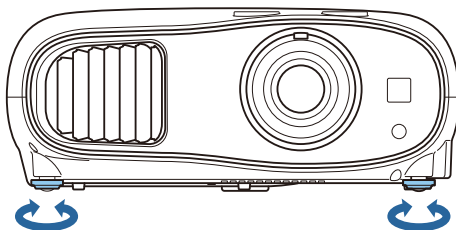
投写のサイズを調整する（ズーム調整）

つまみを持ってズームリングを回し、投写映像の大きさを調整します。



本機の傾きを調整する

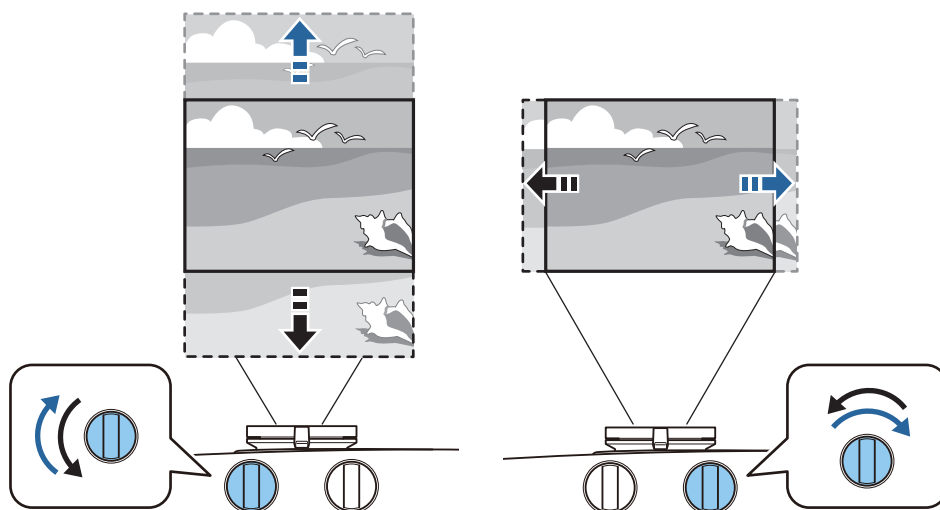
机上設置時に投写映像が水平方向に傾いている（左右で高さが違う）ときは、フロントフットで本機が水平になるように調整します。



映像の位置を調整する（レンズシフト）

スクリーンの正面に本機を設置できないときは、レンズシフトで映像の位置を調整します。

本機の上・下・左・右レンズシフトダイヤルを回して、映像の位置を調整します。レンズシフトダイヤルを回してカチッと音がする位置が、シフト範囲のほぼ中央になります。



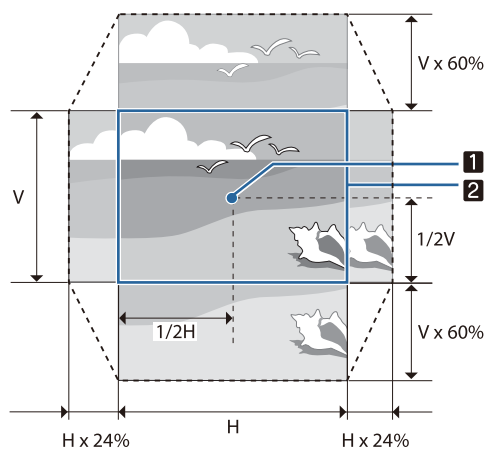
注意

- 上下レンズシフトで画面の位置を調整するときは、画面を下から上に移動して調整し、終了してください。下に移動して終了すると、画面の位置が少し下がる場合があります。
- レンズシフトダイヤルは空転させないでください。端まで投写位置を移動させた後もダイヤルを回し続けると空転し、画質が劣化する場合があります。



- レンズシフトを上下、左右とも中央に合わせたときがもっとも鮮明な映像となります。
- レンズシフトで投写位置を調整するときは、スクリーンと本機が平行になるように設置することをお勧めします。

映像を移動できる範囲は、以下のとおりです。



- 1 レンズの中心
- 2 レンズシフトを中央に設定したときの映像



注意

本機を輸送するときは、レンズ位置を中心に戻してください。レンズ位置が中心位置にない状態で輸送すると、レンズシフトの機構が破損するおそれがあります。お買い上げ時にレンズにセットされていた保護パッドも取り付けてください。



レンズシフトを使っても調整できない場合は、台形補正でゆがみを調整します。 ➡ [p.34](#)

台形ゆがみを補正する

スクリーンに対して斜めに本機を設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の台形ゆがみを補正します。

補正には次の2つの方法があります。

- 縦方向、横方向のゆがみを補正する ➡ [p.35](#)
- 投写画面のコーナーの形状を個別に補正する ➡ [p.36](#)



台形ゆがみを補正するときは、レンズシフトダイヤルを回して以下のようにレンズの位置を調整してください。

- レンズの左右位置：中央
- レンズの上下位置：上端

レンズの位置が正しくないと投写画面がゆがむ場合があります。

■ 台形補正ボタンで補正する

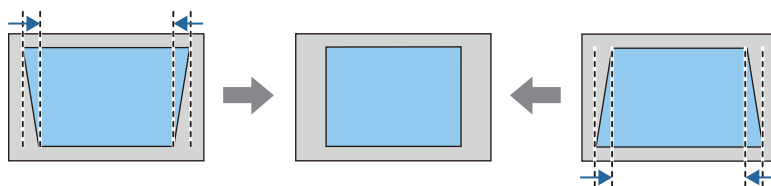
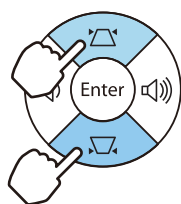
操作パネルの ボタンでタテヨコ方向のゆがみを補正します。

ボタンを押すと、タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されます。

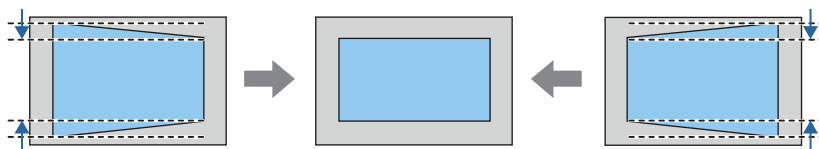
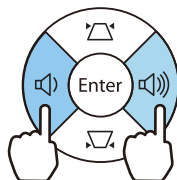
ゲージが表示された状態で、 ボタンを押すと縦方向に、 ボタンを押すと横方向に補正します。



上下のどちらかが広いとき



左右のどちらかが広いとき

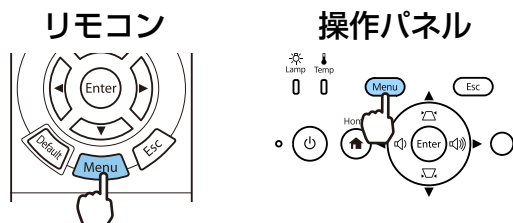


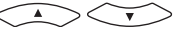
- 台形ゆがみを補正すると投写画面が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせるときは、投写距離を長くしてください。
- タテヨコ補正は環境設定メニューからも設定できます。 [設定] - [台形補正] - [タテヨコ] [p.87](#)
- 正しく補正できる範囲は、補正角度で上下左右約30°以下です。
- タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されていない状態で ボタンを押すと、音量を調整します。 [p.37](#)

■ Quick Corner機能で補正する

Quick Corner機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。

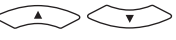
- 1  ボタンを押して、[設定] - [台形補正] の順でメニューを表示します。

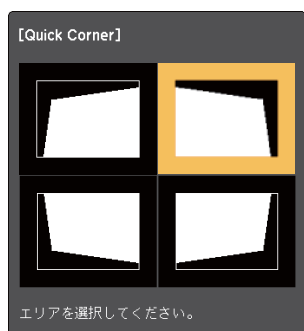


- 2  ボタンで [Quick Corner] を選択し、 ボタンを押して決定します。必要に応じて  ボタンをもう一度押します。



エリア選択画面が表示されます。

- 3  ボタンを押して、調整するコーナーを選択します。その後、 ボタンを押します。



Quick Cornerで補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに  ボタンを約2秒間押し、[はい] を選択します。

- 4  ボタンを押して、映像の形状を調整します。 ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



- 5 手順3と4を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

- 6 終了したら、 ボタンを押します。

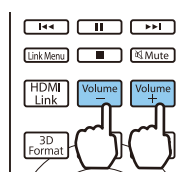


Quick Corner実行後は、[設定] メニューの [台形補正] が [Quick Corner] に設定されます。操作パネルの   ボタンを押したときは、エリア選択画面が表示されます。

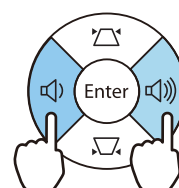
音量を調節する

リモコンの   ボタン、または本体操作パネルの   ボタンで音量を調節できます。

リモコン



操作パネル



- 音量の調節は、環境設定メニューからも設定できます。 ➡ [設定] - [音声] - [音量] [p.87](#)
- AVアンプの音量を調整するときは、本機にAVアンプを接続した状態で、[HDMIリンク] を [オン]、[音声出力機器] を [AVアンプ] に設定します。 ➡ [設定] - [HDMIリンク] [p.87](#)
- Bluetoothオーディオ機器から音声を出力しているときは、本機の音量を変更しても、Bluetoothオーディオ機器の音量は変更されません。

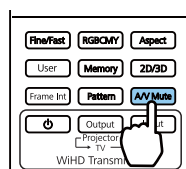


注意

初めから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量を下げおき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）

 ボタンを押すたびに映像を消す/映すが切り替わります。音声も連動します。



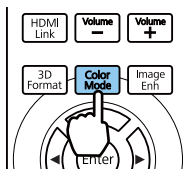
- 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいます。  ボタンで映像を消したときの場面から投写を再開することはできません。
- 音声のみを一時的に消す/再開する場合は、  ボタンを押してください。
- AVアンプからの音声を操作するときは、本機にAVアンプを接続した状態で、[HDMIリンク] を [オン]、[音声出力機器] を [AVアンプ] に設定します。 ➡ [設定] - [HDMIリンク] [p.87](#)

画質の調整をしよう

映り具合を選ぶ（カラーモード）

投写時の環境に応じて最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

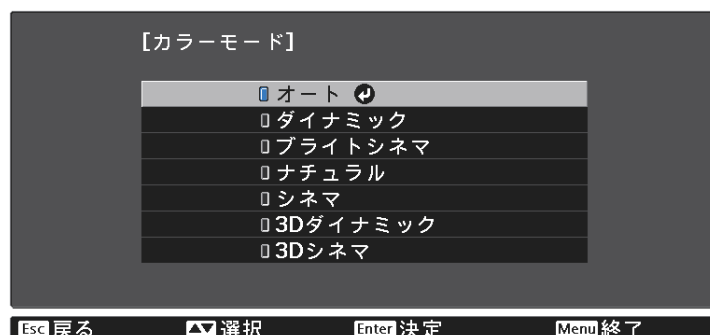
1  ボタンを押します。



- 環境設定メニューからも設定できます。☞ [画質] - [カラーモード] [p.84](#)
-  ボタンを押してホーム画面からも設定できます。☞ [p.30](#)

2 [カラーモード] を選択します。

  ボタンを押してモードを選択し、 ボタンを押して決定します。



2D映像投写時の選択肢

モード名	使い方
オート※	環境に応じて自動でカラーモードを設定します。
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
ブライトシネマ	映像を明るく鮮やかに投写したい場合に適しています。
ナチュラル	コンテンツの持つ色表現を忠実に再現したい場合に適しています。
シネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適しています。

※ [設置モード] が [フロント] の場合のみ設定できます。☞ [p.90](#)

3D映像投写時の選択肢

モード名	使い方
3Dダイナミック	明るさを優先したい場合に適した3D専用モードです。
3Dシネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適した3D専用モードです。

画面をフルやズームに切り替える（アスペクト）

入力信号の種類、縦横比、解像度にあわせて投写映像の「アスペクト」を切り替えます。

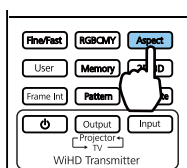
投写している映像の種類により選択できる設定が異なります。



著作権法上で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

1

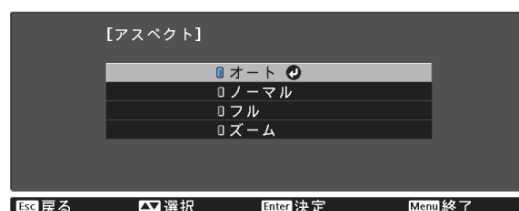
Aspect ボタンを押します。



環境設定メニューからも設定できます。 [映像] - [アスペクト] p.86

2

ボタンで設定名を選択し、Enter ボタンを押して決定します。



入力信号によっては「アスペクト」の切り替えができない場合があります。

通常は「オート」に設定しておくことで入力信号に最適なアスペクトで表示されます。異なる比率で表示したいときに切り替えてください。

下記の表は16:9のスクリーンに投写した場合のイメージです。

入力映像	設定名		
	ノーマル	フル	ズーム
4:3の映像			
16:9の映像		16:9の映像を投写する場合、フル、ズームは選択できません。	
スクイーズ記録された映像			
レターボックスの映像 ※			

入力映像	設定名		
	ノーマル	フル	ズーム
補足	投写パネルの縦サイズに合わせて表示します。入力映像により縦横比が異なります。	投写パネル全体を使って表示します。入力解像度により縦横比が異なります。	入力信号の縦横比を維持して、投写パネルの横サイズに合わせて表示します。上下が切れる場合があります。

※ 説明に使用しているレターボックスのイメージは、16:9の映像の上下に字幕用に黒い帯が付加されて4:3の映像として表示される映像を例としています。画面イメージの上下の枠は字幕用の帯を示しています。

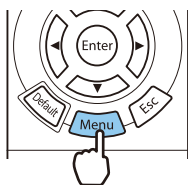
シャープネスの調整

画像を強調します。

設定項目と設定手順は次のとおりです。

スタンダード	投写映像全体の輪郭が強調されます。[スタンダード] を調整すると、[高域強調] と [低域強調] の調整値も連動して調整されます。
高域強調	髪の毛や衣服の模様などの細かい部分が強調されます。
低域強調	被写体全体の輪郭や背景などの粗い部分が強調され、くっきりとした映像になります。

1  ボタンを押します。



環境設定メニューが表示されます。

2 [画質] - [シャープネス] を選択します。

[シャープネス] の調整画面が表示されます。

3   ボタンで項目を選択し、
  ボタンで調整します。

+側（右側）にすると強調され、-側（左側）にするとソフトになります。



調整結果を初期値に戻すときは  ボタンを押します。

4  ボタンを押してメニューを終了します。

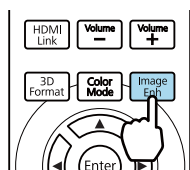
映像の解像感を調整する（イメージ強調）

イメージ強調機能を使って映像の解像感を調整します。

調整できる内容は次のとおりです。

イメージ強調プリセット	[ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション]、[超解像]、[ディテール強調] の設定値としてあらかじめ用意された設定を選択します。
ノイズリダクション	（[映像処理] が [きれい] の場合のみ設定可能） 映像のざらつきを抑えます。
MPEGノイズリダクション	（[映像処理] が [きれい] の場合のみ設定可能） MPEG動画を投写したときに輪郭に生じる点状のノイズやブロック状のノイズを抑えます。
超解像	高域では、複雑な映像の明暗差や輪郭を強調します。 低域では、背景などののっぺりとした映像の明暗差や輪郭を強調します。
ディテール強調	映像の明暗差を強調し、質感や素材感を際立たせます。 映像によっては色の境目にハイライトが目立つ場合があります。 気になるときは、設定値を小さく設定してください。

1 Image Enh ボタンを押します。



環境設定メニューからも設定できます。☛ [画質] - [イメージ強調] [p.84](#)

2 調整する項目を選択し、Enter ボタンを押して決定します。



3 方向キーで調整します。

別の項目を調整するときは、Esc ボタンを押します。

調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。



4 Image Enh ボタンを押してメニューを終了します。

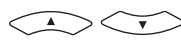
オートアイリス（自動絞り）を設定する

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある映像が楽しめます。

映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を、[標準]、[高速] から選択します。

 ボタンを押して、次の順でメニューを表示します。

[画質] - [オートアイリス]

 ボタンで項目を選択し、 ボタンを押して決定します。



映像によってはオートアイリスの動作音がすることがありますが、故障ではありません。

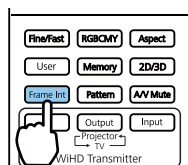
フレーム補間を設定する

前後のフレームから中間のフレームを自動で生成して補間することで、動きの早い動画をなめらかに再生できます。

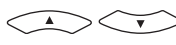
フレーム補間は以下の条件のときに有効です。

- [映像処理] が [きれい] に設定されている。  [映像] - [アドバンスト] - [映像処理] [p.86](#)
- 入力ソースがHDMI1/HDMI2/WirelessHDになっている。
- 2D信号または3D信号（1080p 24Hz）が入力されている。  [p.123](#)

1  ボタンを押します。



環境設定メニューからも設定できます。  [画質] - [フレーム補間] [p.84](#)

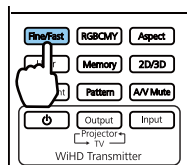
2  ボタンで項目を選択し、 ボタンを押して決定します。



映像処理の速度を設定する

ゲームなどの動きの速い投写映像に対し、応答速度を向上させる処理をします。
HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHDからのプログレッシブ信号で有効です。

Fine/Fast ボタンを押すたびに「きれい」 / 「速い」 が切り替わります。



- 環境設定メニューからも設定できます。🖱️ [映像] - [アドバンスド] - [映像処理] [p.86](#)
- 3D映像には対応していません。
- [映像処理] を「速い」に設定すると、[ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション]、[2D-3D変換] はオフに固定されます。



色を調整をしよう

色温度を調整する

映像全体の色合いを調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強すぎるなどのときに調整します。

Menu ボタンを押して、次の順でメニューを表示します。

〔画質〕 - 〔色温度〕 - 〔色温度〕

◀ ▶ ボタンで調整します。

数値を大きくすると青みが強くなり、数値を小さくすると赤みが強くなります。



調整結果を初期値に戻すときは **Default** ボタンを押します。

RGBを調整する（オフセット・ゲイン）

R（赤） G（緑） B（青）の各色について、暗い部分（オフセット）と明るい部分（ゲイン）の明度を調整します。

Menu ボタンを押して、次の順でメニューを表示します。

〔画質〕 - 〔色温度〕 - 〔カスタム〕

▲ ▼ ボタンで項目を選択し、**◀ ▶** ボタンで調整します。+側（右側）にすると明るく、-側（左側）にすると暗くなります。



オフセット	明るくすると暗い部分の濃淡が表現されます。暗くするとメリハリのある見え方になりますが、暗い部分の濃淡がわからなくなります。
ゲイン	明るくすると明るい部分が白っぽくなり濃淡がわからなくなります。暗くすると明るい部分の濃淡が表現されます。



調整結果を初期値に戻すときは **Default** ボタンを押します。

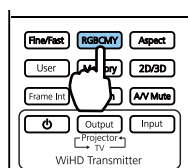
色相・彩度・明度の調整

R（赤） G（緑） B（青） C（シアン） M（マゼンタ） Y（イエロー）の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

色相	映像全体の色みを、青系～緑系～赤系へと調整します。
彩度	映像全体の鮮やかさを調整します。
明度	映像全体の色の明るさを調整します。

1

RGBCMY ボタンを押します。



環境設定メニューからも設定できます。 [画質] - [アドバンス] - [RGBCMY] [p.84](#)

2

ボタンで調整する色を選択し、**(Enter)** ボタンを押して決定します。

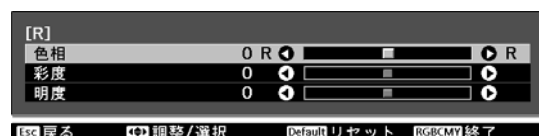


3

ボタンで [色相] [彩度] [明度] のいずれかを選択します。

4

ボタンで調整します。



別の色を調整するときは、**Esc** ボタンを押します。

調整結果を初期値に戻すときは **Default** ボタンを押します。

5

RGBCMY ボタンを押してメニューを終了します。

ガンマの調整

画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色を調整します。

設定方法は次の3つの方法があります。

- 補正值を選んで調整する
- 映像を見ながら調整する
- ガンマ調整グラフで調整する



3D信号とHDR信号入力時は、[映像から調整する] は選択できません。

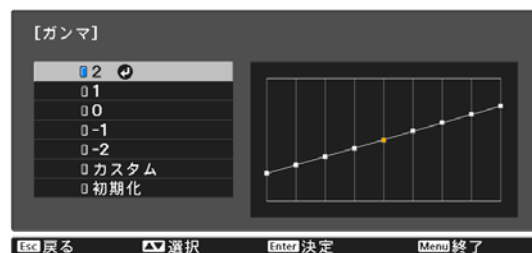
■ 補正值を選んで調整する

1

 ボタンを押して、次の順でメニューを表示します。
[画質] - [アドバンスト] - [ガンマ]

2

  ボタンで補正值を選択し、 ボタンを押して決定します。



数値が大きいほど、映像の暗い部分が明るくなりますが、明るい部分はつぶれぎみになります。ガンマ調整グラフは上側が膨らんだ形になります。

数値が小さいと、映像の明るい部分が暗くなります。ガンマ調整グラフは下側が膨らんだ形になります。



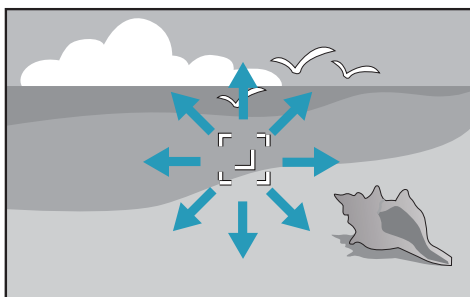
- ガンマ調整グラフの横軸は入力信号レベルを、縦軸は出力信号レベルを表します。
- 調整結果を初期値に戻すときは[初期化]を選択します。

映像を見ながら調整する

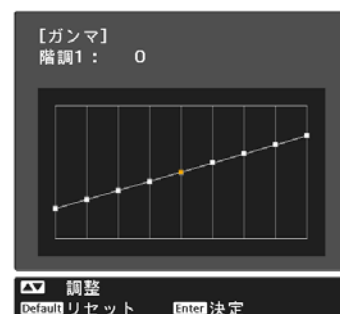
明るさを調整したい画像上のポイントを選択して、選択した諧調のみを調整します。

- 1 **[Menu]** ボタンを押して、次の順でメニューを表示します。
[画質] - [アドバンスト] - [ガンマ] - [カスタム] - [映像から調整する]

- 2 投写映像に表示されるカーソルを明るさを変更したい場所へ移動させ、**[Enter]** ボタンを押します。



- 3 **[Left Arrow]** **[Right Arrow]** **[Up Arrow]** **[Down Arrow]** ボタンで調整し、**[Enter]** ボタンを押して決定します。



- 4 「調整を継続しますか？」と表示されますので、[はい] または [いいえ] を選択します。

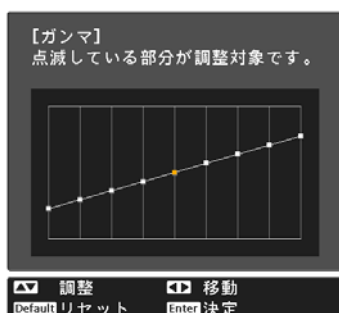
他の場所も調整するときは [はい] を選択し、手順2から行います。

ガンマ調整グラフで調整する

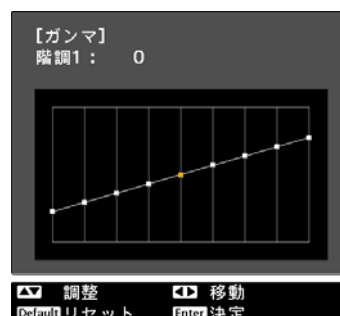
グラフ上の諧調ポイントを選択して、調整します。

- 1 **[Menu]** ボタンを押して、次の順でメニューを表示します。
[画質] - [アドバンスト] - [ガンマ] - [カスタム] - [グラフから調整する]

- 2 **[Left Arrow]** **[Right Arrow]** ボタンで調整したい諧調をグラフから選択します。



- 3 **[Left Arrow]** **[Right Arrow]** ボタンで明るさを調整し、**[Enter]** ボタンを押して決定します。





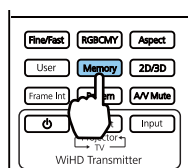
登録した画質で映像を見る（メモリー機能）

メモリーを登録する

メモリー機能を使うと、環境設定メニューの「画質」の設定値を登録し、必要なときに呼び出せます。

1 登録したい設定または調整を行います。

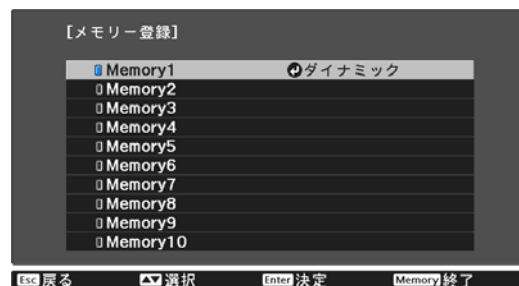
2 **Memory** ボタンを押します。



3 ボタンで「メモリー登録」を選択し、**Enter** ボタンを押して決定します。



4 ボタンで登録するメモリー名を選択し、**Enter** ボタンを押して決定します。



設定した状態がメモリーに登録されます。

メモリー名の左のマークが水色のときは登録済みです。登録済みのメモリー名を選択したときは、上書きを確認するメッセージが表示されます。[はい] を選択すると、以前の内容を消去し、現在の状態を登録します。

メモリーの呼び出し/削除/名称変更

登録したメモリーを呼び出したり、削除や名称変更ができます。

Memory ボタンを押し、表示された画面で目的の機能を選択します。

機能	説明
【メモリー呼出】	登録したメモリーを呼び出します。メモリー名を選択し Enter ボタンを押すと、表示中の映像の設定値が選択したメモリーの設定値に変更されます。
【メモリー削除】	登録したメモリーを削除します。メモリー名を選択し、 Enter ボタンを押すとメッセージが表示されます。[はい] を選択し、 Enter ボタンを押すと選択したメモリーが削除されます。
【メモリー名称変更】	メモリー名を変更します。変更するメモリー名を選択し、 Enter ボタンを押します。ソフトキーボードでメモリー名を入力します。 👉 p.94 入力が終了したら [Finish] にカーソルを合わせて、Enter ボタンを押します。



3D映像を楽しもう

3D映像を視聴するための準備

3D映像を視聴する前に、以下を確認してください。

- 入力ソースがHDMI1/HDMI2/WirelessHD (EH-TW6700Wのみ) になっている
- [3D表示] が [オート] または [3D] になっている
[2D] になっているときは、リモコンの **2D/3D** ボタンを押して [オート] または [3D] に切り替えてください。 ➡ [映像] - [3D設定] - [3D表示] [p.86](#)
- 3Dメガネがペアリングされている ➡ [p.51](#)

本機は次の3Dフォーマットに対応しています。

- フレームパッキング
- サイドバイサイド
- トップアンドボトム

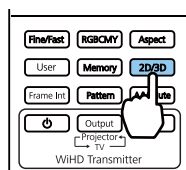
3D映像が見えないときは

3Dフォーマットが判別できる映像信号を受信すると、自動的に3D映像を投写します。

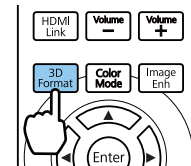
3Dテレビ放送によっては、3Dフォーマットを判別する信号が含まれていないことがあります。その場合は、次の手順で3Dフォーマットを設定してください。

- 1** **2D/3D** ボタンを押して、[3D表示] を [3D] にします。
- 2** **3D Format** ボタンを押して、AV機器側の3Dフォーマットを選択します。

2D/3D ボタンを押すたびに、[3D表示] が [オート]、[3D]、[2D] に切り替わります。

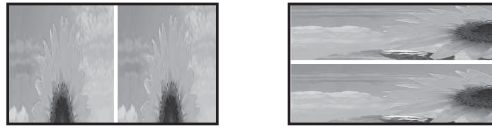


3D Format ボタンを押して、AV機器側の3Dフォーマットを選択します。





- 3D非対応の機器やケーブルを使用すると、3D投写ができないことがあります。
- AV機器側の3Dフォーマットの設定については、AV機器の取扱説明書を参照してください。
- 3Dフォーマットが正しく設定されていないときは、以下のように映像が正しく表示されません。



- 3Dフォーマットを設定しても3D映像が正しく表示されないときは、3Dメガネの同期タイミングが逆になっていることがあります。[3Dメガネ左右反転]で同期タイミングを反転してください。☛ [映像] - [3D設定] - [3Dメガネ左右反転] [p.86](#)
- 3D効果の見え方には個人差があります。
- 3D映像の投写を開始したときに、視聴に関する注意が表示されます。注意を表示させたくないときは[3D視聴上の注意]を[オフ]にします。☛ [映像] - [3D設定] - [3D視聴上の注意] [p.86](#)
- 3D投写中は環境設定メニューの次の機能は変更できません。
アスペクト（ノーマル固定）、ノイズリダクション（オフ固定）、オーバースキャン（オフ固定）、超解像、映像処理、アドバンストシャープネス、Picture in Picture
- 環境温度やランプ使用時間によっては3D映像の見え方が変わることがあります。正常に投写されない場合は使用を控えてください。

3Dメガネを使用する

3D映像は、同梱の3Dメガネ（ELPGS03）をかけて視聴します。☛ [p.122](#)



開封直後の3Dメガネには、保護シールなどが貼ってあります。保護シールをはがしてください。

3Dメガネを充電する

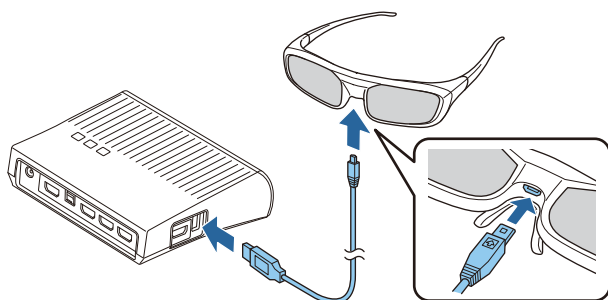
3Dメガネの充電方法は、お使いの機種によって以下の方法があります。

WirelessHDトランスミッターがある場合は、WirelessHDトランスミッターで充電できます。

WirelessHDトランスミッターがない場合は、USB充電AC電源アダプター（ELPAC01）で充電します。

WirelessHDトランスミッターで充電する

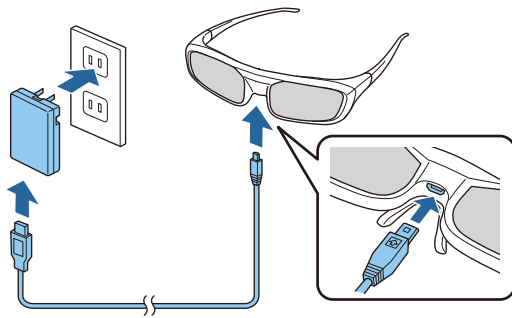
WirelessHDトランスミッターと3DメガネをUSBケーブルで接続します。



HDMI4端子にケーブルが接続されているときは、WirelessHDトランスミッターで充電できません。

USB充電AC電源アダプターで充電する

3DメガネとUSB充電AC電源アダプターをUSB充電ケーブルで接続し、USB充電AC電源アダプターをコンセントに差し込みます。



- ELPGS03以外の3Dメガネは充電できません。
- 必ず3Dメガネに同梱のUSBケーブルを使用してください。
- 3分の充電で約3時間の視聴が可能です。50分の充電で完全に充電され、約40時間の視聴が可能です。
- 3Dメガネをプロジェクターに接続して充電することもできます。本機で3Dメガネを充電するときは、USB充電ケーブルを本機のUSB端子に接続してください。（プロジェクターの電源がオンのときのみ充電可能）

注意

- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- USB充電ケーブルの取り扱いには以下の点に注意してください。
 - ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
 - ケーブルを加工しないでください。
 - 電熱器の近くに配線しないでください。
 - 破損したケーブルは使用しないでください。

■ 3Dメガネをペアリングする

3D映像を視聴するために、はじめに3Dメガネと本機をペアリングする必要があります。

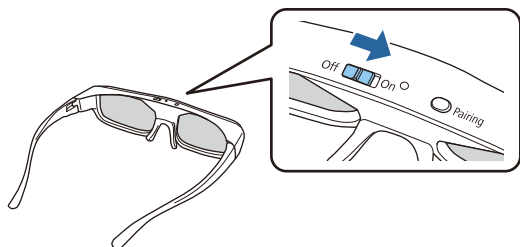
ペアリングは、3Dメガネの【Pairing】ボタン長押しで開始します。詳しい操作については、3Dメガネの取扱説明書を参照してください。



- 3Dメガネをはじめて使うときは、3Dメガネの電源投入時にペアリングされます。正しく3Dが視聴できるときは、ペアリングは必要ありません。
- 一度ペアリングを実施すれば、次回以降は電源を入れるだけで視聴できます。
- ペアリング可能範囲は、本機から3mです。ペアリング中は、本機から3m以上離れないでください。ペアリングに失敗します。
- 30秒以上同期できない場合は、自動的にペアリングを終了します。このとき、ペアリングは失敗となるため、3D映像は視聴できません。

3Dメガネを装着する

- 1 **【電源】** スイッチをOn側にスライドさせ、3Dメガネの電源を入れます。インジケーターが数秒点灯し、消えます。



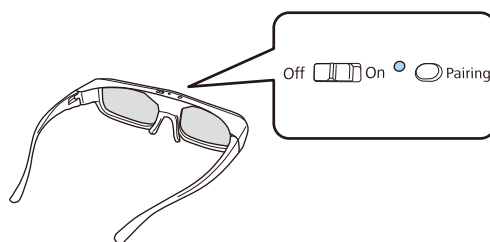
- 2 3Dメガネを装着し、視聴します。



- 使い終わった後は【電源】スイッチをOff側にスライドさせ、電源を切ります。
- 3Dメガネは、30秒以上使用しないまま放置すると、自動的に電源が切れます。電源を再投入するときは、一度、【電源】スイッチをOff側にスライドさせた後、On側にスライドさせます。

3Dメガネのインジケーターの見方

3Dメガネの状態は、インジケーターの点灯や点滅で確認できます。

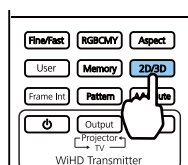


インジケーター	状態
赤色の2回点滅×5	電池消耗状態
赤色に点灯	充電中
緑色に点灯	充電完了
緑色と赤色に交互に点滅	ペアリング中
緑色に10秒間点灯して消える	電源Onまたはペアリング成功

2D映像を3Dに変換して見る

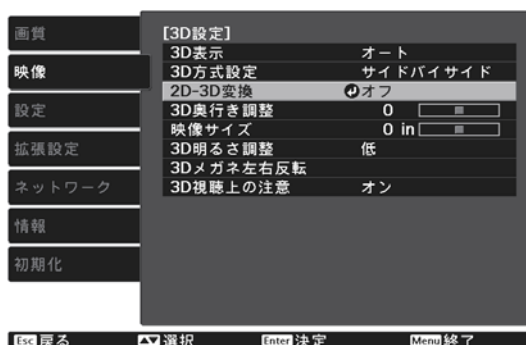
HDMI1/HDMI2/WirelessHD (EH-TW6700Wのみ) からの2D映像を3Dに変換します。

- 1 **2D/3D** ボタンを押して、[3D表示] を[オート] にします。
2D/3D ボタンを押すたびに、[3D表示] が[オート]、[3D]、[2D] に切り替わります。



- 2 **Menu** ボタンを押して、[映像] - [3D設定] の順でメニューを表示します。

- 3 [2D-3D変換] を選択し、 ボタンを押して決定します。



- 4 3D効果の強度を選択し、 ボタンを押して決定します。



 [映像処理] を [速い] に設定しているときは、[2D-3D変換] は調整できません。👉 [映像] - [アドバンスト] - [映像処理] [p.86](#)

3D映像視聴に関する注意

3D映像を視聴するときは、次のことに注意してください。

警告

分解改造について

- 3Dメガネを分解したり改造しないでください。
火災や視聴時の異常による体調不良の原因になります。

保管場所について

- 3Dメガネや同梱部品は、乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

加熱について

- 3Dメガネを火の中に入れたり、加熱したり、高温になる場所に放置したりしないでください。本製品にはリチウム充電池を内蔵しているため、発火・破裂によるやけどや火災の原因になります。

充電について

- 充電時は、当社で指定のUSB端子に付属の充電ケーブルを接続してご使用ください。他の機器による充電は、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になることがあります。
- 付属の充電ケーブルは3Dメガネの充電用途以外に使用しないでください。発熱・発火・故障の原因になることがあります。

注意

3Dメガネについて

- 3Dメガネを落としたり、力を加えたりしないでください。
ガラス部分などが破損してけがの原因になることがあります。保管時はソフトケースに収納してください。
- 3Dメガネを装着する際は、フレームの先端にご注意ください。
目などをついてけがの原因になることがあります。
- 3Dメガネの可動部（ヒンジ部など）に指を挟まないようにしてください。
けがの原因になることがあります。

注意

3Dメガネの使用について

- 3Dメガネは正しく装着してください。
3Dメガネを上下逆に装着しないでください。
右目と左目に映像が正しく表示されずに不快に感じたりすることがあります。
- 3D映像をご覧になる以外には使用しないでください。
- 3D映像の見え方には個人差があります。違和感を感じたり、立体に見えない場合は、3D機能のご使用をお控えください。
そのまま使用すると体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネに異常・故障が発生した場合は直ちに使用を中止してください。
そのまま使用するとけがや体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネを装着し耳、鼻やこめかみが赤くなったり、痛みやかゆみを感じたら使用を中止してください。
そのまま使用すると体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネの装着により、肌に異常を感じたら使用を中止してください。
ごく稀に塗料や材質によりアレルギーの原因になることがあります。

注意

視聴時間について

- 3D映像を視聴する場合は、定期的に適度な休憩をとってください。
長時間の視聴による目の疲れなどの原因になることがあります。
休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。休憩をとっても、疲労感、不快感がとれない場合は、使用を中止してください。

注意

視聴方法について

- 3D映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください。そのまま使用しますと体調不良の原因となることがあります。
- 3D映像の視聴中は必ず3Dメガネを装着し、裸眼で3D映像を視聴しないでください。体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネを使用するときには周囲に壊れやすい物を置かないでください。実際の物に間違えて体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因となることがあります。
- 3Dメガネは3D映像視聴中のみ装着し、3Dメガネを装着したまま移動しないようにしてください。周りが暗くなり、転倒などによるけがの恐れがあります。
- スクリーンと（おおむね）水平な状態で視聴してください。傾いた状態で視聴を続けると、3D効果を感じにくくなったり、映像の色が変わったりすることにより、体調不良の原因となることがあります。
- 蛍光灯やLED照明などをお使いの部屋で視聴すると、部屋全体がちらついてみえることがあります。その場合は、ちらつきが消えるまで明かりを暗くしたり、照明を消して視聴してください。このちらつきによって、ごくまれに、けいれん発作や失神などの症状が起きることがあります。視聴中に体調の変化を感じた場合は視聴を中止してください。
- 画面の高さの3倍以上の視距離で視聴してください。
推奨距離は、画面80インチの場合3.0m以上、画面100インチの場合3.6m以上です。
推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となることがあります。

注意

視聴者について

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しないでください。症状悪化の原因になることがあります。

注意

視聴年齢について（お子様への注意）

- 3D映像の視聴年齢については、6歳以上を目安にしてください。
- 6歳未満のお子様の3D視聴については、視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師にご相談ください。
- お子様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴する場合は、疲労感や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなることがありますので、保護者の方が、目の疲れがないかご注意ください。



WirelessHDで接続しよう (EH-TW6700Wのみ)

WirelessHDトランスミッターの設置

同梱のWirelessHDトランスミッターを利用することで、無線で映像や音声などのデータを受信できるようになります。

本機（プロジェクター）にケーブルで接続する必要がなくなるため、本機をAV機器の近くに設置できないときなどに便利です。

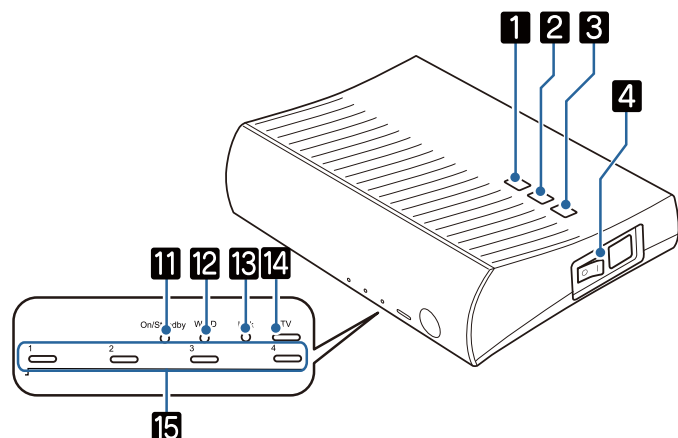


WirelessHDトランスミッターは、次のような使い方ができます。

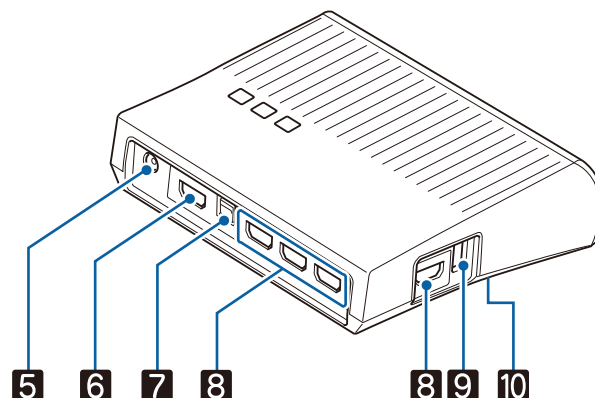
- 一度に4台までのAV機器を接続でき、リモコンで映像を切り替えられます。
- 本機（プロジェクター）とは別に、テレビなどのモニター機器をHDMI Out端子に1台接続し、リモコンで出力先を切り替えられます。
- 本機（プロジェクター）の電源がオフでも、接続されたAV機器の映像を、HDMI Out端子に接続されたテレビなどのモニター機器に投写できます。
- MHL対応のスマートデバイスやタブレット端末を接続し、接続されたMHL機器の映像を投写できます。また、本機（プロジェクター）のリモコンでMHL機器を操作したり、MHL機器の充電もできます。
- WirelessHDトランスミッターに入力されたHDMI信号を映像と音声に分割して、それぞれ別の機器へ出力できます。
- HDCP 2.2に非対応のAV機器でも、WirelessHDトランスミッターのHDMI Out端子に接続することで音声を出力できます。

■ WirelessHDトランスミッターの各部の名称

前面



背面



名称		機能
1	電源ボタン	トランスミッターをオン/オフします。 リモコン下段にあるWirelessHDトランスミッター制御用の  ボタンと同じ機能です。
2	 ボタン	各入力端子からの映像に切り替えます。 リモコン下段にあるWirelessHDトランスミッター制御用の  ボタンと同じ機能です。
3	 ボタン	映像の出力先を、HDMI Out端子に接続した機器またはプロジェクターに切り替えます。 リモコン下段にあるWirelessHDトランスミッター制御用の  ボタンと同じ機能です。
4	主電源スイッチ	トランスミッターの主電源をオン/オフします。
5	ACアダプター端子	ACアダプターに接続します。
6	HDMI Out端子	テレビなどのモニター機器に接続します。映像の出力先は、リモコンの  ボタンまたはWirelessHDトランスミッターの  ボタンで切り替えます。
7	Optical Audio-Out端子	光デジタル音声入力端子のある音響機器に接続します。
8	HDMI Input端子	再生するAV機器に接続します。Inputボタンで入力映像を切り替えられます。 本機のHDMI4端子は、MHL規格に対応しています。MHLケーブルで接続したMHL対応のスマートデバイスやタブレット端末のコンテンツを再生することができます。
9	3Dメガネ充電端子	USBケーブルで接続して、3Dメガネを充電します。
10	Setupボタン	WirelessHDトランスミッターの裏側にあるボタンです。 WirelessHDトランスミッターの設定に使用します。 本トランスミッターは設定済みで出荷されているので、通常は使用しません。
11	On/Standbyインジケータ（青色）	WirelessHDトランスミッターが起動中に点滅し、動作中は点灯に変わります。

名称	機能
12 WiHDインジケータ（青色）	WirelessHDの通信状態を表示します。 • プロジェクターへ無線で映像を送信しているときに点灯します。 • HDMI Out端子に出力しているときは消灯します。
13 Linkインジケータ（青色）	プロジェクターとの接続状態を表示します。 • プロジェクターと接続しているときは点灯します。 • プロジェクターを検索しているときは点滅します。 • パワーセーブ状態で待機しているときはゆっくり点滅します。
14 TVインジケータ（青色）	テレビなどのモニター機器が出力先として選択されている時に点灯します。
15 HDMI 1～4インジケータ（青色）	投写中の入力ソースのインジケータが点灯します。



- 本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターはそれぞれの前面にアンテナが内蔵されています。アンテナ位置（前面）を向かい合わせて設置してください。
また、物などを置いて本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターの前面を隠さないようにしてください。
- WirelessHDトランスミッターはプロジェクターの方に向けて水平に設置してください。
- 電波受信状況は [WirelessHD] の設定メニューで確認できます。 ➡ [設定] - [WirelessHD] - [映像受信感度] [p.87](#)

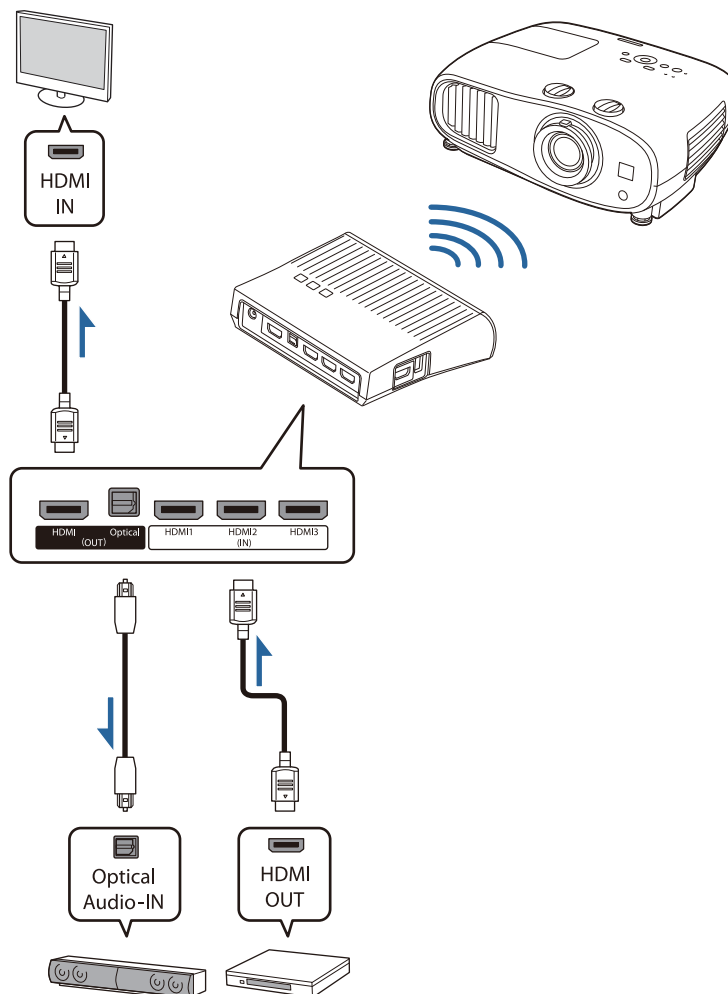
■ WirelessHDトランスミッターの接続例と信号の流れ



- Optical Audio-Out端子またはHDMI Out端子に接続した機器から音声を出力するときは、[音声出力機器] で音声の出力先を設定します。 ➡ [p.70](#)
- 映像はプロジェクターまたはテレビなどのモニター機器から出力できます。映像の出力先は、リモコンの **Output** ボタンまたはWirelessHDトランスミッターの **WiHD/Pass** ボタンで切り替えます。 ➡ [p.68](#)
- HDMI Input 1またはHDMI Input 2端子から映像を入力したときに、テレビなどのモニター機器でノイズが出たり、音声途切れたりする場合は、HDMI Input 3またはHDMI Input 4端子に接続し直してください。

接続例1) AVアンプなしで視聴する (Optical Audio-Out端子から音声出力)

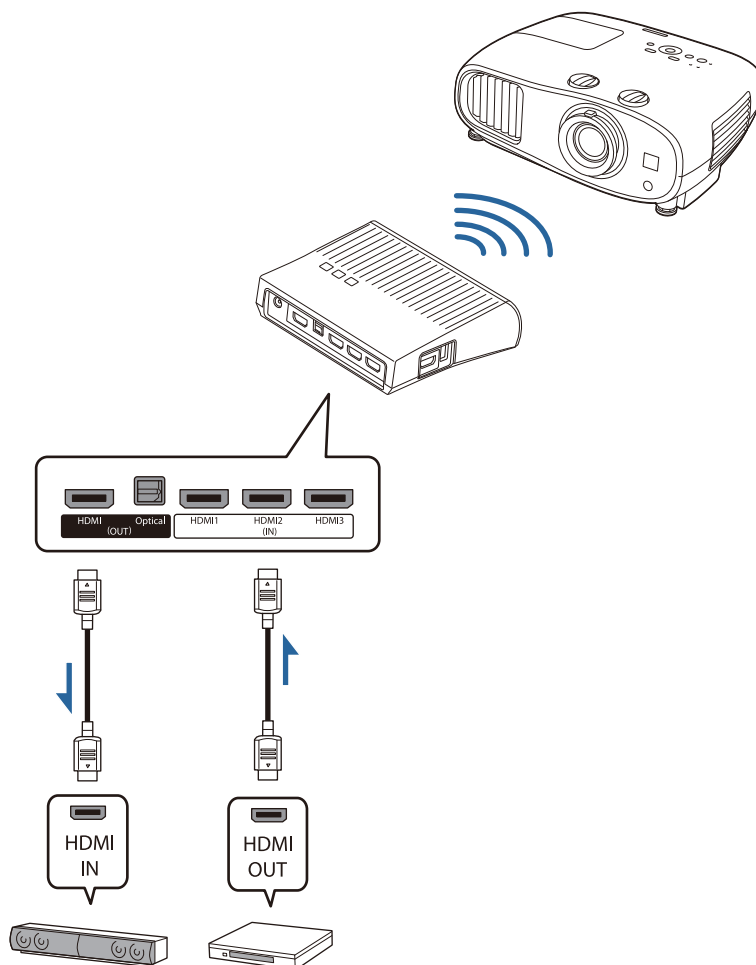
Optical Audio-Out端子に接続したサウンドバーから音声を出力します。サウンドバーの接続には市販の光デジタルオーディオケーブルを使用してください。



- WirelessHDトランスミッターのOptical Audio-Out端子にサウンドバーなどの機器を接続する場合は、[音声出力機器] が [WiHDトランスミッター(Optical)] に設定されていることを確認してください。☞ [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] [p.87](#)
 - 一部の音声は、音声の規格※の制限によりOptical Audio-Out端子から出力できません。
 - ロスレスオーディオ
 - ロッシー高帯域オーディオ
 - イマーシブオーディオ
- ※2016年7月現在の規格です。今後変更の可能性もあります。

接続例2) AVアンプなしで視聴する（HDMI Out端子から音声出力）

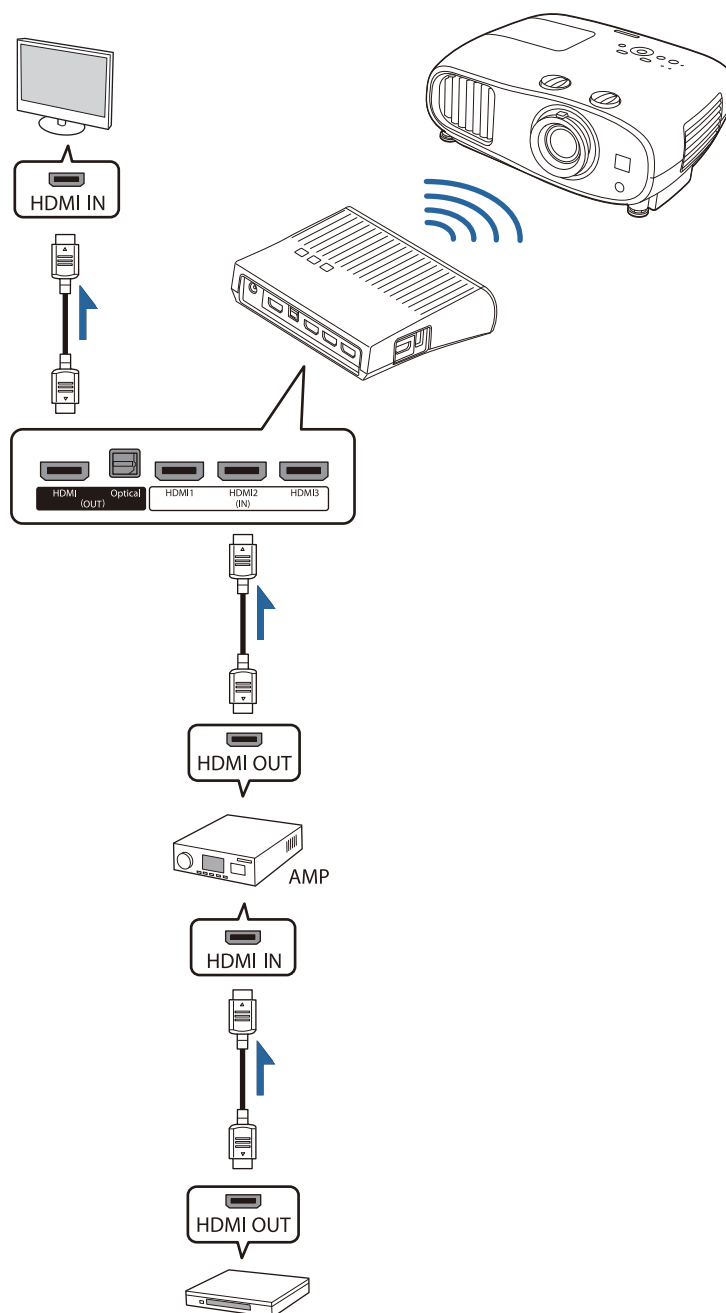
HDMI Out端子に接続したサウンドバーなどから音声を出力します。この場合、HDCP 2.2に非対応のAVアンプやサウンドバーでも音声を出力できます。



WirelessHDトランスミッターのHDMI Out端子にサウンドバーなどの機器を接続する場合は、
[音声出力機器] が [WiHDトランスミッター(HDMI)] に設定されていることを確認してください。
👉 [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] [p.87](#)

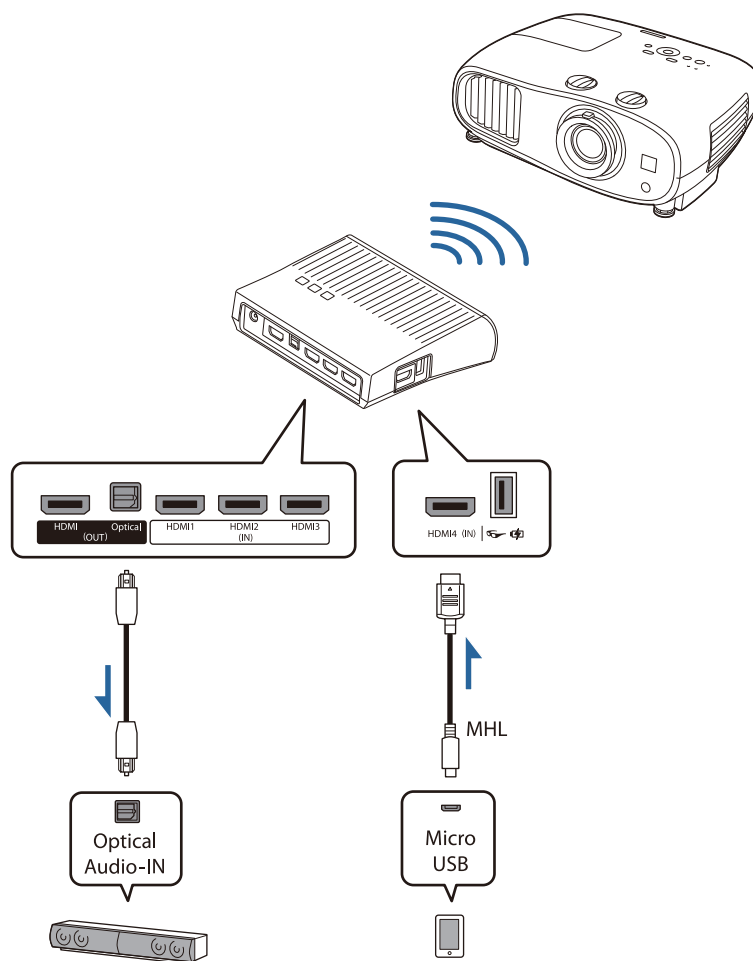
接続例3) AVアンプと接続して視聴する

AVアンプを経由して接続します。
音声はAVアンプから出力します。



接続例4) スマートデバイスを接続して視聴する

MHLケーブルでHDMI4端子に接続します。



■ WirelessHDトランスミッターをセットする

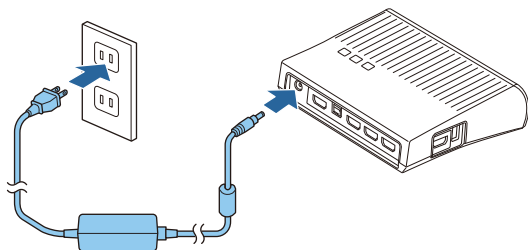
- 1 本機（プロジェクター）と接続するWirelessHDトランスミッターを向かい合う位置に設置します。

☛ p.56



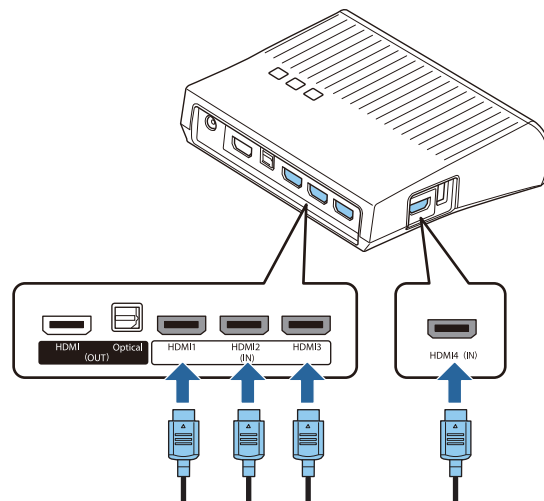
- 本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターはそれぞれの前面にアンテナが内蔵されています。アンテナ位置（前面）を向かい合わせて設置してください。
- また、物などを置いて本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターの前面を隠さないようにしてください。
- WirelessHDトランスミッターはプロジェクターの方に向けて水平に設置してください。

- 2 WirelessHDトランスミッターを付属のACアダプターで電源に接続します。



- 3 WirelessHDトランスミッターのInput端子に、映像を再生するAV機器をHDMIケーブルで接続します。

再生用機器は4台まで接続できます。



- WirelessHDトランスミッターのHDMI Out端子には、テレビなどのモニター機器を1台接続できます。出力先はリモコンで切り替えられます。☛ p.68
- WirelessHDトランスミッターのHDMI4端子はMHL信号に対応しています。MHLケーブルを使ってMHL対応のスマートデバイスやタブレット端末などと接続し、コンテンツを再生することが可能です。
- MHL機器を接続しているときに以下のメッセージが表示されるときは、HDMI4以外の端子に接続しているか、接続している機器がMHLに対応していません。
「映像信号が入力されていません。」
- WirelessHDトランスミッターを使用している場合でも、HDMIリンク機能を利用できます。

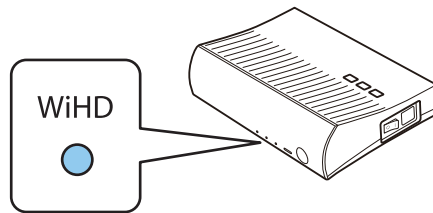
☛ p.70

映像を投写する

- 1 AV機器を再生の状態にしてから、本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターの電源を入れます。

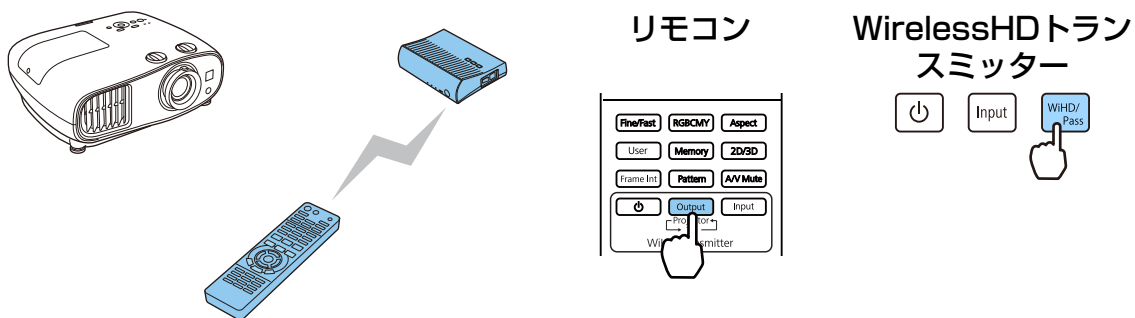
WirelessHDトランスミッターのOn/Standbyインジケーターが点灯します。

- 2 WirelessHDトランスミッターのWiHDインジケーターの状態を確認します。
WiHDインジケーターが点灯しているときは、次の手順に進みます。



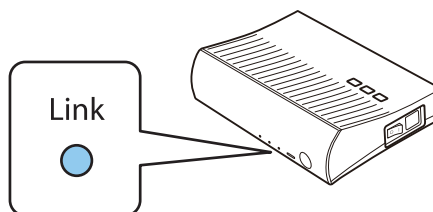
インジケーターが消灯しているときは、リモコンの **Output** ボタンまたはWirelessHDトランスミッターの **WiHD/Pass** ボタンを押します。

リモコンの **Output** ボタンは、WirelessHDトランスミッターに向けて操作してください。



- 3 WirelessHDトランスミッターのLinkインジケーターの状態を確認します。

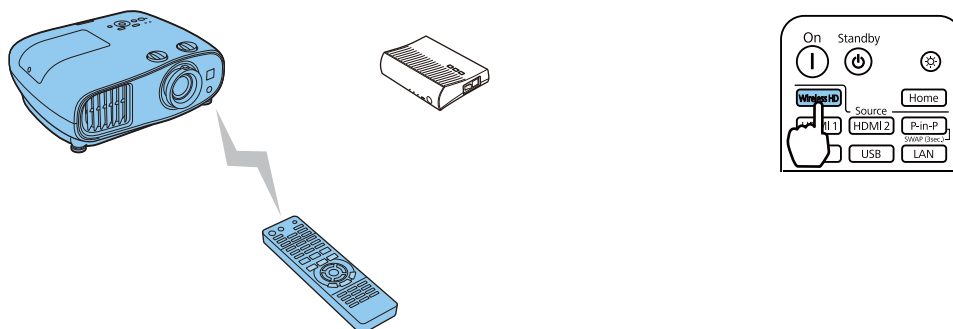
WirelessHDトランスミッターと本機（プロジェクター）との接続が成功すると、Linkインジケーターが点灯します。



- インジケーターが点灯しないときは、プロジェクターの電源が入っているかなど、投写準備ができていることを確認してください。
- 映像投写中の電波受信状況は [WirelessHD] の設定メニューで確認できます。👁️ [設定] - [WirelessHD] - [映像受信感度] [p.87](#)

- 4 投写が開始されないときは、リモコンの **WirelessHD** ボタンを押し、入力ソースを切り替えます。

リモコンの **WirelessHD** ボタンは、本機（プロジェクター）に向けて操作してください。



投写が開始されます。

- 5 WirelessHDトランスミッターに複数のAV機器を接続して再生しているときは、**Input** ボタンを押して、映像を切り替えます。 ➡ [p.69](#)



- WirelessHDの映像を受信する場合は、環境設定メニューの [WirelessHD] が [オン] になっている必要があります。 ➡ [設定] - [WirelessHD] - [WirelessHD] [p.87](#)
- 長期間使用しないときは、WirelessHDトランスミッターの電源をオフにしてください。

WirelessHDの設定メニュー

- 1 **Menu** ボタンを押します。
環境設定メニューが表示されます。
- 2 [設定] - [WirelessHD] を選択し、**Enter** ボタンを押して決定します。
[WirelessHD] の設定画面が表示されます。

- 3 表示される各機能を設定します。



[WirelessHD] の設定メニューで設定できる機能

機能	説明
接続機器	接続可能なWirelessHD機器を表示します。機器名とMACアドレス（装置番号）が表示されます。MACアドレスは底面ラベルに記載されています。
WirelessHD	WirelessHDの機能の有効/無効を切り替えます。
映像受信感度	映像投写中の映像受信感度を表示します。
初期化	[WirelessHD] の設定メニューの調整値を初期値に戻します。

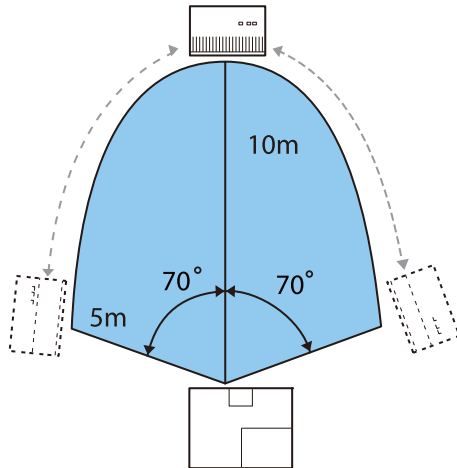


WirelessHDトランスミッターとプロジェクターが接続している場合でも、映像信号が入力されていないと「映像受信感度」は0%と表示されます。Linkインジケーターで通信状態を確認してください。▶ [p.57](#)

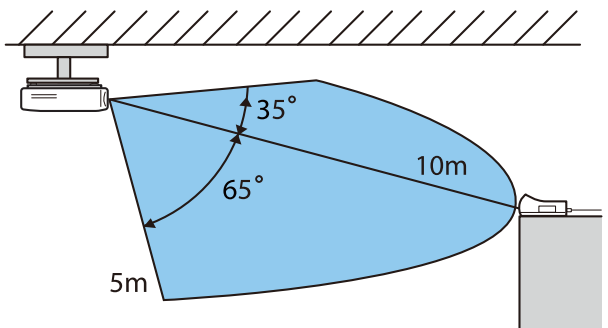
WirelessHDの通信範囲

WirelessHDの通信範囲は、次のとおりです。WirelessHDトランスミッターは必ずプロジェクターに向く方向で設置してください。

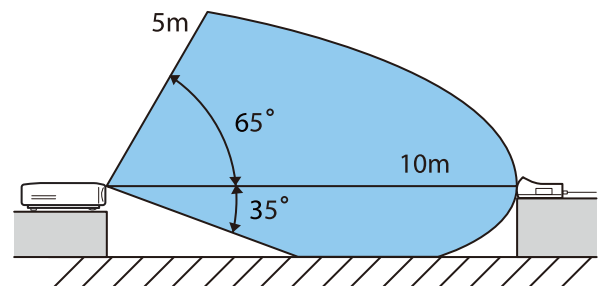
水平方向



垂直方向（天吊り設置）

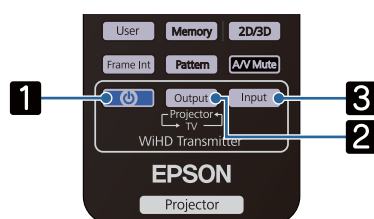


垂直方向（机などに置く）



- 無線通信距離は、家具や壁の材質や配置などによって変化します。この距離は目安です。
- 本機（プロジェクター）は壁越しの通信には対応しておりません。
- 本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターはそれぞれの前面にアンテナが内蔵されています。アンテナ位置（前面）を向かい合わせて設置してください。
また、物などを置いて本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターの前面を隠さないようにしてください。
- 金属製の棚に置かないでください。金属の影響で電波通信が不安定になることがあります。木製の棚などに置いてください。
- 動作確認するときは、本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターを近くに置き、他のプロジェクターが近くで動作していないことを確認してください。
- 受信感度によっては、映像が途切れないよう映像の色情報を自動的に落として接続を維持します。画質を劣化させない伝送のために、「映像受信感度」ができる限り高い状態になるよう、WirelessHDトランスミッターの設置位置を調整して使用してください。
- 受信感度は入力映像の解像度によって差異が発生します。

リモコンの操作



名称	機能
1	WirelessHDトランスミッターの電源をオン/オフします。
2	映像の出力先をWirelessHDトランスミッターのHDMI Out端子に接続したテレビなどのモニター機器と、本機（プロジェクター）とのいずれかに切り替えます。 👉 p.68
3	WirelessHDトランスミッターに接続されているAV機器の映像ソースを切り替えます。👉 p.69

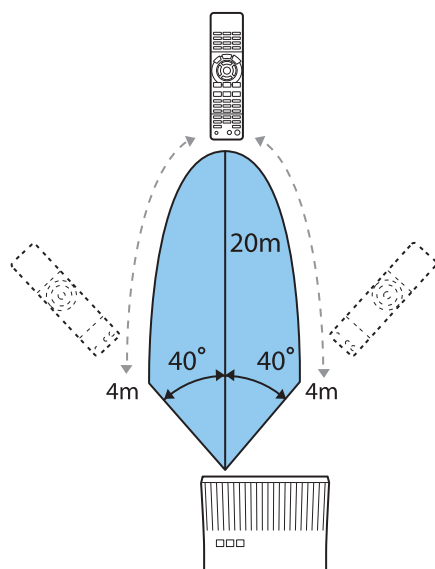


リモコンをWirelessHDトランスミッターに向けて操作してください。

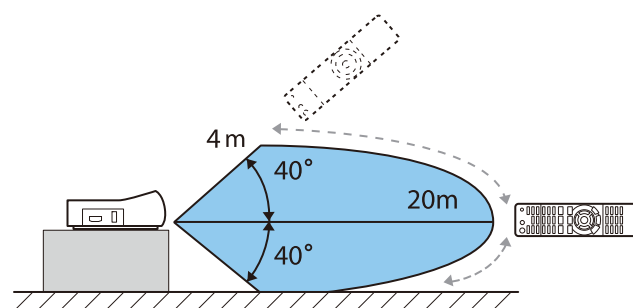
リモコンの操作範囲

WirelessHDトランスミッターに対するリモコンの操作範囲は、次のとおりです。

操作可能範囲（左右）



操作可能範囲（上下）



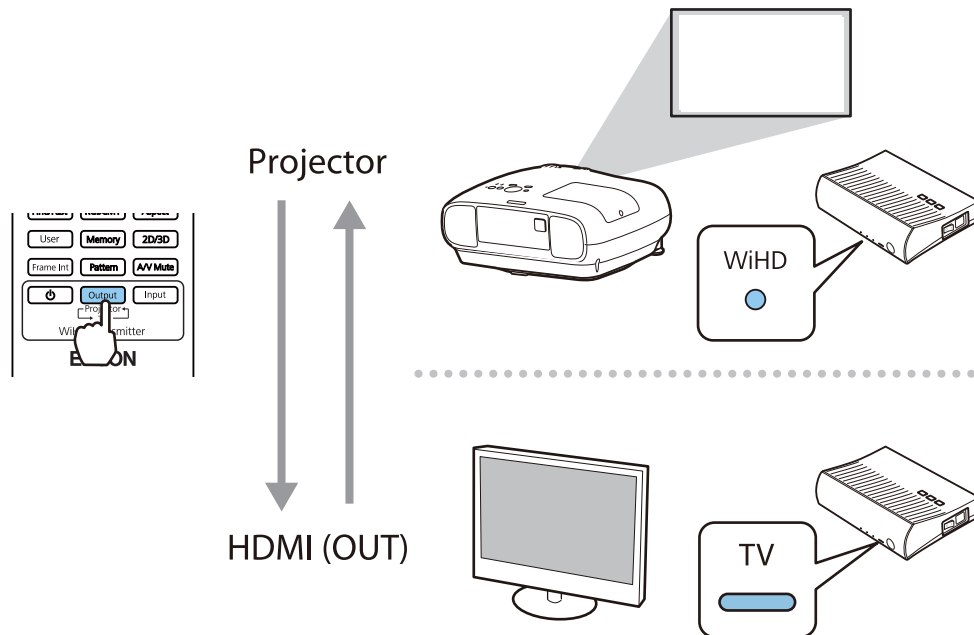
入出力の切り替え

WirelessHDトランスミッターには、4台までのAV機器（再生する入力機器）と1台のモニター機器（映像を表示するテレビなどのモニター機器）を接続し、切り替えて使えます。

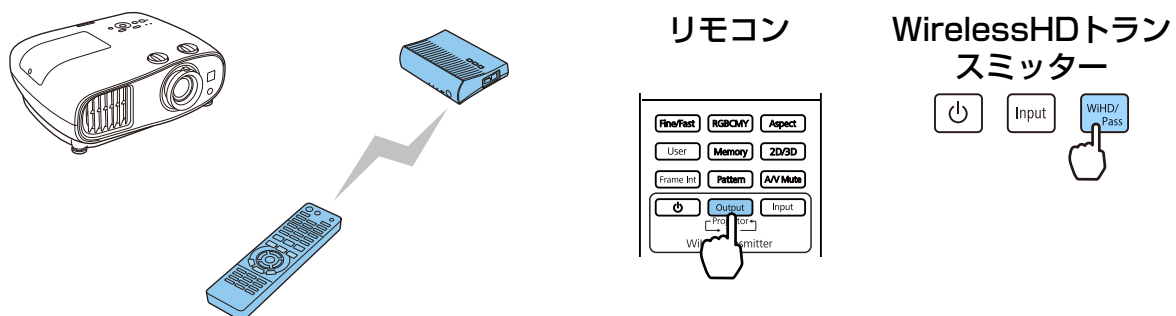
入力機器を切り替えるにはリモコンの ボタンを、出力機器を切り替えるにはリモコンの ボタンをWirelessHD トランスミッターに向けて押し、操作します。

■ 映像出力先の切り替え

WirelessHDトランスミッターのHDMI Out端子に接続したテレビなどのモニター機器と本機（プロジェクター）とのいずれかに切り替えます。



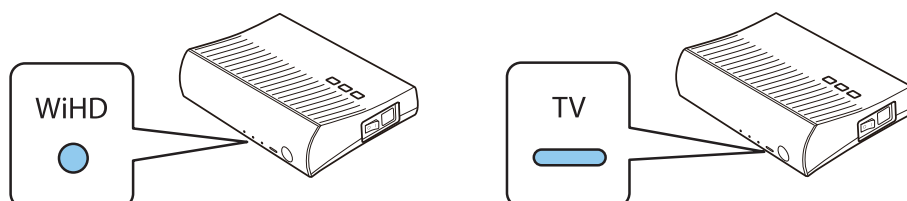
- 1 本機（プロジェクター）またはテレビなどのモニター機器の電源を入れます。
- 2 WirelessHDトランスミッターの電源を入れます。
WirelessHDトランスミッターのOn/Standbyインジケーターが点灯します。
- 3 リモコンをWirelessHDトランスミッターの方向に向け、リモコンの **Output** ボタンまたはWirelessHDトランスミッターの **WiHD/Pass** ボタンを押します。



WirelessHDトランスミッターのインジケーターが出力先により以下の状態になります。次回起動時は前回の映像出力先へ投写します。

WiHDインジケーター点灯：本機（プロジェクター）へ映像を出力します。

TVインジケーター点灯：モニター機器へ映像を出力します。

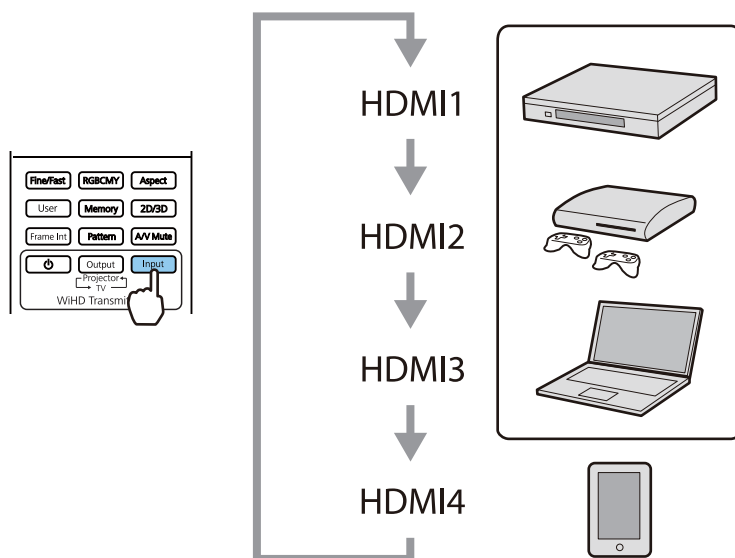




他のモニター機器への切り替えは、本機（プロジェクター）の電源がオフのときでも利用できます。

■ 映像ソースの切り替え

リモコンの **Input** ボタンで、WirelessHDトランスミッターに接続されているAV機器の映像ソースを切り替えます。



HDMIリンクで操作しよう

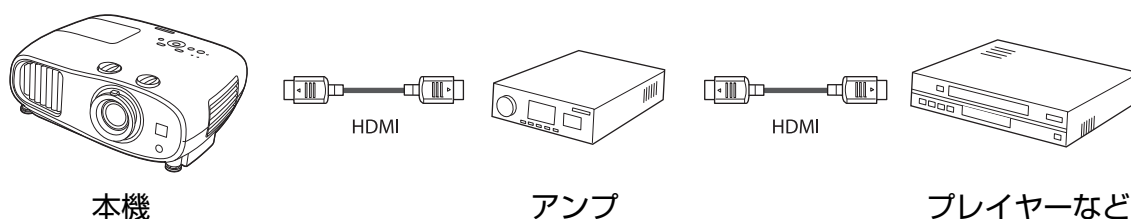
HDMIリンク機能

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、電源オン連動やAVアンプの音量調整など連携動作がひとつのリモコンで操作できます。また、WirelessHDで映像を投写しているときもHDMIリンク機能が利用できます。(EH-TW6700Wのみ)



- AV機器がHDMI CEC規格に対応していれば、中継するAVアンプがHDMI CEC規格に対応していなくてもHDMIリンク機能が利用できます。
- HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台までです。

接続例



HDMIリンク設定

[HDMIリンク] を [オン] にすると次の操作ができます。
 [設定] - [HDMIリンク] - [HDMIリンク] p.87

- 入力切替連動
 接続機器のコンテンツ再生に連動して、本機の入力ソースがHDMIに切り替わります。
- 接続機器操作
 本機のリモコンで、接続機器の再生/停止/早送り/巻き戻し/チャプター送り/チャプター戻し/一時停止/音量調整/音声ミュートなどの操作ができます。



また、[HDMIリンク] 画面で次の機能を選択できます。

機能	説明
音声出力機器	音声出力先を設定します。 [プロジェクター]：本機の内蔵スピーカーから音声を出力する場合に選択します。 [AVアンプ]：HDMI CEC規格に対応したAVアンプから音声を出力する場合に選択します。 [WiHDトランスミッター(Optical)] ※：WirelessHD トランスミッターのOptical Audio-Out端子に接続した機器から音声を出力する場合に選択します。 [WiHDトランスミッター(HDMI)] ※：WirelessHD トランスミッターのHDMI Out端子に接続した機器から音声を出力する場合に選択します。

機能	説明
電源オン連動	〔電源オン連動〕を設定すると、次のように操作が連動します。 • 本機の電源を入れたと、接続機器の電源が入ります。 • 接続機器で電源を入れたりコンテンツを再生したりすると、本機の電源が入ります。ただし、WirelessHD トランスミッターと接続しているときは、接続機器で電源を入れても本機の電源は入りません。
電源オフ連動	〔電源オフ連動〕を〔オン〕にすると、本機の電源オフに連動して、接続機器の電源が切れます。 • 接続機器のCEC電源連動機能を有効に設定しているときのみ有効です。 • 録画中の機器など、状態によっては電源が切れないことがあります。
リンクバッファ	HDMIリンクが正しく機能しないときは設定を変更すると改善される場合があります。

※ EH-TW6700Wのみ。



HDMIリンクを使用するには、接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

接続する

HDMIリンクで利用可能な接続機器を確認し、映像を表示したい機器を選択できます。合わせてHDMIリンクで操作できる機器も切り替わります。

接続機器一覧を表示する前に、〔HDMIリンク〕が〔オン〕になっていることを確認してください。

👉 〔設定〕 - 〔HDMIリンク〕 - 〔HDMIリンク〕 [p.87](#)

1

 ボタンを押し、〔接続機器一覧〕を選択します。

〔接続機器一覧〕が表示されます。

左側のマークが水色になっている機器がHDMIリンクされています。

機器名が取得できない場合は空欄になります。

2

HDMIリンクで操作したい機器を選択します。



- ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。
- HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作しない機能があります。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。



写真データを再生しよう（スライドショー）

再生できるデータの種類

本機のUSB端子に接続したUSBメモリーやデジタルカメラなどのUSBストレージデバイスに保存されている次のファイルを再生できます。

スライドショーで再生できるファイルの仕様

ファイルタイプ（拡張子）	備考
.jpg	• CMYKカラーモード形式のものは投写できません。 • プロGRESS形式のものは投写できません。 • 解像度が8192 x 8192を超えるものは投写できません。 • JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。

スライドショーを開始する

1 USBストレージデバイスを接続します。

ファイルのサムネイルが表示されます。



フォルダーを開くときは、フォルダーを選択して **(Enter)** ボタンを押します。

2 [スライドショー] を選択します。

   ボタンで右下の [スライドショー] を選択して **(Enter)** ボタンを押します。

スライドショーが始まります。



- スライドショーを終了するときは、USBストレージデバイスを取り外します。
- サムネイル表示のときに写真を1枚選択して **(Enter)** ボタンを押すと、選択した1枚を拡大して表示します。
1枚を拡大して表示している画面でリモコンの   ボタンを押すと、画像を切り替えます。
また、  ボタンで画像を回転できます。

スライドショーの動作設定

ファイルの表示順序やスライドショーの動作をオプション画面で設定できます。

- 1  ボタンを押して、設定を変更するフォルダーにカーソルを合わせ、
 ボタンを押します。

サブメニューが表示されます。

- 2 [オプション] を選択して  ボタンを押します。

オプション画面が表示されます。

- 3 変更したい項目にカーソルを合わせて  ボタンを押し、各項目を設定します。

各項目の詳細は次の表のとおりです。

表示順序設定	表示するファイルの順序を、[ファイル名順]、[更新日付順] から選択します。
ソート方向	ファイルの並び替え方向を、[昇順]、[降順] から選択します。
繰り返し再生	繰り返し再生を実行するかを設定します。
表示時間設定	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する時間を設定します。 [なし] (0) ～60秒までの設定ができます。[なし] に設定したときは、自動送りは無効となります。
画面切替効果	スライドを切り替えるときの画面効果を設定します。

- 4  ボタンを押して [OK] にカーソルを合わせて、 ボタンを押します。

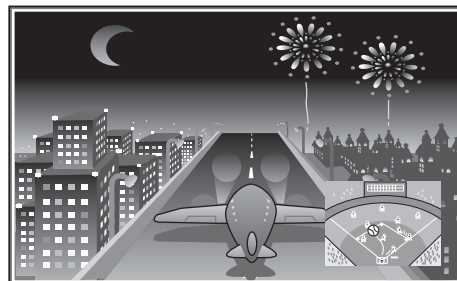
設定が適用されます。

設定を適用したくない場合は、[キャンセル] にカーソルを合わせて、 ボタンを押します。

Picture in Pictureで2種類の映像を投写する

同時に表示できる画面の種類

親画面（サイズの大きい画面）の中に子画面（サイズの小さい画面）を表示して2種類の映像ソースを投写します。メイン映像を視聴しつつ、サブ映像を確認するなどの利用ができます。



Picture in Pictureで投写できる入力ソースの組み合わせ

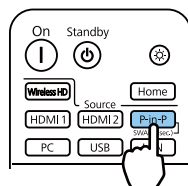
	HDMI1	HDMI2	WirelessHD※	PC	LAN
HDMI1	-	✓	✓	-	-
HDMI2	✓	-	✓	-	-
WirelessHD※	✓	✓	-	-	-
PC	-	-	-	-	-
LAN	-	-	-	-	-

※ EH-TW6700Wのみ。

Picture in Pictureで投写する

Picture in Pictureの開始と終了

本機で投写中にリモコンの **P-in-P** ボタンを押します。



入力されている映像がPicture in Pictureで表示されます。

親画面：直前までの映像

子画面：親画面とは別の入力ソース

再度 **P-in-P** ボタンを押すとPicture in Picture表示を終了します。

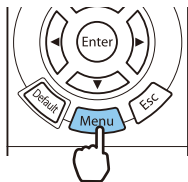


- 3D映像は条件によってPicture in Pictureで表示できないことがあります。
- **P-in-P** ボタンを長押しすると親画面と子画面の表示を入れ替えることができます。
- 該当のソースが入力されていないときは表示されません。

■ Picture in Pictureの設定を変更する

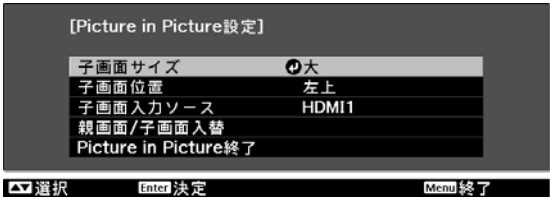
子画面の表示サイズや位置は、[Picture in Picture設定] メニューで切り替えます。

- 1
- 本機で投写中にリモコンの **Menu** ボタンを押します。



[Picture in Picture設定] メニューが表示されます。

- 2
- 表示される各機能を設定します。



[Picture in Picture設定] メニューで設定できる機能

機能	説明
子画面サイズ	子画面の画面サイズを [小]、[大] で切り替えます。
子画面位置	子画面の位置を [右上]、[右下]、[左上]、[左下] で切り替えます。
子画面入力ソース※	子画面に表示する入力ソースを選択します。
親画面/子画面入替	親画面と子画面を切り替えます。
Picture in Picture 終了	Picture in Picture表示を終了します。

※ EH-TW6700Wのみ。

無線LAN経由で投写しよう

スマートフォンやタブレット端末、コンピューターの映像を無線LAN経由でプロジェクターから投写できます。

無線LAN経由で投写するには、事前にプロジェクターおよび接続機器の無線ネットワーク設定をします。

無線LAN経由で投写するには、以下の方法があります。

- EasyMP Multi PC Projectionを使うと、ネットワークにつながった最大50台のコンピューターの中から任意の4台までの画面を、プロジェクターで分割表示できます。

EasyMP Multi PC Projectionは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

- Epson iProjectionでスマートフォンやタブレット端末の映像を投写します。👉 p.79

プロジェクターの無線LAN設定をする

無線LANネットワーク経由でプロジェクターに映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

- 1  ボタンを押して、[ネットワーク] - [無線LAN電源] の順でメニューを表示します。

- 2   ボタンで [オン] を選択し、 ボタンを押します。



- 3 [ネットワーク設定画面へ] を選択し、 ボタンを押します。



4 [基本設定] を選択し、必要に応じて以下を設定します。

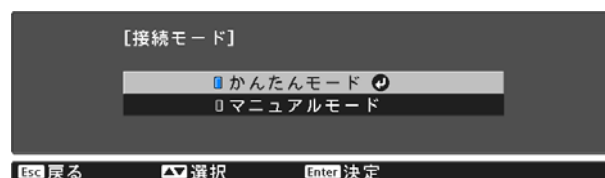
- [プロジェクター名]：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。16文字以内の半角英数字を入力します。
- [PJLinkパスワード]：PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- [Remoteパスワード]：スマートフォンやタブレット端末から本機を操作するときに必要な、認証用パスワードを設定します。8文字以内の半角英数字を入力します。
- [LAN情報表示]：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたスクリーンキーボードを使用します。リモコンの ボタンを押して文字を選択し、 ボタンを押して入力します。

5 [無線LAN] を選択し、 ボタンを押します。

6 [接続モード] を選択します。



- [かんたんモード]：スマートフォンやタブレット端末、コンピューターと無線で直接接続できます。[かんたんモード] を選択したときは、手順10へ進みます。
- [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。[マニュアルモード] を選択したときは、手順7へ進みます。

7 [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [アクセスポイント検索] の順に選択して、接続する無線LANアクセスポイントを選択します。



SSIDを手動で割り当てるときは、[SSID] を選択してSSIDを入力します。

- 8 必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。
- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オン] にします。
 - DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定] を選択して [DHCP] を [オフ] にし、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。



- 9 設定が終わったら [設定完了] を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

- 10 リモコンの **LAN** ボタンを押します。LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。

無線LAN設定が完了したら、接続機器の無線LAN設定をしてください。アプリケーションを起動して、無線LAN経由で映像を投写します。



SSIDとIPアドレスがLAN待機画面やホーム画面に表示されないようにするには、[SSID表示] と [IPアドレス表示] を [オフ] に設定してください。👉 [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] [p.95](#)

コンピューターの無線LAN設定をする

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

Windowsで無線LANを設定する

- 1 Windowsタスクバーのネットワークアイコンをダブルクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 2 マニュアルモードで接続するときは、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名 (SSID) を選択します。
- 3 [接続] をクリックします。

OS Xで無線LANを設定する

- 1 画面上部にあるメニューバーのAirMacアイコンをクリックします。

- 2 マニュアルモードで接続するときは、AirMacがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。

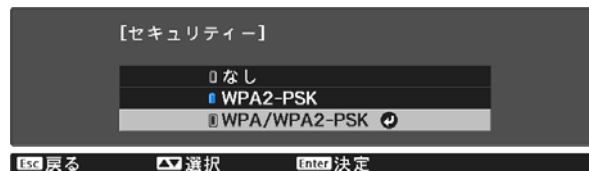
無線LANのセキュリティを設定する

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。無線LANの「接続モード」に応じて、次のいずれかのセキュリティを設定します。

- WPA2セキュリティ
- WPA/WPA2セキュリティ

- 1  ボタンを押して、[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [セキュリティ] の順でメニューを表示します。

- 2 セキュリティ設定をします。



- 3 設定が終わったら「設定完了」を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

Epson iProjectionで投写する

投写画面に表示したQRコードをEpson iProjectionで読み取ると、スマートフォンやタブレット端末内のデータを簡単に投写することができます。



- Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle playから無料でダウンロードできます。App Store、Google playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- 「かんたんモード」でEpson iProjectionを使うときは、セキュリティの設定をすることをお勧めします。👉 [p.79](#)

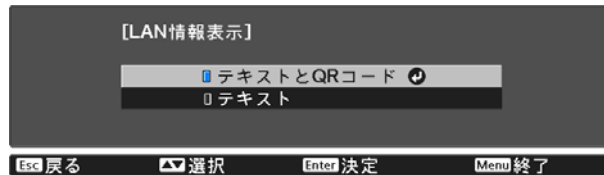
- 1  ボタンを押して、[ネットワーク] - [無線LAN電源] の順でメニューを表示します。

- 2   ボタンで「オン」を選択し、 ボタンを押します。



3 [ネットワーク設定画面へ] - [基本設定] - [LAN情報表示] の順でメニューを表示します。

4   ボタンで [テキストとQRコード] を選択し、 ボタンを押します。



5  ボタンの押下、または [ネットワーク] メニューの [QRコード表示] を選択して、QRコードを表示します。



-  ボタンを押してホーム画面からもQRコードを表示できます。  [p.30](#)
- 本機がすでにネットワーク経由の映像信号を受信しているときは、 ボタンを押してもQRコードが表示されません。[ネットワーク] メニューの [QRコード表示] を選択して、QRコードを表示してください。
- QRコードを非表示にしたいときは、 ボタンを押してください。

6 スマートフォンまたはタブレット端末でEpson iProjectionを起動します。

7 アプリ画面の  をタップします。

ドロワーメニューが表示されます。

8 ドロワーメニューの [接続] をタップします。

プロジェクター検索画面が表示されます。

9 アプリ画面の [QRコード読み取り] をタップします。

カメラが起動し、プレビュー画面が表示されます。



プロジェクター検索画面に、接続したいプロジェクターがリスト表示されているときは、プロジェクターを選択して [接続] をタップすると接続が完了します。

10 投写されているQRコードをスマートフォンまたはタブレット端末で読み取ります。

QRコードがガイドに収まるようにスクリーンの正面から読み取ってください。スクリーンから離れ過ぎると読み取れないことがあります。

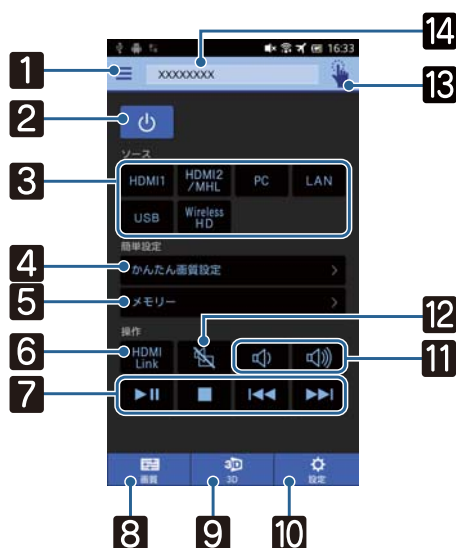
接続が完了すると、接続機器の映像が投写されます。ドロワーメニューで [写真]、[ドキュメント]、[Web] のいずれかをタップして、投写するファイルを選択してください。

■ スマートフォンを使って操作する（リモコン機能）

Epson iProjectionを使って、スマートフォンやタブレット端末からプロジェクターを操作できます。
Epson iProjectionで  をタップすると、ドロワーメニューが表示されます。
ドロワーメニューで [リモコン] をタップすると、以下の画面が表示されます。



Remoteパスワードを設定しているときは、パスワードの入力が必要です。一度パスワードが認識されたら、2回目以降はパスワードの入力が不要です。



ボタン	機能
1 	ドロワーメニューを表示します。
2 	本機の電源をオン/オフします。
3 	各入力端子からの映像に切り替えます。  p.30
4 	ナビゲーションに沿って画質を設定します。
5 	メモリーの登録・呼出・削除・名称変更をします。  p.48
6 	HDMIリンクをオン/オフします。  p.70
7 	HDMIリンクがオンのときに、映像の再生/停止/早送り/巻き戻し/チャプター送り/チャプター戻し/一時停止を操作します。
8 	[カラーモード]、[フレーム補間]、[イメージ強調]、[色温度]、[ガンマ]、[RGBCMY]、[明るさ切替]、[オートアイリス] を設定します。
9 	[3D表示]、[3D方式設定]、[2D-3D変換]、[3D奥行き調整]、[映像サイズ]、[3D明るさ調整] を設定します。
10 	[アスペクト]、[映像処理]、[台形補正]、[Picture in Picture]、[Bluetooth]、[全初期化]、[メモリー初期化]、[テストパターン] を設定します。

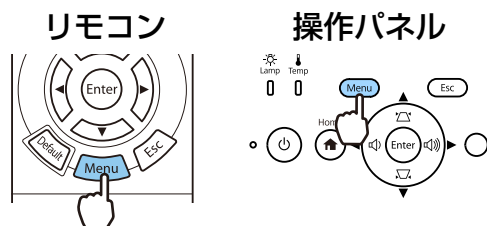
ボタン		機能
11		音量を調整します。
12		映像と音声を一時的に遮断/解除します。  p.37
13		タッチパッド画面が開きます。 タッチパッドをタッチして、プロジェクターのメニュー画面を操作します。
14	XXXXXXXX 	操作したいプロジェクターを選択します。

環境設定メニューの機能

環境設定メニューの操作

環境設定メニューでは、映像、画質などの調整や設定を行うことができます。

1 Menu ボタンを押します。



環境設定メニューが表示されます。

2 ボタンで左側のトップメニューを選択し、Enter ボタンを押して決定します。

左側のトップメニューを選択すると、右側のサブメニューが切り換わります。



下の1行は操作ガイドです。

3 ボタンで右側のサブメニューを選択し、Enter ボタンを押して決定します。



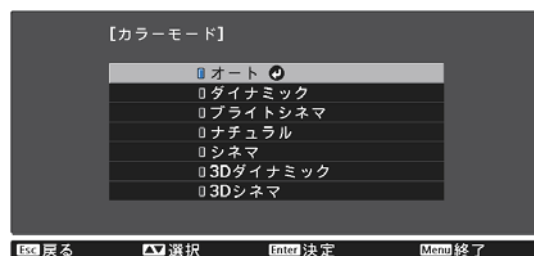
選択した機能の調整画面が表示されます。

4 ボタンで設定値を調整します。

例) 調整バー



例) 選択肢



が表示されている項目で Enter ボタンを押すと、その項目の選択画面に移行します。

一階層戻るときは Esc ボタンを押します。

5 Menu ボタンを押してメニューを終了します。



明るさなど調整バーで調整する項目は、調整画面が表示されているときに  ボタンを押すと調整値が初期値に戻ります。

環境設定メニュー一覧

映像信号が入力されていないときは、環境設定メニューの「画質」と「映像」の項目は調整できません。また、「画質」、「映像」、「情報」は、投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

画質メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
カラーモード	オート、ダイナミック、ブライトシネマ、ナチュラル、シネマ、3Dダイナミック、3Dシネマ		投写する環境や映像に合わせて、色調整を選択します。  p.38
明るさ			映像が暗く感じるときに調整します。
コントラスト			映像の明暗の差を調整します。コントラストを上げるとメリハリのある映像になります。
色の濃さ			映像の色の濃さを調整します。
色合い			映像の色合いを調整します。
シャープネス	スタンダード、高域強調、低域強調		映像のシャープ感を調整します。
色温度	色温度		映像全体の色合いを調整します。高い値にすると青みがかった映像になり、低い値にすると赤みを帯びた映像になります。
	肌の色調整		肌の色を調整します。+側に設定すると緑がかった色になり、-側に設定すると赤みのある色合いになります。
	カスタム		R/G/Bごとにオフセットとゲインを調整します。
フレーム補間 ※1	オフ、弱、標準、強		映像の動きの滑らかさを調整します。
イメージ強調 ※2	イメージ強調プリセット	オフ、プリセット1～プリセット5	[ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション]、[超解像]、[ディテール強調] の設定値としてあらかじめ用意された設定を選択します。
	ノイズリダクション		映像のざらつきを調整します。
	MPEGノイズリダクション		MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。
	超解像	高域、低域	複雑な映像や背景の強調度合いを調整します。
	ディテール強調		映像の質感や素材感を際立たせます。

機能	メニュー/設定値				説明
アドバンスト	ガンマ		2、1、0、-1、-2、カスタム※3、初期化		ガンマ調整をします。数値を選択する方法と、映像やグラフを見ながら調整する方法があります。👉 p.46
	RGBCMY	R/G/B/C/M/Y	色相、彩度、明度		R/G/B/C/M/Yごとに色相、彩度、明度を調整します。👉 p.45
	プログレッシブ変換		オフ、ビデオ、フィルム/オート		〔映像処理〕が〔きれい〕に設定されている場合および、HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHDから480i、576i、1080i信号入力時のみ設定可能） 映像に適した方法でインターレース (i) 信号をプログレッシブ (p) 信号に変換します。 • [オフ]：動きの大きい映像に適しています。 • [ビデオ]：一般のビデオ映像に適しています。 • [フィルム/オート]：フィルム映画、CG、アニメーション映像など入力信号に応じて最適な変換を行います。
	EPSON Super White※1		オン、オフ		白の部分が明るく白とびしているときは、[オン] に設定します。[オン] に設定している場合は、[HDMI ビデオレベル] での設定は無効になります。
明るさ切替	高、中、低				ランプの明るさを3段階で切り替えます。 投写映像が明るすぎるときは〔低〕に設定します。〔低〕で使用すると投写中の消費電力、ファン回転音が減少します。
オートアイリス	オフ、標準、高速				映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を設定します。👉 p.42
初期化	はい、いいえ				現在のカラーモードで設定した〔画質〕の調整値を初期値に戻します。

※1 HDMI1/HDMI2映像信号入力時のみ。

※2 HDMI1/HDMI2/PC映像信号入力時のみ。

※3 入力ソースやカラーモードごとに設定値が保存されます。

映像メニュー

LAN映像信号入力時には映像メニューは設定できません。

機能	メニュー/設定値		説明
3D設定※ ¹	3D表示	オート、3D、2D	3D映像を視聴するときは、[オート] または [3D] に設定します。  p.49
	3D方式設定	サイドバイサイド、トップアンドボトム	入力信号の3D方式を設定します。
	2D-3D変換	オフ、弱、中、強	2D映像を3D映像に変換して投写します。
	3D奥行き調整	-10～10	3D映像の奥行き感を設定します。
	映像サイズ	60～300	3D映像の投写サイズを設定します。実サイズに合わせることで、適切な3D効果になります。
	3D明るさ調整	低、中、高	3D映像の明るさを設定します。
	3Dメガネ左右反転	はい、いいえ	3Dメガネの左右のシャッターと左右映像との同期タイミングを反転します。映像で3Dの効果が正しく表示されない場合に設定します。
	3D視聴上の注意	オン、オフ	3D視聴に関する注意を表示するかどうかを切り替えます。
アスペクト※ ²	オート※ ¹ 、ノーマル、フル、ズーム		アスペクトモードを選択します。  p.39
トラッキング※ ² ※ ³	入力信号によって異なります。		映像に縦の縞模様が出るときに調整します。
同期※ ² ※ ³	0～31		映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 • ちらつき、ぼやけは、[明るさ] / [コントラスト] / [シャープネス] の調整で発生することもあります。 • [トラッキング] の調整後に [同期] を調整すると、より鮮明に調整できます。
表示位置※ ² ※ ³	   		映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像の投写範囲を調整します。
自動調整※ ³	オン、オフ		入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整するかどうかを設定します。自動調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期の3項目です。
オーバースキャン※ ¹ ※ ²	オート、オフ、4%、8%		出画率（投写する映像の範囲）を変更できます。 • [オフ]、[4%]、[8%]：映像の範囲を設定します。[オフ] はすべての範囲を投写します。映像信号によっては上下にノイズが入る場合があります。 • [オート]：入力信号によって自動的に [オフ] または [8%] に設定されます。

機能	メニュー/設定値		説明
アドバンスト	HDMI ビデオレベル※1 ※2	オート、通常、拡張	([EPSON Super White] が [オフ] の場合のみ設定可能) [オート] に設定すると、本機のHDMI1/HDMI2入力端子へのDVD入力信号のビデオレベルを自動判別し設定します。 [オート] に設定していて映像に黒つぶれや白とびが生じるときは、DVD/ブルーレイディスクプレイヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。プレイヤー側の設定では、Normal (通常)、Expand (拡張) となっていることがあります。
	映像処理※1 ※3	きれい、速い	ゲームなどの動きの速い投写映像に対し、応答速度を向上させる処理をします。
初期化	はい、いいえ		[映像] のうち、[映像サイズ]、[3D視聴上の注意]、[アスペクト] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

※1 HDMI1/HDMI2やWirelessHD映像信号入力時のみ。

※2 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

※3 PC映像信号入力時のみ。

■ 設定メニュー

機能	メニュー/設定値			説明
台形補正	タテヨコ	タテ補正	-60～60	投写画面のゆがみを補正します。 - タテヨコ：縦方向、横方向のゆがみを補正します。👉 p.35 - Quick Corner：投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。👉 p.36
		ヨコ補正	-60～60	
	Quick Corner	-		
Picture in Picture	-			Picture in Picture表示を開始します。👉 p.74
音声※1	音量	音量	0～40	音量を調整します。
	音声左右反転	オン、オフ		音声出力の左右を反転するかどうかを設定します。天吊りにして内蔵スピーカーを利用する場合は、[オン] に設定します。

機能	メニュー/設定値		説明
HDMIリンク	接続機器一覧	-	HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHD※2に接続している機器の一覧を表示します。
	HDMIリンク	オン、オフ	HDMIリンク機能の有効/無効を切り替えます。
	音声出力機器	プロジェクター、AVアンプ、WiHDトランスミッター(Optical)※2、WiHDトランスミッター(HDMI)※2	音声出力先を設定します。 👉 p.70
	電源オン連動	オフ、双方向、接続機器→PJ、PJ→接続機器	電源オンの連動機能を設定します。 - 接続機器での操作に連動して本機の電源を入れるときは、[双方向] または [接続機器→PJ] を選択します。 - 本機の電源オンに連動して接続機器の電源を入れるときは、[双方向] または [PJ→接続機器] を選択します。
	電源オフ連動	オン、オフ	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源を切るかどうかを設定します。
	リンクバッファ	オン、オフ	HDMIリンクが正しく機能しないときは、設定を変更すると改善される場合があります。
WirelessHD※2	接続機器	-	接続可能なWirelessHD機器を表示します。
	WirelessHD	オン、オフ	WirelessHDの機能の有効/無効を切り替えます。
	映像受信感度		WirelessHDトランスミッターとの接続状態を表示します。接続中はトランスミッター接続済と表示されます。
	初期化	はい、いいえ	[WirelessHD] の調整値を初期値に戻します。 本機の初期化を行っても、WirelessHDトランスミッターの初期化は行われません。 WirelessHDトランスミッターを初期化するには、裏側のSetupボタンを5秒以上押してください。 👉 p.57

機能	メニュー/設定値		説明
Bluetooth	Bluetooth機器検索	-	接続可能なBluetooth機器を検索して一覧を表示します。
	Bluetoothオーディオ	オン、オフ	Bluetoothオーディオ機器からの音声出力の有効/無効を切り替えます。 以下の場合には設定できません。 • 入力ソースがLANまたはUSBになっているとき • [HDMIリンク] メニューの [音声出力機器] が [AVアンプ]、[WiHDトランスミッター (Optical)]、または [WiHDトランスミッター(HDMI)] に設定されているとき
ロック設定	チャイルドロック	オン、オフ	お子様が、誤って電源を入れないように、操作パネルの  ボタンでの電源オンをロックします。ロック時は、  ボタンを約3秒間押し続けると電源が入ります。  ボタンでの電源オフやリモコンでの操作は通常どおり行えます。 設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。 [ダイレクトパワーオン] を [オン] に設定しているときは、[チャイルドロック] を [オン] に設定している場合も、本機に電源コードを接続するだけで投写が開始されますので、注意してください。
	操作ボタンロック	全ロック、操作ロック、オフ	[全ロック]：操作パネルのすべてのボタン操作が無効になります。 [操作ロック]：操作パネルの  ボタン以外のボタン操作が無効になります。 ロック中にボタン操作を行うと画面上に  が表示されます。解除するには、本体操作パネルの  ボタンを約7秒以上押します。 設定を変更した場合は、環境設定メニューの表示終了後に、設定が有効になります。
ユーザーボタン	きれい/速い、3D表示、2D-3D変換、明るさ切替、情報、QRコード表示		リモコンの  ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。  ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。

機能	メニュー/設定値		説明
メモリー	メモリー呼出	Memory1～Memory10	メモリー登録した設定値を呼び出して映像を調整します。
	メモリー登録	Memory1～Memory10	[画質] で設定した設定値をメモリーとして登録します。
	メモリー削除	Memory1～Memory10	登録したメモリーを削除します。
	メモリー名称変更	Memory1～Memory10、デフォルト、DVD、VCR、SDTV、HDTV、Cinema、Sports、Music、Anime、Game、カスタム	メモリーの登録名を変更します。
初期化	はい、いいえ		[設定] のうち、[音声左右反転]、[音声出力機器]、[電源オン連動]、[電源オフ連動]、[ユーザーボタン]、[メモリー] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

※1 [HDMIリンク] メニューの [音声出力機器] が [プロジェクター] に、および [Bluetooth] メニューの [Bluetoothオーディオ] が [オフ] に設定されている場合のみ設定可能。

※2 EH-TW6700Wのみ。

■ 拡張設定メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
ホーム画面設定	ホーム画面自動表示	オン、オフ	[オン] に設定すると、本機の電源を入れたときにホーム画面を自動で表示します。電源投入時に、映像信号がある入力ソースを選択しているときは、ホーム画面は表示されません。
	カスタム機能1	明るさ切替、オートアイリス、台形補正、情報	ホーム画面に割り当てる機能を選択します。
	カスタム機能2		

機能	メニュー/設定値		説明
表示設定	メッセージ表示	オン、オフ	次のメッセージ表示をする（オン） / しない（オフ）を設定します。 - 映像信号やカラーモード、アスペクトの項目名表示 - 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時
	背景表示	黒、青、ロゴ	映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を選択します。
	スタートアップスクリーン	オン、オフ	スタートアップスクリーン（投写開始時に投写される映像）を表示する（オン） / しない（オフ）を設定します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。
	スタンバイ確認	オン、オフ	スタンバイ確認メッセージを表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。👉 p.31
	型番表示モード	オン、オフ	プロジェクターの型番を表示します。
	液晶アライメント	-	👉 p.93
設置モード	フロント、フロント・天吊り、リア、リア・天吊り		設置状況に応じた投写方法を選択します。

機能	メニュー/設定値		説明
動作設定	ダイレクト パワーオン	オン、オフ	本機に電源コードを接続するだけで、ボタン操作なしに投写できるよう設定できます。 [オン] に設定しているときは、停電復旧時などに、電源コードが接続されていると、投写が開始されますので注意してください。
	スリープモード	オン、オフ	一定時間映像信号の入力がないときに、自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になります。スタンバイ状態になっているときは、リモコンの ① ボタンまたは操作パネルの ㊟ ボタンを押すと投写を再開します。
	スリープモード時間	1～30	[スリープモード] で電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。
	イルミネーション	オン、オフ	部屋を暗くして映画などを鑑賞中に操作パネルのインジケータの点灯が気になるときは、本設定を [オフ] にします。 [オフ] にすると、WiHDトランスミッターのインジケータも待機中は消灯します。
	高地モード	オン、オフ	標高約1500m以上でお使いの場合は [オン] にします。
	自動入力検出	オン、オフ	[オン] に設定すると、現在の入力ソースからの映像信号がないときに、自動的に他の入力ソースからの入力信号を検出します。
待機モード	通信オフ、通信オン		[通信オン] に設定すると、スタンバイ状態でもネットワーク経由で本機の状態が監視できます。
言語	-		表示する言語を選択します。
初期化	はい、いいえ		[拡張設定] のうち、[メモリー]、[設置モード]、[高地モード]、[自動入力検出]、[待機モード]、[言語] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

液晶アライメントのメニュー

メニュー/設定値			説明
液晶アライメント	液晶アライメント	オン、オフ	液晶アライメントの有効/無効を切り替えます。
	調整色	R、B	補正する色を選択します。
	パターン色	R/G/B、R/G、G/B	補正時に使用するパターンを選択します。
	調整開始	-	液晶アライメントを開始します。 👉 p.120
	メモリー	液晶アライメント呼出	Memory1、Memory2、Memory3 液晶アライメント登録で登録した設定値を呼び出します。
		液晶アライメント登録	Memory1、Memory2、Memory3 液晶アライメントで設定した設定値をメモリーとして登録します。
		液晶アライメント削除	Memory1、Memory2、Memory3 登録した液晶アライメントのメモリーを削除します。
		液晶アライメント名称変更	Memory1、Memory2、Memory3 液晶アライメントのメモリーの登録名を変更します。
	初期化	はい、いいえ	補正值を初期化します。

■ ネットワークメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
無線LAN電源	オン、オフ	無線LAN電源の有効/無効を切り替えます。
ネットワーク情報 - 無線LAN	-	以下のネットワークの設定状況を表示します。 • 接続モード • 無線LAN方式 • アンテナレベル • プロジェクター名 • SSID • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス • 地域コード
QRコード表示	-	本機のネットワーク情報をQRコードで表示します。
ネットワーク設定画面へ	-	ネットワークの設定メニューへ移行します。 👉 p.94

ネットワークメニュー操作上のご注意

基本的な操作は環境設定メニューと同様に行います。

ただし、終了する際には必ず「設定完了」メニューを選択し、設定を保存してください。



- 【はい】：** 設定を保存してネットワークメニューを終了します。
【いいえ】： 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。
【キャンセル】： ネットワークメニューを続けます。

ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定するときに、ソフトキーボードが表示されます。

リモコンの ボタンまたは操作パネルの ボタンでキーを選択し、 ボタンを押して入力します。

Finishを選択すると入力が確定し、Cancelを選択すると入力は取り消されます。



- CAPSキー：** アルファベットキーの大文字/小文字を切り替えます。
SYM1/2キー： 記号キーを切り替えます。

基本設定メニュー

機能	メニュー/設定値	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を入力します。
Remoteパスワード	8文字以内の半角英数字	スマートフォンやタブレット端末から本機を操作するときに必要な、認証用パスワードを設定します。
LAN情報表示	テキストとQRコード、テキスト	本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。

無線LANメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
接続モード	かんたんモード、マニュアルモード	無線LANの接続方法を設定します。 [かんたんモード]：EasyMP Multi PC Projectionを使用して、スマートフォンやタブレット端末、コンピューターと無線で直接接続できます。本機が簡易アクセスポイントになります。（プロジェクターに接続する機器の数は、6台以下を目安としてください。目安を超えると投写映像の更新が遅くなることがあります。） [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。
チャンネル設定	1ch、6ch、11ch	（[接続モード] が [かんたんモード] の場合のみ設定可能） 無線LANで使用する周波数の帯域を選択します。
SSID	32文字以内の半角英数字	（[接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定可能） SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。
アクセスポイント検索	検索画面へ移動	（[接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ選択可能） 無線LANアクセスポイントを検索します。  は現在接続中のアクセスポイントを表します。  はセキュリティが設定されているアクセスポイントを表します。 セキュリティが設定されているアクセスポイントを選択するとセキュリティメニューに移行します。  p.96
IP設定 （[接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定可能）	DHCP	DHCPを使用する（オン）/しない（オフ）を設定します。[オン] に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
	IPアドレス	本機のIPアドレスを入力します。 以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
	サブネットマスク	本機のサブネットマスクを入力します。 以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
	ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
SSID表示	オン、オフ	LAN待機画面とホーム画面上にSSIDを表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。
IPアドレス表示	オン、オフ	LAN待機画面とホーム画面上にIPアドレスを表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。

セキュリティメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
セキュリティ	なし、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	セキュリティを設定します。 [かんたんモード] 時は [WPA2-PSK]、[マニュアルモード] 時は [WPA2-PSK]、[WPA/WPA2-PSK] を選択できます。
パスフレーズ	8～32文字の半角英数字	パスフレーズを入力します。 セキュリティを確保するために、定期的に変更することをお勧めします。

初期化メニュー

機能	説明
ネットワーク設定を初期化します。	[ネットワーク] のすべての調整値を初期値に戻します。

■ 情報メニュー

機能	メニュー/設定値	説明
プロジェクター情報	ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間※を表示します。
	入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
	入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
	入力解像度	入力解像度を表示します。
	走査方式	走査方式を表示します。
	リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示します。
	3D方式	3D映像投写時に入力されている信号の3D方式（フレームパッキング/サイドバイサイド/トップアンドボトム）を表示します。
	同期情報	映像信号の情報を表示します。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
	色深度	色深度と色差フォーマットを表示します。
	ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
	シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
	Event ID	アプリケーションエラーログを表示します。  p.111
バージョン	Main	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
	Video2	

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

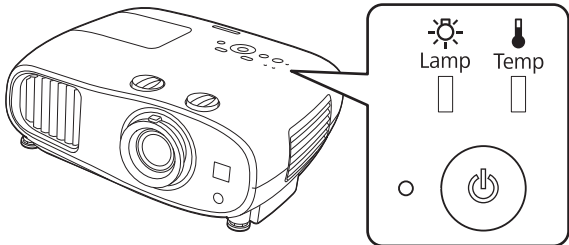
■ 初期化メニュー

機能	説明
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積を [O H] に戻します。ランプ交換をしたときに行ってください。
メモリー初期化	[メモリー] のすべての項目を初期設定に戻します。
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [メモリー]、[液晶アライメント]、[ランプ点灯時間]、[言語] と [ネットワーク設定] メニューの調整値は初期値に戻りません。

故障かなと思ったら

インジケータの見方

本機の状態は、操作パネルの 、（オペレーションインジケータ）、、の点灯や点滅で確認できます。

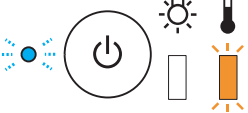
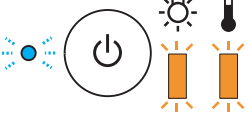
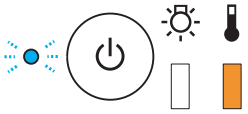


次の表でインジケータの状態と対処方法を確認してください。

■ 異常/警告時のインジケータの状態

 :点灯  :点滅  :状態維持  :消灯

インジケータ	状態	対処方法
    (青) / (オレンジ)	ランプ交換勧告	ランプの交換時期です。速やかに新しいランプと交換してください。 ➡ p.117 このまま使い続けるとランプが破裂するおそれがあります。
    (青) / (オレンジ)	高温警告	このまま投写を続けられます。さらに高温になると投写を自動的に停止します。 - 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。 ➡ p.113

インジケーター	状態	対処方法
 (青) / (オレンジ)	内部異常	本体の故障です。 電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』
 (青) / (オレンジ)	ファン異常 センサー異常	
 (青) / (オレンジ)	オートアイリス異常	
 (青) / (オレンジ)	電源系異常 (バラスト)	
 (青) / (オレンジ)	ランプ異常 ランプ点灯失敗	ランプに異常があるか、点灯に失敗しました。 - 電源コードを抜いてからランプが割れていないか確認します。☛ p.117 ランプが割れていなければ、ランプを再セットし、本機の電源を入れます。 ランプを再セットしても直らないときやランプが割れているときは、ご使用をやめ、電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』 - ランプカバーがきちんと閉まっているか確認してください。
 (青) / (オレンジ)	内部高温異常 (オーバーヒート)	内部が高温になっています。 - ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。約5分間そのままの状態待ちます。ファンが停止したら、電源コードを抜きます。 - 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。☛ p.113 - 電源を入れ直しても改善されない場合は、ご使用をやめ、電源コードを抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』 - 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず[高地モード]を[オン]にしてください。☛ [拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] p.90

■ 正常動作時のインジケータの状態

■ :点灯 ■ :点滅 □ :消灯

インジケータ	状態	対処方法
○ 	スタンバイ状態	リモコンの  ボタンまたは操作パネルの  ボタンを押すと、しばらくして投写を開始します。 [待機モード] の設定が [通信オン] の場合は、スタンバイ状態でも  インジケータは点灯します。
●  (青)	ウォームアップ中	ウォームアップの時間は約30秒です。 ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。
	クールダウン中	クールダウン中はすべての操作は無効になります。クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。万一、クールダウン中に電源コードを抜いたときは、ランプが十分に冷えてから (約10分必要)、再び電源コードを接続し、リモコンの  ボタンまたは操作パネルの  ボタンを押してください。
●  (青)	投写中	通常動作中です。



- 正常動作時は  と  インジケータは消灯しています。
- [イルミネーション] 機能が [オフ] の場合は正常な投写中にインジケータがすべて消灯しています。  [拡張設定] - [動作設定] - [イルミネーション] [p.90](#)

インジケータを確認してもわからないとき

■ 現象の確認

下記の表のうち、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先をご覧ください。

現象		ページ
映像に関するトラブル	映像が表示されない 投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...	p.102
	コンピューターで再生する動画が表示されない	p.102
	「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される	p.102
	「映像信号が入力されていません。」と表示される	p.103
	投写映像が台形にゆがむ	p.103
	ぼやける、ピントが合わない	p.103
	ノイズが入る・乱れるなど...	p.103
	切れる（大きい）、小さい、映像の一部分しか投写されないなど...	p.104
	色合いが違う 赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど... ※	p.104
	暗い	p.104
	自動的に投写が消える	p.105
	スライドショーが開始されない	p.105
音に関するトラブル	音が出ない、小さい	p.105
投写開始時のトラブル	電源が入らない	p.106
リモコンでのトラブル	リモコンで操作できない	p.106
操作パネルのトラブル	本体パネルで操作できない	p.107
3Dでのトラブル	3Dで正しく投写できない	p.107
HDMIのトラブル	HDMIリンクで操作できない	p.108
	接続機器一覧に機器名が表示されない	p.108
Bluetooth機器のトラブル	Bluetooth機器を接続できない	p.108
	Bluetooth機器の音声や接続が途切れる	p.109
WirelessHDのトラブル	WirelessHDの映像が投写できない	p.109
	WirelessHDの映像にノイズが入る、乱れる、途切れる	p.110
	左右のいずれか半分の映像が停止する、画面が二重に表示される	p.110
ネットワークに関するトラブル	無線LANでネットワーク接続ができない	p.110
	ネットワーク経由で投写した映像が乱れる	p.111

※ コンピューターのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。

■ 映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
電源を入れましたか？	リモコンの ① ボタンまたは操作パネルの ② ボタンを押します。
電源コードを接続していますか？	電源コードを接続してください。
インジケータがすべて消灯していませんか？	本機の電源コードを抜いて、接続し直します。 接続後、電源ボタンを押して電気が供給されているか確認します。
映像信号は入力されていますか？	接続している機器の電源が入っているか確認します。環境設定メニューの [メッセージ表示] を [オン] に設定すると映像信号に関するメッセージが表示されます。☛ [拡張設定] - [表示設定] - [メッセージ表示] p.90
AVアンプの電源が切れていませんか？	AVアンプを接続しているときは、AVアンプの電源も確認してください。
機器から映像信号が送られていますか？	接続している機器から映像信号が送られていることを確認してください。
環境設定メニューの設定が間違っていますか？	全初期化してみてください。☛ [初期化] - [全初期化] p.97
(コンピューター映像信号投写時のみ) 接続の作業を、本機やコンピューターの電源が入っている状態で行いましたか？	電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn (ファンクション) キーが使えないことがあります。接続しているコンピューターと本機の電源を入れ直してください。

動画が表示されない

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) コンピューターの映像信号が外部と液晶モニター両方同時に出力されるように設定されていませんか？	コンピューターの仕様により映像を外部と液晶モニターに同時表示させると動画が表示されないことがあります。 映像信号が外部のみに出力されるように切り替えてください。 コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) 映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？	環境設定メニューの [入力解像度] で入力中の映像信号を確認し、本機の解像度に対応しているか確認してください。 ☛ [情報] - [プロジェクター情報] p.96 ☛ p.123

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。  p.21
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの各入力ソースのボタンで映像を切り替えます。  p.30
接続している機器の電源は入っていますか？	機器の電源を入れます。
(コンピューター映像信号投写時のみ) プロジェクターに映像信号が出力されていますか？	映像信号がコンピューターの液晶モニター以外（外部）にも出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターに表示されないモデルもあります。コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn（ファンクション）キーが使えないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。

投写映像が台形にゆがむ

確認	対処法
台形ゆがみは補正範囲内で調整していますか？	補正可能範囲よりも外の位置から投写を行うと、台形ゆがみを十分に補正できない場合があります。できるだけスクリーンの正面に水平・平行に設置して、レンズシフトを使って投写位置を調整してください。  p.16

ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
フォーカスを調整しましたか？	フォーカス調整を行います。  p.32
レンズキャップが付いていませんか？	レンズキャップを外します。
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を確認してください。  p.18
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、本機の電源を切り、電源コードを抜いてしばらく放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。  p.21
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) [同期] / [トラッキング] は正しく調整されていますか？	本機は自動調整機能で最適な状態で投写します。ただし信号によっては、自動調整を行っても正しく調整されないものもあります。この場合は、環境設定メニューの [トラッキング] / [同期] で調整します。☛ [映像] - [トラッキング] / [同期] p.86
(コンピューター映像信号投写時のみ) 解像度の選択は正しいですか？	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。☛ p.123

映像の一部が切れる (大きい)、小さい

確認	対処法
[アスペクト] は正しく選択していますか？	環境設定メニューの [アスペクト] で、入力信号に合ったアスペクトモードを選択してください。☛ [映像] - [アスペクト] p.86
[表示位置] は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [表示位置] で調整します。☛ [映像] - [表示位置] p.86
(コンピューター映像信号投写時のみ) 解像度の選択は正しいですか？	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。☛ p.123

色合いが違う

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.21 PC入力端子の場合は、コネクターと同じ色のケーブル端子を接続します。☛ p.21
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [コントラスト] を調整してください。☛ [画質] - [コントラスト] p.84
適切に色の調整がされていますか？	環境設定メニューの [アドバンスト] を調整してください。☛ [画質] - [アドバンスト] p.84
(ビデオ機器の映像信号投写時のみ) 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [色の濃さ] / [色合い] を調整してください。☛ [画質] - [色の濃さ] / [色合い] p.84

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューの [明るさ] を設定してください。☛ [画質] - [明るさ] p.84
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [コントラスト] を調整してください。☛ [画質] - [コントラスト] p.84

確認	対処法
ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 ☛ p.117

自動的に投写が消える

確認	対処法
［スリープモード］が有効になっていませんか？	一定時間映像信号の入力がないときに、ランプが自動的に消灯し、スタンバイ状態になります。リモコンの①ボタンまたは操作パネルの②ボタンを押すと電源が入ります。［スリープモード］を無効にするときは、設定を［オフ］にします。☛［拡張設定］ - ［動作設定］ - ［スリープモード］ p.90

スライドショーが開始されない

確認	対処法
セキュリティー機能が付いているUSBストレージデバイスを使用していないですか？	セキュリティー機能が付いているUSBストレージデバイスは、使用できないことがあります。

■ 音に関するトラブル

音が出ない、小さい

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されていますか？	Audio Out端子からケーブルを抜いて差し直してください。
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。☛ p.37
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか？	HDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
［音声出力機器］の設定は正しいですか？	環境設定メニューで［音声出力機器］の設定が正しいことを確認してください。☛［設定］ - ［HDMIリンク］ - ［音声出力機器］ p.87
［Bluetoothオーディオ］の設定は正しいですか？	Bluetoothオーディオ機器を接続しているときは、次のように設定してください。 • 本体スピーカーまたはAVアンプから音声を出力するときは、［Bluetoothオーディオ］を［オフ］に設定してください。 • Bluetoothオーディオ機器から音声を出力するときは、［Bluetoothオーディオ］を［オン］に設定してください。 ☛［設定］ - ［Bluetooth］ - ［Bluetoothオーディオ］ p.87

■ 投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
電源を入れましたか？	リモコンの ① ボタンまたは操作パネルの ㊦ ボタンを押します。
[チャイルドロック] を [オン] に設定していませんか？	環境設定メニューの [チャイルドロック] を [オン] に設定している場合は、操作パネルの ㊦ ボタンを約3秒間押し続けるか、リモコンで操作します。 ➡ [設定] - [ロック設定] - [チャイルドロック] p.87
電源コードを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	本機の電源を切り、電源コードを抜いてから差し直します。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。 ➡ 『お問い合わせ先』
ランプカバーやランプは正しく装着されていますか？	本機は、ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。装着の状態を確認してください。 ➡ p.117

■ リモコンでのトラブル

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。また、操作可能範囲を確認してください。 ➡ p.28
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能範囲を確認してください。 ➡ p.28
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きでセットします。 ➡ p.28
リモコンをWirelessHDトランスミッターに向けてWirelessHDトランスミッター制御のボタンを操作していますか？ (EH-TW6700Wのみ)	リモコンのWirelessHDトランスミッター制御のボタンは、WirelessHDトランスミッターに向けて操作します。 ➡ p.67

■ 操作パネルのトラブル

本体パネルで操作できない

確認	対処法
[操作ボタンロック] を [全ロック] または [操作ロック] に設定していませんか？	環境設定メニューの [操作ボタンロック] を [全ロック] に設定していると、操作パネルのすべてのボタン操作が、[操作ロック] に設定していると、操作パネルの  ボタン以外のボタン操作が無効になります。リモコンで操作してください。  [設定] - [ロック設定] - [操作ボタンロック] p.87

■ 3Dでのトラブル

3Dで正しく投写できない

確認	対処法
3Dメガネの電源が入っていますか？	3Dメガネの電源を入れてください。
3D映像が投写されていますか？	本機が2D映像を投写しているときや、本体側のエラーなどで3D映像を投写していないときは3Dメガネをかけても3D映像を視聴できません。
入力映像が3Dに対応していますか？	入力映像が3Dに対応しているか確認してください。テレビ放送の多くは、3Dフォーマットの識別信号が含まれていないため、手動で設定する必要があります。
[3D表示] を [2D] に設定していませんか？	環境設定メニューの [3D表示] を [2D] に設定していると、3D入力信号で自動的に3Dに切り替わりません。[3D表示] を [3D] または [オート] に設定してください。  [映像] - [3D設定] - [3D表示] p.86
[3D方式設定] は正しく設定されていますか？	AV機器の3Dフォーマットと本機の [3D方式設定] が合っていないと映像の一部が切れて表示されます。AV機器の3Dフォーマットと本機の [3D方式設定] が合っていることを確認してください。  [映像] - [3D設定] - [3D方式設定] p.86 [3D方式設定] を変更するときは、[3D表示] を [3D] に設定してから  ボタンを押してください。
受信範囲で視聴していますか？	プロジェクターと3Dメガネの距離が10mを超えると、接続が途切れることがあります。3Dメガネをプロジェクターに近づけてください。
ペアリングは正常にできていますか？	ペアリングを実施してください。  p.51
電波干渉を引き起こす機器が周囲にありますか？	他のBluetooth通信機器や無線LAN (IEEE802.11b/g)、電子レンジなどの周波数帯 (2.4GHz) と同時に使用すると、電波干渉が発生し、映像が途切れたり接続ができなくなることがあります。本機をこれらの機器の近くで使用しないでください。

■ HDMIのトラブル

HDMIリンクで操作できない

確認	対処法
HDMI規格に準拠したケーブルを使用していますか？	HDMI規格に適合していないケーブルでは動作しません。
HDMI CEC規格に対応した機器を接続していますか？	接続機器にHDMI端子がついていてもHDMI CEC規格に対応していないと操作できません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 また、  ボタンを押し、[接続機器一覧] で利用可能かどうか確認してください。  p.71
ケーブル類が正しく接続されていますか？	HDMIリンクを使うために必要なケーブル類が確実に接続されているか確認します。  p.70
接続しているアンプやDVDレコーダーなどの電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源をスタンバイ状態にします。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 スピーカーなどを接続しているときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
新しく機器を接続したり、接続を変更しましたか？	新しく機器を接続したり接続を変更した後に操作できないときは、接続機器のCEC機能を設定し直したり、再起動が必要な場合があります。
プレイヤーを何台も接続していませんか？	HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台までです。

接続機器一覧に機器名が表示されない

確認	対処法
接続機器がHDMI CEC規格に対応していますか？	接続機器がHDMI CEC規格に対応していないと表示されません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。

■ Bluetooth機器のトラブル

Bluetooth機器を接続できない

確認	対処法
機器検索を実行しましたか？	Bluetooth機器をはじめて接続するときや、別のBluetooth機器に切り替えるときには、[Bluetooth機器検索] を実行してください。  p.23
著作権保護（SCMS-T）対応機器ですか？	著作権保護（SCMS-T）に対応していないBluetooth機器は接続できません。
A2DPに準拠していますか？	A2DPに対応していないBluetooth機器は接続できません。

Bluetooth機器の音声や接続が途切れる

確認	対処法
プロジェクターとBluetooth機器の間に障害物がありますか？	プロジェクターとBluetooth機器の間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更してください。
通信可能距離内で接続していますか？	プロジェクターとBluetooth機器の距離が10mを超えると、音声や接続が途切れることがあります。Bluetooth機器をプロジェクターに近づけてください。
周囲に無線機器や電子レンジがありませんか？	無線機器や電子レンジと同時に使用すると、電波干渉が発生し、音声や接続が途切れることがあります。干渉の可能性がある機器を遠ざけてください。

■ WirelessHDのトラブル (EH-TW6700Wのみ)

WirelessHDの映像が投写できない

確認	対処法
同梱のWirelessHDトランスミッターを接続しているケーブルはHDMIの規格に対応していますか？	ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。
[WirelessHD] を [オフ] に設定していませんか？	環境設定メニューの [WirelessHD] を [オフ] に設定していると、WirelessHD入力信号で投写できません。 [WirelessHD] を [オン] に設定し、  ボタンを押してください。 ➡ [設定] - [WirelessHD] - [WirelessHD] p.87
WirelessHDの通信範囲で受信していますか？	WirelessHDの送受信機が通信できる範囲を確認し、範囲内で視聴してください。 ➡ p.66
同梱のWirelessHDトランスミッターの電源は入っていますか？	WirelessHDトランスミッターの電源ランプを確認してください。電源が入っていない場合は、ACアダプターのコネクターをしっかりと差し込んで、電源スイッチを入れてください。
同梱のWirelessHDトランスミッターのWirelessHDインジケータが消灯していませんか？	WirelessHDは本機と通信していません。WirelessHDの送受信機が通信できる範囲を確認し、範囲内に設置してください。
同梱のWirelessHDトランスミッターのLinkインジケータが消灯していませんか？	WirelessHDトランスミッターに接続されたAV機器から映像信号が出力されていません。AV機器とWirelessHDトランスミッターのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
WirelessHDトランスミッターの排気口にホコリがたまっていますか？	WirelessHDトランスミッターの底面には排気口があります。ホコリがたまると通信できない場合があります。ホコリがたまらないように設置してください。
本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターの向きが正しいですか？	本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターは、互いに前面が向き合うように設置してください。

WirelessHDの映像にノイズが入る、乱れる、途切れる

確認	対処法
WirelessHDの通信範囲で受信していますか？	WirelessHDの送受信機が通信できる範囲を確認し、範囲内で視聴してください。  p.66
WirelessHDトランスミッターと本機の間には障害物がありますか？	WirelessHDはビーム状の通信電波を利用しているため、伝送経路が人や障害物などで遮断されると通信できず、映像に影響が出ます。WirelessHDの通信範囲の中で、WirelessHDトランスミッターと本機の間には障害物が入らないように設置してください。  p.66
受信感度が低い状態ではありませんか？	電波強度が不十分なため通信が不安定な可能性があります。WirelessHDトランスミッターの位置や向きを変えることで電波状態が改善することがありますので、[映像受信感度]を確認しながら設置してください。  [設定] - [WirelessHD] - [映像受信感度] p.87 電波強度は環境によって異なり、安定しない場合があります。[映像受信感度]を確認しながら、数値が安定する場所に設置してください。  [設定] - [WirelessHD] - [映像受信感度] p.87

左右のいずれか半分の映像が停止する、画面が二重に表示される

確認	対処法
受信感度が低い状態ではありませんか？	WirelessHDトランスミッターの位置や向きを変えることで電波状態が改善することがありますので、[映像受信感度]を確認しながら設置してください。  [設定] - [WirelessHD] - [映像受信感度] p.87

■ ネットワークに関するトラブル

無線LANでネットワーク接続ができない

確認	対処法
[無線LAN電源] を [オフ] に設定していませんか？	環境設定メニューで [無線LAN電源] を [オン] に設定してください。すでに [オン] に設定されているときは、一度 [無線LAN電源] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定してください。  [ネットワーク] - [無線LAN電源] p.93
パスフレーズは正しいですか？	パスフレーズは大文字小文字を区別するので、注意してください。設定したパスフレーズが不明な場合は再度設定しなおしてください。  [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [セキュリティ] - [パスフレーズ] p.96
Event IDは確認しましたか？	Event IDの番号を確認し、次の対処法に従ってください。  [情報] - [プロジェクター情報] - [Event ID] p.96  p.111

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

確認	対処法
アクセスポイントと接続機器の間に障害物がありますか？	アクセスポイントとモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更してください。
アクセスポイントと接続機器の距離が離れすぎていませんか？	アクセスポイントとモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎているときは、近づけて接続してください。
周囲にBluetooth機器や電子レンジがありますか？	映像の表示が遅いときや、映像にノイズが入るときは、Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認し、干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保してください。
接続機器の数が多すぎませんか？	映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

Event ID について

番号を確認して以下のとおり対処してください。問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。

☎ 『お問い合わせ先』

Event ID	要因	対処法
0022 0027 0028 0029 0030 0031 0035 0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0432 0435	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0433	転送された画像を再生できません。	ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。

Event ID	要因	対処法
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCPの設定をオフにしてください。 ☛ [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [IP設定] - [DHCP] p.93
0020 0026 0032 0036 0037 0038 0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはネットワークソフトウェアを再起動しても問題が解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。☛ 『お問い合わせ先』

お手入れの方法

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

警告

本機のレンズやエアフィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

エアフィルターの掃除

エアフィルターにホコリがたまっていたり、次のメッセージが表示されたときは、エアフィルターを掃除してください。

「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

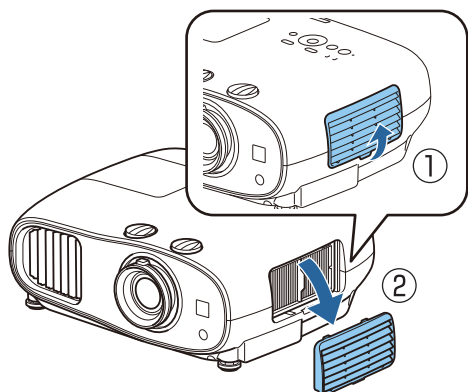
注意

- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。約3か月に一度はエアフィルターの掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入り込み取れなくなります。

1 リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押して電源を切り、電源コードを抜きます。

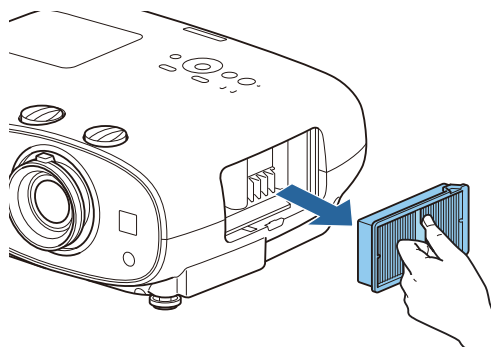
2 エアフィルターカバーを取り外します。

エアフィルターカバーのタブに指をかけ、下に向かって外します。



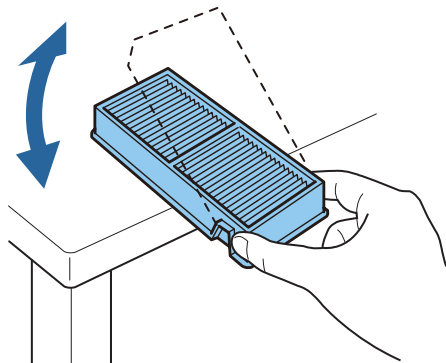
3 エアフィルターを取り出します。

中央のつまみを持ってエアフィルターを取り出します。



- 4** エアフィルターの表面を下にして、4～5回たたいてホコリを落とします。

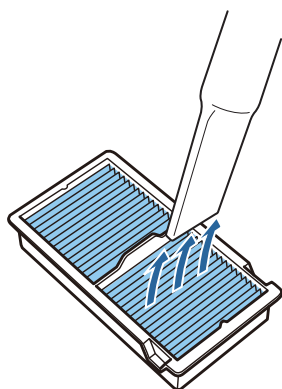
持ち替えて手に持っていた方も同様にたたいてホコリを落とします。



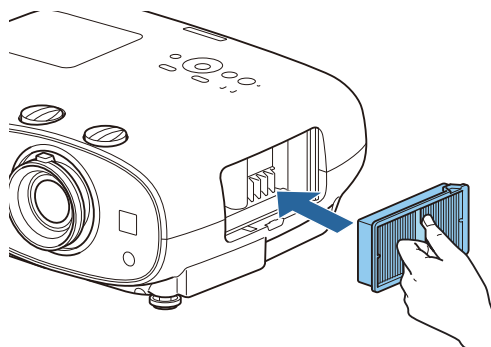
注意

エアフィルターを強くたたきすぎると、変形したり割れたりして使用できなくなります。

- 5** 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側から吸い取ります。

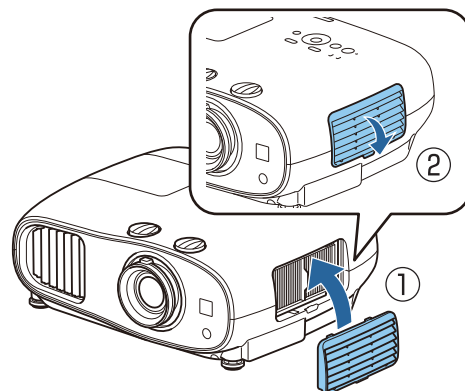


- 6** エアフィルターを取り付けます。
中央のつまみを持ってエアフィルターを、まっすぐに差し込んで取り付けます。



- 7** エアフィルターカバーを取り付けます。

上部のツメをはめてから下部をはめます。



■ 本体の掃除

必ずはじめに電源アダプターをコンセントから抜いてください。

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ レンズの掃除

必ずはじめに電源アダプターをコンセントから抜いてください。

レンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

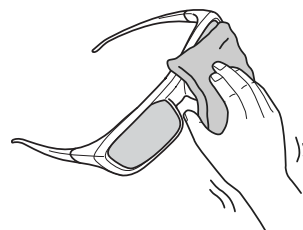
レンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。

■ 3Dメガネの掃除

メガネレンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

- メガネレンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。
- お手入れの際には、USB充電AC電源アダプターをコンセントから抜き、すべてのケーブルをはずしたことを確認してから行ってください。



3Dメガネには充電電池が含まれています。廃棄するときは、地域の廃棄ルールに従ってください。

消耗品の交換時期

■ エアフィルターの交換時期

エアフィルターの掃除を行っても交換メッセージが表示されるとき  [p.113](#)

■ ランプの交換時期

- 投写開始時に、次のメッセージが表示されたとき
「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、www.epson.jp をご覧ください。」
- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき



- 初期の明るさや画質を維持するため、使用時間が最短で約3400時間を経過すると、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はカラーモード設定などお使いの状況により変わります。
交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンダイレクト（通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。

消耗品の交換

■ エアフィルターの交換方法



使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

材質：PP

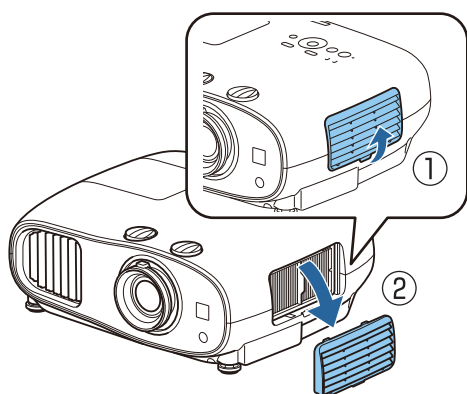
1

リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押して電源を切り、電源コードを抜きます。

2

エアフィルターカバーを取り外します。

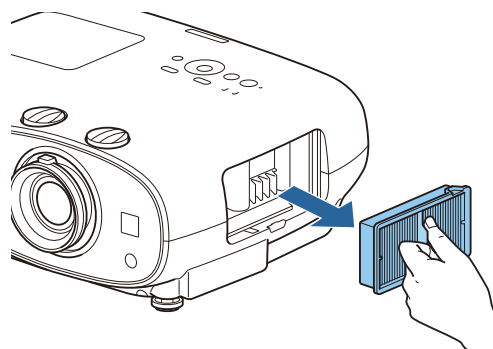
エアフィルターカバーのタブに指をかけ、下に向かって外します。



3

古いエアフィルターを取り外します。

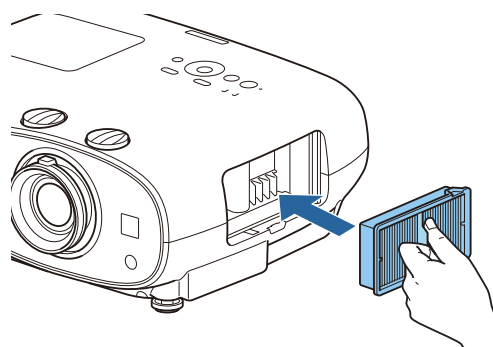
中央のつまみを持ってエアフィルターを取り出します。



4

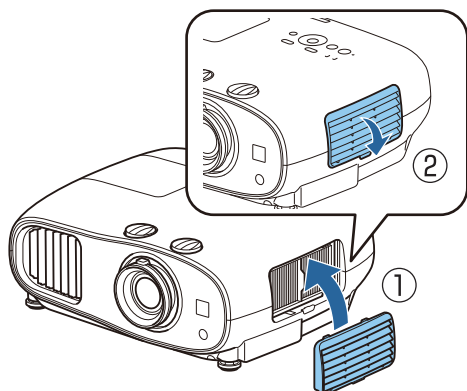
新しいエアフィルターを取り付けます。

中央のつまみを持ってエアフィルターをまっすぐに差し込んで取り付けます。



5 エアフィルターカバーを取り付けます。

上部のツメをはめてから下部をはめます。



ランプの交換方法

警告

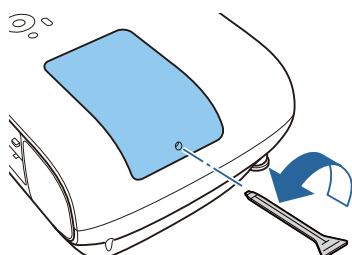
ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、目や口にガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

注意

- 電源を切った直後はランプカバーが熱くなっていますので、触らないようにしてください。ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱でけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの性能をフルに発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のものを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

1 リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンを押して電源を切り、電源コードを抜きます。

2 ランプカバー固定ネジをゆるめます。

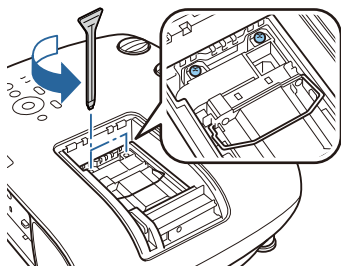


3 ランプカバーを取り外します。

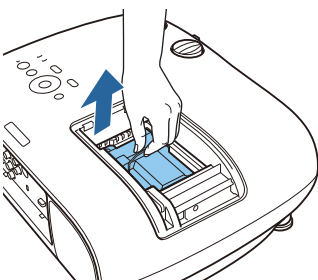
ランプカバーをまっすぐスライドさせて外します。



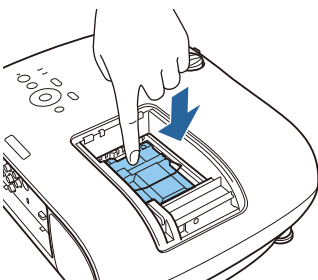
4 ランプ固定ネジをゆるめます。



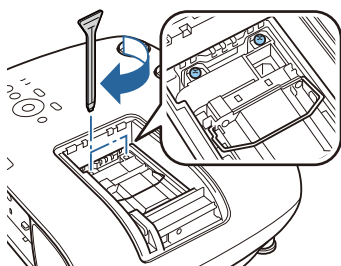
5 古いランプを取り出します。
取っ手を持ってまっすぐ引き抜きます。



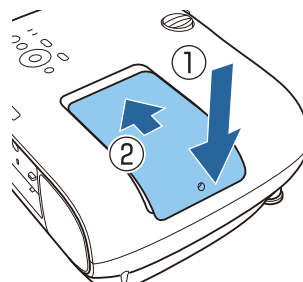
6 新しいランプを取り付けます。
向きを合わせて押し込みます。



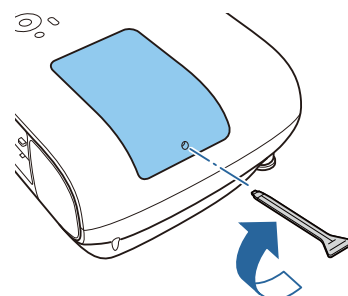
7 ランプ固定ネジをしっかりと締めます。



8 ランプカバーを取り付けます。
スライドさせながらカバーを取り付けます。



9 ランプカバー固定ネジを締めます。



 警告

ランプの分解・改造は絶対しないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

⚠ 注意

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀（Hg）が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

■ ランプ点灯時間初期化

ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達すると、メッセージやインジケータでお知らせします。

1 電源を入れます。

2  ボタンを押します。
環境設定メニューが表示されます。

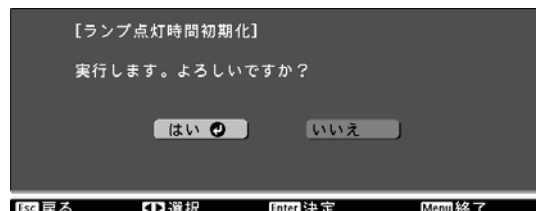
3 [初期化] - [ランプ点灯時間初期化] を選択します。

初期化を確認する画面が表示されます。



4   ボタンで [はい] を選択し、 ボタンを押して実行します。

ランプ点灯時間が初期化されます。



液晶アライメント

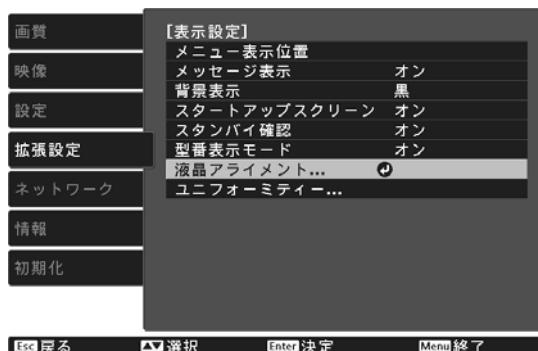
液晶パネルの画素の色ずれを調整します。水平方向、垂直方向に0.125画素ずつ、それぞれ±3画素の範囲内で調整できます。



- 液晶アライメントで調整後は映像が劣化する場合があります。
- 画面からはみ出した画素分の映像は表示されません。

1 投写中に **[Menu]** ボタンを押して、**[拡張設定]** から **[表示設定]** を選択します。

2 **[液晶アライメント]** を選択し、**[Enter]** ボタンを押します。



3 **[液晶アライメント]** を有効にします。



- (1) **[液晶アライメント]** を選択し、**[Enter]** ボタンを押します。
- (2) **[オン]** を選択し、**[Enter]** ボタンを押します。
- (3) **[Esc]** ボタンを押して前の画面に戻ります。

4 調整する色を選びます。

- (1) **[調整色]** を選択し、**[Enter]** ボタンを押します。
- (2) **[R]** (赤)、**[B]** (青) のいずれかを選択し、**[Enter]** ボタンを押します。
- (3) **[Esc]** ボタンを押して前の画面に戻ります。

5 **[パターン色]** で調整時に表示する格子の色を選びます。

- (1) **[パターン色]** を選択し、**[Enter]** ボタンを押します。
- (2) 格子の色をR (赤)、G (緑)、B (青) の組み合わせで選びます。

[R/G/B] : R、G、Bの3色で表示します。実際の格子の色は白になります。

[R/G] : **[調整色]** を **[R]** にしているときに選択できます。R、Gの2色で表示します。実際の格子の色は黄色になります。

[G/B] : **[調整色]** を **[B]** にしているときに選択できます。G、Bの2色で表示します。実際の格子の色はシアンになります。

- (3) **[Esc]** ボタンを押して前の画面に戻ります。

6

「調整開始」を選択し、 ボタンを押します。メッセージが表示されるので、もう一度、 ボタンを押します。

調整が始まります。調整は左上から順に4隅で行います。



調整中は映像がゆがむ場合があります。調整を終了すると、もとに戻ります。

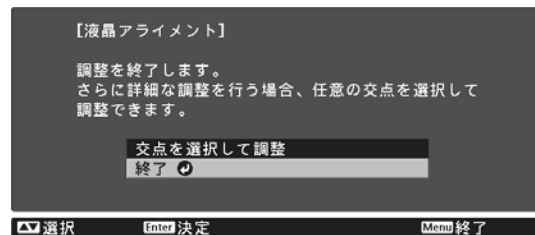
7



ボタンで調整し、 ボタンを押して次の調整ポイントへ進みます。

8

4隅の調整後、「終了」を選択し、 ボタンを押します。



4点での調整が不十分の場合は、「交点を選択して調整」を選択して調整を続けます。



オプション・消耗品一覧

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション・消耗品類は2016年6月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

名称	型番	説明
天吊り金具※	ELPMB20 ELPMB22 ELPMB30	本機を天井に取り付けるときに使用します。
パイプ450（450mmホワイト）※	ELPFP13	高天井および化粧天井に取り付けるときに使用します。
パイプ700（700mmホワイト）※	ELPFP14	
RF方式3Dメガネ	ELPGS03	3Dの映像を楽しむときに購入してください。
USB充電AC電源アダプター	ELPAC01	3Dメガネを充電するときを使用します。
コンピューターケーブル（1.8m）	ELPKC02	コンピューターの画面を投写するときを使用します。
コンピューターケーブル（3.0m）	ELPKC09	
コンピューターケーブル（20.0m）	ELPKC10	
無線LANユニット	ELPAP10	本機と外部機器を無線LANで接続して投写するときを使用します。

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

消耗品

名称	型番	説明
交換用ランプ	ELPLP85	使用済みランプと交換します。（ランプ1個）
エアフィルター	ELPAF39	使用済みのエアフィルターと交換します。（エアフィルター1枚）



対応解像度一覧

コンピューター映像（アナログRGB）

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 x 480
SVGA	60	800 x 600
XGA	60	1024 x 768
SXGA	60	1280 x 960
	60	1280 x 1024
WXGA	60	1280 x 768
	60	1366 x 768
	60	1280 x 800
WXGA++	60	1600 x 900

HDMI1/HDMI2入力信号

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 x 480
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	24/30/50/60	1920 x 1080

MHL入力信号

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 x 480
SDTV (480i)	50	720 x 480
SDTV (576i)	60	720 x 576
SDTV (480p)	50	720 x 480
SDTV (576p)	60	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	24/30	1920 x 1080

3D入力信号 HDMI

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)	3Dフォーマット		
			フレームパッキング	サイドバイサイド	トップアンドボトム
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720	✓	✓	✓
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV (1080p)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV (1080p)	24	1920 x 1080	✓	✓	✓

3D入力信号 MHL

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)	3Dフォーマット		
			フレームパッキング	サイドバイサイド	トップアンドボトム
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720	-	✓	✓
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV (1080p)	50/60	1920 x 1080	-	-	-
HDTV (1080p)	24	1920 x 1080	-	✓	✓

WirelessHD入力信号

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	24/30	1920 x 1080

※ WirelessHDで投写する場合、以下の信号はDeep Colorに対応していません。

2D：1080p 60/50 Hz

3D：1080p 24Hzフレームパッキング/720p 50/60 Hzフレームパッキング/1080p 60/50 Hzサイドバイサイド

WirelessHD※入力信号 MHL

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	24/30/50/60	1920 x 1080

※ HDMI4端子のみ。



仕様一覧

EH-TW6700W/EH-TW6700

商品名		EH-TW6700W	EH-TW6700
外形寸法		410（幅） x 157（高さ） x 304（奥行き） mm （フット含まず）	
パネルサイズ		0.61型ワイド	
表示方式		ポリシリコンTFTアクティブマトリクス	
画素数		横1920 x 縦1080 x 3	
フォーカス調整		手動	
ズーム調整		手動（約1 - 1.6）	
ランプ（光源）		UHEランプ 定格250W、型番：ELPLP85	
ランプ交換目安		3400時間	
電源		100 - 240 V AC±10%、50/60 Hz、3.9 - 1.7 A	
消費電力	100 - 120 Vエリア	定格消費電力：357 W	
		待機時消費電力（通信オン）：2.8 W	
		待機時消費電力（通信オフ）：0.30 W	
	220 - 240 Vエリア	定格消費電力：340 W	
		待機時消費電力（通信オン）：2.9 W	
		待機時消費電力（通信オフ）：0.40 W	
動作高度		標高0～3000 m	
動作温度範囲		+5～+35℃※（結露しないこと）	
保存温度範囲		－10～+60℃（結露しないこと）	
質量		約7.0kg	約6.9kg
スピーカー		10W x 2	

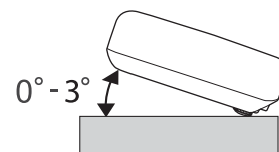
※ 標高2287m～3000mで使用する場合は+5～+30℃。

接続端子	PC入力端子	1系統	ミニD-sub 15pin (メス) 青色
	HDMI入力端子	2系統	HDMI HDCP対応、CEC信号対応、MHL信号対応 (HDMI2入力端子のみ)、3D信号対応、リニアPCM対応、Deep Color
	USB端子※	1系統	USBコネクタ (Aタイプ)
	1000mA給電専用端子※	1系統	USBコネクタ (Aタイプ)
	Audio Out端子	1系統	ステレオミニピンジャック (3.5Φ)
	Service端子※	1系統	USBコネクタ (Bタイプ)

※ USB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

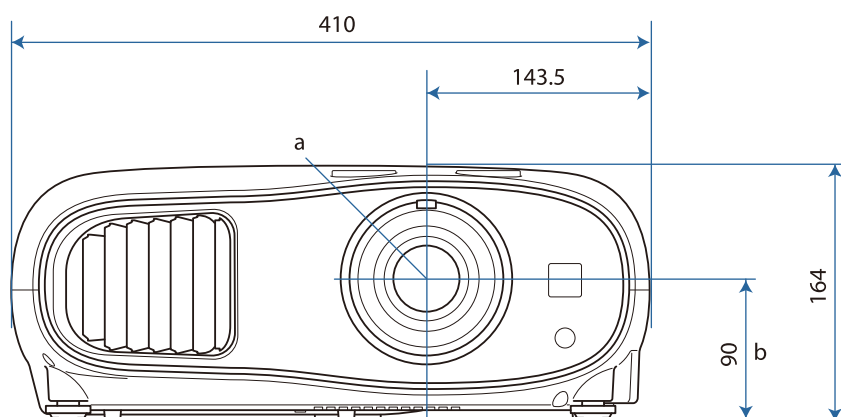
傾斜角度

3°以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります



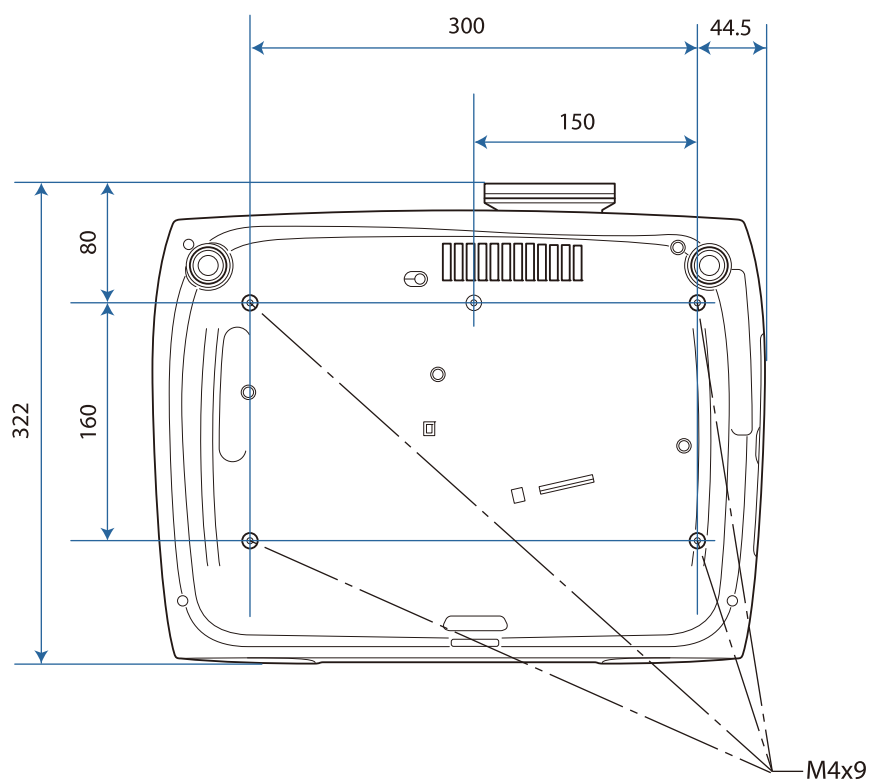
外形寸法図

単位：mm



a レンズ中心

b レンズ中心から天吊り固定部までの寸法



安全規格対応シンボルマークについて

製品上に以下のシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5007	電源 ON 電源への接続を示す。
	IEC60417 No.5008	電源 OFF 電源からの切り離しを示す。
	IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通电状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
	ISO7000 No.0434B IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
	IEC60417 No.5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
	IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
	IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
	IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラス及びマイナス電極の接続を示す。

	IEC60417 No.5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
	IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。

	IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
	IEC60417 No.5017	アース ⓪の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
	ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
	ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	---	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
	---	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
	ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルのレーザ放射部があることを示す。
	ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	---	照明用LED点灯中のレンズ覗きこみ禁止を示す。
	IEC60417 No.5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
	ISO3864 IEC60417 No.5057	注意(可動部品) 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。



用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略で、DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、HD映像と、マルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。 HDMI™はデジタル家電やコンピューターをターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 • 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査） • 画面のアスペクトは16：9・ドルビーデジタル音声の受信、再生（あるいは出力）
MHL	Mobile High-definition Linkの略で、モバイル端末で映像信号の高速伝送を実現する、高精細映像向けの接続インターフェースの規格のことをいいます。 MHLはスマートフォンやタブレット端末をターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま伝送し、電源供給も行います。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドットx縦600ドットのことを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドットx縦1,024ドットのことを呼びます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドットx縦480ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドットx縦768ドットのことを呼びます。
YCbCr	SDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Cb、Crが色差を表します。
YPbPr	HDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Pb、Prが色差を表します。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は、4：3です。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へひとつ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
ペアリング	Bluetooth機器で接続するとき、相互に通信できるよう、あらかじめ機器を登録することです。



一般のご注意

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

Japan

本製品を正しく使用するために、はじめにマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

警告

- 心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、心臓ペースメーカーを使用した人が近くにいないことを確認してください。
- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、医療機器が近くにないことを確認してください。
- 無線通信機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。電波が機器に影響を及ぼしたり、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 本機を継続して使用するときは、人体から20cm以上離れた場所でご使用ください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- (1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- (2) 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社インフォメーションセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- (3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせ下さい。

2.4 FH 4



Ⓡ 201-125241 左記認証無線機器を内蔵

商標について

EPSONおよびELPLPはセイコーエプソン株式会社の商標または登録商標です。

Mac、OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Windows、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI LicensingLLCの商標、または登録商標です。 

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標または登録商標です。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

MHL、MHLのロゴ、および Mobile High-Definition Linkは、米国およびその他の国におけるMHL、LLCの商標または登録商標です。

WPA™、WPA2™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Google Playは、Google Inc.の商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

CINEMASCOPEはTwentieth Century Fox Film Corporationの登録商標です。

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2016. All rights reserved.



数字・アルファベット

3D変換	52
3D明るさ調整	86
3D映像	49
3D設定	86
3D表示	86
3D方式設定	86
3Dメガネ	50
3Dメガネ左右反転	86
3Dメガネ充電端子	57
3Dメガネの掃除	115
A/Vミュート	37
Bluetooth	89
Bluetooth機器の接続	23
CEC規格	70
DHCP	95
EPSON Super White	85
Event ID	111
HDMI1～4インジケータ	57
HDMI端子	70
HDMIビデオレベル	87
HDMIリンク	70, 88
IP設定	95
IPアドレス	95
IPアドレス表示	95
LAN情報表示	94
Linkインジケータ	57
MPEGノイズリダクション	41, 84
On/Standbyインジケータ	57
Picture in Picture設定	74
QRコード表示	93
Quick Corner	36, 87
Remoteパスワード	94
RGBCMY	45, 85
RGBの調整	44
SSID	95
SSID表示	95
TVインジケータ	57
USB	72
USB機器の接続	22
WiHDインジケータ	57
WirelessHD	56, 88
WirelessHD機器の接続	25

ア

明るさ	84
明るさ切替	85
アクセスポイント検索	95
アスペクト	39, 86
アドバンスト	85, 87
異常/警告インジケータ	98
イメージ強調	41, 84

イルミネーション	92
色合い	84
色温度	84
色深度	96
色の濃さ	84
インジケータ	98
エアフィルターカバー	113
エアフィルターの掃除	113
エアフィルター	113
エアフィルターの交換	116
エアフィルターの交換時期	115
映像受信感度	65
映像処理	43, 87
映像の位置調整	33
映像メニュー	86
液晶アライメント	91, 93, 120
オートアイリス	42, 85
オーバースキャン	86
オフセット	44, 85
音声	87
音声左右反転	87
音量	37, 87

カ

外形寸法	128
外部スピーカ	25
拡張設定メニュー	90
画質	38
画質メニュー	84
型番表示モード	91
傾き調整	33
カラーモード	38, 84
環境設定メニュー	83
ガンマ	46, 85
基本設定メニュー	94
クールダウン	31
ゲイン	44, 85
ゲートウェイアドレス	95
言語	92
高域	41, 84
交換時期	115
高地モード	92
コントラスト	84
コンピューターの接続	21

サ

彩度	45, 85
サブネットマスク	95
サブメニュー	83
色相	45, 85
視聴注意の表示	86
自動絞り	42

自動調整	86
シャープネス	40, 84
写真	72
仕様一覧	126
情報メニュー	96
消耗品の交換	116
消耗品の交換時期	115
初期化	85, 87, 90, 92
初期化メニュー	96, 97
ズーム	39
ズーム調整	33
ズームリング	8, 33
スタートアップスクリーン	91
スマートフォン・タブレット端末の接続	22
スライドショー	72
スリープモード	92
セキュリティー	96
セキュリティーメニュー	96
接続	21
接続機器	65
接続モード	95
設置モード	91
設定メニュー	87
全初期化	97
操作パネル	8, 9
操作範囲	28
操作ボタンロック	89
ソフトキーボード	94

タ

対応解像度	123
待機モード	92
台形補正	87
台形ゆがみ	34
ダイレクトパワーオン	92
タテヨコ	87
タテヨコ補正	34
端子カバー	27
チャイルドロック	89
チャンネル設定	95
超解像	41, 84
通信範囲	66
低域	41, 84
ディテール強調	41, 84
テストパターン表示	32
電源	29, 31
点灯時間	119
同期	86
動作設定	92
投写サイズの調整	33
トップメニュー	83
トラッキング	86

ナ

入力ソース	30
ネットワークメニュー	93
ノイズ	103
ノイズリダクション	41, 84

ハ

バージョン	96
背景表示	91
パスフレーズ	96
ビデオ機器の接続	21
表示位置	86
表示設定	91
ピント	103
ピント調整	32
フォーカス調整	32
フォーカスリング	8, 32
フル	39
フレーム補間	42, 84
プログレッシブ変換	85
プロジェクター情報	96
プロジェクター名	94
ペアリング	51
ホーム画面	30
ホーム画面設定	90
ボリューム	37
本体の掃除	114

マ

ミュート	37
無線LAN電源	93
無線LANメニュー	95
無線LANユニット	26
明度	45, 85
メッセージ表示	91
メニュー	83
メモリー	90
メモリー機能	48
メモリー初期化	97
メモリー登録	48
メモリー呼出	48

ヤ

ユーザーボタン	89
ユニフォーミティー	91

ラ

ランプカバー	8, 117
ランプカバー固定ネジ	117
ランプ点灯時間初期化	97, 119
ランプの交換	117

ランプの交換時期	115
リモコン	11, 28
レンズシフトダイヤル	8, 33
レンズの掃除	115
ロック設定	89